

成都方言の文法研究

——文法化のアプローチ

早稲田大学文学研究科

熊 進

2006年10月

目 次

序 章.....	1
第 1 節 研究の背景と 動機.....	1
1.1 成都方言の文法研究.....	1
1.2 本論文の研究動機.....	2
第 2 節 文法化の研究.....	4
2.1 文法化とは.....	4
2.2 文法化の度合い.....	6
2.3 文法化の具体的経路の例と 一般傾向.....	7
2.3.1 文法化の具体的経路の例.....	7
2.3.2 文法化の一般傾向.....	9
2.3.3 一方向性仮説(unidirectionality)	9
2.4 文法化研究の典型的事例.....	13
2.4.1 <i>be going to</i> の文法化.....	13
2.4.2 身体部位による文法カテゴリーの拡張.....	14
2.5 中国語における文法化の研究.....	16
2.5.1 王力と 太田辰夫の研究.....	16
2.5.2 劉堅らの研究.....	19
2.5.3 その他の研究.....	21
第 1 章 動詞連続.....	23
まえがき.....	23
第 1 節 “ 拿給 ” の受動化.....	25
1.1 はじめに.....	25

1.2	許容使役文に使われる“拿給”	26
1.3	授与動詞の受動化	28
1.3.1	北京語における「授与→受動」についての解釈	28
1.3.2	成都方言の“拿給”の受動化	36
1.4	まとめ	39
第2節“來”の多義性		41
2.1	はじめに	41
2.2	場所移動から完成相へ	42
2.2.1	完成を表す“來”	42
2.2.2	完成を表すことに対する解釈	44
2.3	“來”構文の多義拡張	46
2.3.1	意味変化に関与する主観性	46
2.3.2	成都方言における“來”の多義性	47
2.4	まとめ	50
第3節“得V”と“V得”		51
3.1	はじめに	51
3.2	得V/不得V	52
3.3	V得/V不得	56
3.4	助動詞の「根源的」意味と「認識的」意味	58
3.5	イメージスキーマから見る“得V”と“V得”	59
3.6	まとめ	61
第2章 語気助詞		62
まえがき		62
第1節 語気助詞“啥”		64

1.1	はじめに.....	64
1.2	条件表現と事実表現.....	65
1.2.1	条件表現.....	65
1.2.2	事実表現.....	67
1.3	歴史文法に見る条件を表す“時”.....	68
1.4	方言データに見る条件表現と事実表現.....	69
1.5	“ 噲 ” は “ 時 ” であるか.....	71
1.6	時間から条件へ.....	73
1.7	まとめ.....	74
第 2 節	機能語としての“ 説 ”.....	75
2.1	はじめに.....	75
2.2	問い返し疑問文と引用標識.....	77
2.3	「 埋め込み文 + 説 」 構造の形成.....	81
2.4	拡張した「 埋め込み文 + 説 」 の意味機能.....	85
2.4.1	確認としての問い返し.....	85
2.4.2	擬似的問い返し.....	86
2.4.3	詰問調の問いかけ.....	87
2.4.4	驚嘆・ 発見を表す独り言.....	89
2.4.5	各モダリティ表現をどう統合的にみるべきか.....	90
2.5	まとめ.....	91
第 3 節	“ 該是哈 ” から “ 嘎 ” へ.....	92
3.1	はじめに.....	92
3.2	“ 該是哈 ” の意味機能.....	93
3.2.1	押し付けの意味の “ 該是哈 ”.....	93
3.2.2	気付かせの意味の “ 該是哈 ”.....	94

3.3 機能語化に伴う音韻変化	95
3.4 まとめ	97
第3章 副詞	98
まえがき	98
第1節 指示・程度と疑問の重なり	100
1.1 はじめに	100
1.2 指示詞と疑問詞の兼用	101
1.3 程度と疑問の兼用	102
1.4 間接的発話行為	106
1.5 多義性の確定	109
1.6 まとめ	110
第2節 “之”の副詞化	112
2.1 はじめに	112
2.2 文語体中の主述の独立を取り消す“之”	113
2.3 “之”の副詞化	115
2.3.1 語用によって生じる述語省略	115
2.3.2 類推によって生じる語義変化	117
2.3.3 再分析	119
2.3.4 拡張と更新	121
2.4 まとめ	123
第4章 アスペクト	124
まえがき	124
第1節 “到”から“倒”へ	126

1.1	はじめに.....	126
1.2	《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》に見る“倒”	128
1.2.1	V 得倒、V 不倒.....	128
1.2.2	V 倒.....	131
1.2.3	V 倒 V 倒.....	135
1.3	現代成都方言における機能語の“倒”	135
1.4	声調の問題.....	137
1.5	まとめ	139
第2節	「進行・状態」を表す“在”	140
2.1	はじめに.....	140
2.2	“在”の統語的特徴	141
2.3	“在”の文法化.....	142
2.3.1	連動化.....	142
2.3.2	図と地の反転.....	143
2.3.3	文末語気助詞になる	145
2.4	まとめ	147
第3節	“得有”の文法化.....	148
3.1	はじめに.....	148
3.2	完成相を表す“有”	149
3.3	歴史文献に見る“V 得有”	150
3.4	“有”で完成相を表すメカニズム.....	153
3.5	“V 得有”の文法化.....	155
3.6	まとめ	156
第4節	“没得”の機能拡張	157
4.1	“没得”と“沒有”	157

4.2 《西蜀方言》に見る“沒得”と“沒有”	158
4.2.1 沒得.....	158
4.2.2 沒有.....	160
4.3 “相因生義”と“沒得”の機能拡張.....	162
4.3.1 相因生義	162
4.3.2 “沒得”の機能拡張.....	163
終 章.....	167
まえがき.....	167
第1節 虚化と文法化.....	168
第2節 メカニズム——再分析と類推.....	170
第3節 言語接触の問題.....	173
第4節 音韻変化の問題.....	176
参考文献.....	179
中国語文献.....	179
日本語文献.....	182
英語文献.....	185
付 録.....	187
付録1 成都方言の拼音と IPA の対照表.....	187
付録2 《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》における一部の用例.....	188
付録3 現代成都生活会話	204
付録4 《華英聯珠分類集成》(第一課～第十九課)	235

序 章

第 1 節 研究の背景と動機

1.1 成都方言の文法研究

成都市は中国の西南部に位置し、四川省の省都である。成都市内は錦江、青羊、金牛、武侯、成華という五つの区からなっている。本論文が言う成都方言は市内の五つの区で話されている主流方言のことである。

成都方言は西南官話の下位分類の一つであり、音韻と語彙の面では、早くから研究されてきた。50年代甄尚靈が書いた《成都話音系的初步研究》、80年代羅韻希などの《成都方言詞典》、90年代梁德曼、黃尚軍の《成都方言詞典》などが挙げられる。しかし、数多くの音韻と語彙の研究と比べ、成都方言文法の研究は極めて少ない。80年代以後、一部の方言研究者は始めて成都方言の文法に着目し、関係する論文を出した。その中、代表的な研究として、張清源の〈成都話中的語氣助詞“得（在，嘞）”〉及び〈成都話的動態助詞“倒”和“在”〉を挙げるができる。

1983年、《漢語論叢》（四川大學學報叢刊第22輯）所載の〈成都話中的語氣助詞“得（在，嘞）”〉は語氣助詞“得”を“得₁”、“得₂”に分け、それぞれの意味機能および音韻バリエーションを記録し、音韻および意味機能の各方面から考察を行い、“得₁”と“得₂”は共に唐宋時期の語氣助詞“在”から由来したものと主張した。歴史的視角から方言文法を論じたものとして興味深い。

1991年、《中国語言学報》（第4期）で発表した〈成都話的動態助詞“倒”和“起”〉は成都方言における動詞後の“倒”と“起”を“倒₁”、“起₁”と“倒₂”、“起₂”に分け、“倒₁”、“起₁”は動態助詞（標準語の“着”に相当する）であり、“倒₂”、“起₂”

は補語だと位置づけている。論文は“倒₂”、“起₂”を論じる対象から除き、“倒₁”、“起₁”の意味機能の相違に絞って議論し、“V+倒₁”は主に動作の進行を表し、“V+起₁”は主に静止状態の持続を表すという結論に至っている。

しかし、長い間、成都方言文法の研究はほとんど個別な文法現象の研究にとどまり、体系的に成都方言文法を研究する著作はなかった。2001年に、成都方言文法研究において、画期的成果と見なすべき《成都方言語法研究》が出版された。張一舟、張清源、鄧英樹が共著したこの著作は15章に分け、詳細なデータを用いて、体系的に成都方言文法を記述している。この著作は語の構成、名詞の複数形式、アスペクト、程度表現、形容詞、数詞、量詞、指示詞、疑問詞、副詞、介詞、語気助詞、助動詞などの項目を立て、標準語と異なったところに着目し、方言色彩が強い文法形式を網羅的に紹介し、成都方言の文法体系を浮き彫りにしている。

先行研究として、もう一冊の本に言及しなければならない。1986年に、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の研究プロジェクトの一環として、馬真、橋本萬太郎、太田斎などの共著『西南官話基本文型の記述』が日本で出版された。ここで言う「西南官話」は著作者の一人である馬真氏の母語である四川南充の方言を指す。『西南官話基本文型の記述』は音声組織、声調サンディの説明を置き、11篇の会話文を通じ、南充方言の基本文例を詳しく記述し、語彙解説、文法説明も加えた。南充方言と成都方言は文法上類似しているところが多いため、『西南官話基本文型の記述』は成都方言の文法研究に多くの示唆を与えてくれる。

1.2 本論文の研究動機

言語研究は二つのアプローチがある。一つは言語事実を発掘し、正しく記述すること、すなわち“描写”である。もう一つは言語行為を支配するメカニズムに対して解釈する

こと、すなわち“ 解釈” である。この二つのことは同時に進めなければならない。蔣紹愚は《漢語語法化的歷程》(石毓智・李訥(2001)) の序で、言語研究の方法について語る時、“ 描写” と“ 解釈” を同時に進めることの重要性を次のように強調している。

不言而喻，解釋必須是在正確的描寫的基礎上進行的。如果對語言事實還沒有弄清楚，或者對語言事實的把握不準確，那麼解釋就無從談起……但是，只重視描寫，不重視在描寫基礎上解釋，也是不對的。

(言うまでもなく、解釈は正しい記述の上で行われるのである。もし言語事実がまだはっきり分かっていない、あるいは、言語事実を正しく把握していないならば、解釈することはできない……一方、記述だけに集中し、更なる解釈を追及しないのも正しくない。)

今までの成都方言文法の先行研究を見ると、多くの研究は言語事実の記述に集中し、「どうなっているか」に答える研究がほとんどであり、「なぜそうなっているか」を問う研究は非常に少ない。張一舟、張清源、鄧英樹が共著した《成都方言語法研究》は非常に詳細なデータを提供し、成都方言文法の様相を体系的に描いたが、一步進んで、文法現象の背後に隠れたメカニズムに対する解釈は欠けていると言わざるを得ない。

どの方言も一つの体系を成しており、その体系に、標準語及び他方言と異なった様々な文法現象がある。これらの方言文法の生成と発展は体系内の関連要素の影響と制約を受けている。時には、言語(方言) 接触や社会文化からも影響されている。方言文法研究は各独特な文法現象を描くに留まらず、標準語及び他方言と異なった文法現象はどのように発展してきたか、なぜそうなったか、つまり、文法形式の誕生に影響を及ぼす要因を探るべきである。

同じ中国語とはいえ、各方言が生まれた時期も受けた外的影響も異なる。しかし、多

方言に渡って、普遍性を持った文法現象が存在している。例えば、動詞の後ろに「話す・言う」の意を表す語に由来する語気助詞をつけること、存在・領有動詞“有”と関連する文法形式で完成相を表すことなど、地域的に隔たった方言の間、文法の面で一致していることが多い。その類似性があることは、これらの文法現象の成立には共同の動機付けが働いているということを示してくれる。これらの動機づけを明らかにすることも文法形式の解釈であり、方言文法研究の目標の一つと言えよう。

本研究は《成都方言語法研究》など多くの成都方言文法研究を踏まえ、新しい文法事実を発掘し、いわゆる“描写”の研究をすると同時に、なぜそうなっているかについてもしばしば発問し、文法形式に対する“解釈”を行っていきたい。

本研究は文法化理論を方法論とする。なお、文法化の理論的背景について、次の節で紹介しておきたい。

第2節 文法化の研究

2.1 文法化とは

言語変化における注目すべき現象の一つは、いわゆる文法化(grammaticalization)と呼ばれる現象である。文法化とは、一般に名詞や動詞など具体的内容を表す内容語(content words)あるいは語彙項目(lexical items)が文法的機能を担う機能語(function words)あるいは文法語(grammatical words)に変化していく言語変化現象である。また、Heine流の定義では、機能語からより文法的意味をもつ語に転化する場合も文法化にわっている。

文法化という用語はフランスの比較言語学者Meillet(1866-1936)に始まると言われている。伝統的には歴史言語学の対象に区分されるが、現在は認知言語学の研究者も積極的

に文法化に取り込んでいる。認知言語学では、文法化の背後に人間の認知的能力があると捉えている。このように認知言語学で取り上げられるようになった背景の一つには、文法化という現象が存在するという事実が「言語は人間の認知機能の一つとして扱うべき対象である」とする認知言語学が採る言語へのアプローチの妥当性をよく補強するものだということがある。認知言語学の研究は文法化の研究に理論的支持を与え、文法化研究の興隆を引き起こしている。認知言語学と文法化理論の研究との密接した関係があるため、文法化理論の研究を認知言語学の下位分類とする学者さえいるのである。張敏（1998：10）では、このように述べている。

廣義的認知語言學範圍就更大了，舉例來說，至少可以包括……Sweetser, Heine, Claudi & Hunnemeyer等人從類型學和認知角度對語義演變，語法化等歷時問題的研究……

（広い意味での認知言語学の範囲はさらに大きい。例えば、少なくとも……

Sweetser, Heine, Claudi & Hunnemeyer など類型論と認知の視角からの意味変容、文法化など、通時的問題についての研究が含まれている。）

Heine et al. (1991), Hopper and Traugott (2003) に見られるメタファーやメトニミー、さらに Traugott (1995) に見られる主観化¹などは認知文法においててもしばしば使われている術語である。また、カテゴリーの拡張、語の多義性を研究テーマの一つとする認知言語学は文法化の研究との重なりも多い。²

文法化の流れの一つとして、同じような変化経路を収集することを目的とした言語類

¹ この用語は Langacker の認知文法にも用いられている。

² 張敏（1998：77）では、次のように指摘している。

“ 認知語言學家分析多義範疇的方法對歷史語言學的研究(如詞義引申，實詞虛化的分析)有重要的價值。例えば、Sweetser(1990)對語義演變中的隱喻擴展的研究，Heine, Claudi & Hunnemeyer(1991)對語法化過程中認知因素的研究等……”

（認知言語学の学者が多義性を分析する方法は歴史言語学の研究(例えば意味の拡張、内容語の虚化などの研究)に重要な価値がある。例えば、Sweetser(1990)意味変容におけるメタファーによる拡張についての研究、Heine, Claudi & Hunnemeyer(1991)の文法化のプロセスにおける認知要素についての研究……)

型論的な研究がある。このような研究では、さまざまな地域で用いられる生きた語から歴史的文献まで、時代を追って、変化経路を追う。Heine and Kuteva(2002)では、同じような機能語へ変化する経路を多言語から事例を探し出しており、実質的に類型論の手法と変わらない。また、Hopper and Traugott(2003)の用語「語用論の強化」のように、文法化の過程において、語用的推論などが加わっているため、文法化は語用論の研究とも密接な関係を持っている。

2.2 文法化の度合い

語彙の指し示す内容がよりはっきりしている語、例えば動詞・名詞・形容詞などは内容語と呼ばれる。これに対して、語彙の指し示す内容が希薄で文法的機能のために存在する語、例えば助動詞・助詞・接辞などは機能語と呼ばれる。狭義の文法化は内容語から機能語になっていく現象だと理解されている。ただし、内容語と機能語という言葉がさし示す内容もまた完全に定まっているわけではない。多くの場合に、語彙範疇は境界がはっきりしているとは考えにくく、重なりをもつことが多いからである。

大堀(2002)によると、文法化の度合いを判断する五つの基準がある。この基準をより多く満たしているものほど、文法化の度合いが高いと考えられている。

基準1: 意味のスキーマ性の度合い(具体的 \leftrightarrow スキーマ的)

基準2: 閉じたクラスをなすか(開いたクラス \leftrightarrow 閉じたクラス)

基準3: 標示の義務性(随意的 \leftrightarrow 義務的)

基準4: 形式の拘束性(自由形式 \leftrightarrow 拘束形式)

基準5: 文法全体の中で、他の部分と相互作用をもつか(相互作用なし \leftrightarrow 相互作用あり)

この五つの基準は文法化の度合いを判断する基準であるが、実質的に内容語か機能語

かを区分する標準にもなっている。

例えば、基準1「意味のスキーマ性の度合い」についての中国語の例と 言えば、動詞の後ろの“過”は具体的な“通過”という意味はなく、動作の完成を表すアスペクト表現として機能している。また、成都方言では、“過+道具+動詞V”の形式³があり、“道具”を使って、“動作V”を実行するという意味である。この構造の中の“過”も具体的な“通過”ではなく、道具格マーカーとして機能を果たしている。基準2について、一般的には「開かれた」内容語と「閉じられた」機能語として理解されている。「開かれた」というのは、その語彙範疇に含まれる語の数が限定されない(多い、増える)。「閉じられた」というのは、その語彙範疇に含まれる語の数が限定的(少ない、めったに増えない)という意味で使われている。例えば、成都方言の語気助詞は“嘛”“哈”“喃”“嘎”“說”など十数種類に限られ、新たにそのグループへ参加するメンバーがないという意味で、閉じられている。一方で、名詞や動詞はその指し示す内容に応じていくらでも増やすことができる。

2.3 文法化の具体的経路の例と一般傾向

2.3.1 文法化の具体的経路の例

Heine and Kuteva(2002)に収集されているように、文法化にはどの言語においても同じような経路が多く発見されている。たとえば、内容語から機能語へ転化される例として、次のような事例がある。

BELLY>IN, CHILD>DIMINUTIVE, COME TO>FUTURE, THING>COMPLEMENTIZER

³ 例えば、次の成都方言の例文の“過”は道具格マーカーとして使われている。
過洗衣機洗衣服。
(洗濯機で服を洗う。)

EAT>PASSIVE, GIVE>BENEFACTIVE, SAY>EVIDENTIAL, SIT>CONTINUOUS,
 YESTERDAY>PAST など

ある文法意味から別の文法意味への発達の事例として、次のような例がある。

ABLATIVE>AGENT, ALLATIVE>DATIVE, COMITATIVE>INSTRUMENT,
 FUTURE>EPISTEMIC MODALITY, CONDITIONAL>CONCESSIVE,
 LOCATIVE>A-POSSESSIVE, PERFECT>PAST, H-POSSESSIVE>OBLIGATION,
 REFLEXIVE>PASSIVE など

Bybee(2003)は、次のような文法化の典型例があるとまとめている。

	元来の内容が示す意味	変化した機能語またはその機能
1	指示詞	定冠詞
2	数字“ 1”	不定冠詞
3	欲求・行く	未来時制
4	知る・能力を持つ	可能と許可の助動詞
5	終わる・最後	完了時制
6	体の各部分	各前置詞

Heine and Kuteva(2002)と Bybee(2003)が指摘した典型的文法化の経路を北京語に照らし合わせて見れば、一致するところが見つけられる。例えば、“ 給我买东西”の“ 給”は「 GIVE>BENEFACTIVE」の例であり、“ 明天要下雪”の“ 要”は「 欲求>未来時制」で、“ 去看電影了”の“ 了”は「 終わる>完了時制」の例である。ただ、指摘された典型的文法化の経路を見る上では、注意すべきことがある。内容語から機能語に変化する場合、“ source”と“ target”の間に、共通した傾向が見られるが、それはあくまでも傾向であり、絶対的な経路ではない。言語によって、それぞれ個性的な経路を経て文法化が行われる場合も少なくない。

2.3.2 文法化の一般傾向

言語のなかに、実質的な内容語としてカテゴリー化されていた表現の意味が変容し、次第にその意味内容が薄れて、別のカテゴリーに転化していくプロセスが認められる。この種のプロセスの一部は内容語から機能語的表現に転化していくプロセスである。その転化の一般傾向として、山梨(1995)は次のように指摘している。

1. 具体的な意味内容をもつ表現から、アスペクト的(ないしは時制的)な意味を担う表現に転化していく傾向。
2. 具体的な意味内容をもつ表現から、言語主体の主観的態度や判断を反映するモダリティ的表現に転化していく傾向。
3. 場所・空間にかかる指示的意味を担う表現から、抽象的・関係的な意味を担う表現に転化していく傾向。
4. 文レベルにおける接続関係・指示関係を規定する表現から、テキスト・談話レベルの接続関係・結束性を規定する表現に転化していく傾向
5. 文の命題内容的機能を担う表現から、遂行的機能を担う表現に転化していく傾向。

2.3.3 一方向性仮説(**unidirectionality**)

文法化の研究では、意味変化の方向性が、ある一定の方向に向かって起こる傾向があり、逆行することはないと考えられていて、これを「一方向性仮説」と呼ぶ。この一方向性仮説を支持する個別の言語現象として、例えば主に次のようなものが指摘されてきた。

- ・ 意味の漂白化
- ・ 脱範疇化
- ・ 語用論的強化

これら諸傾向を統合的に説明する理論として、一方向性仮説を次のように特徴づけている。

命題的(概念的)内容⇒テキスト連結機能的な内容⇒話者態度表出的内容

つまり、歴史的意味変化を辿ってみると、文法化のプロセスは一定な方向性を持っている。以下、一方向性仮説を支持する言語現象を順次見ていこう。

① 意味の漂白化(bleaching)

内容語としての意味が希薄になり、喪失されるようになることを意味の漂白化という。

以下、成都方言の“看”の例を見てみる。

1) 看 電影 去。

KAN 映画 行く

Kan⁴ dien⁴ in³ qie⁴

映画を見る。

2) 看 車！

KAN 車

Kan⁴ tse¹ !

車に気をつけて！

3) 多 加 件 衣服, 看 感冒。

多く 加える [量詞] 服 KAN 風邪

Do¹ jia¹ jien⁴ i¹ fu⁴, kan⁴ gan³ mao⁴ 。

服をもう一枚着なさい。風邪を引かないように。

1) の“看”は実際に「目で見ると」という意味を持っているが、2) は車を見るとい

う視覚への要請より、相手を注意する意味になるが、“看”という本来の意味が薄れながら、まだある。3) の場合、本来、視覚を表す意味を完全になくして、“別”、“不要”のような注意・禁止を表す機能を果たしている。このように、本来の「見る」という視覚を表す意味が薄れてしまう現象は意味の漂白化だと考えられている。ただし、機能語としての意味を新しく獲得するという考え方もあり、漂白化という語は現象の一面のみ捉えたものとも言える。

② 脱範疇化(decategorization)

内容語の持っている形態的、統語的特性を失って、機能語の特性を持つていくことを脱範疇化と呼ぶ。例えば、動詞のカテゴリーの典型条件として、時制をもつ、副詞で修飾できる、主語を持てるなどが挙げられる。この観点から、4) の成都方言の例を検討してみよう。

4) 你 還 沒有 走 說?

あなた まだ [否定] 行く SO

Gni³ hai² mei¹ iou¹ dzou³ so² ?

まだ行ってないのか?

4) の“說”は“話す”の意を持つ“說”から由来したが、副詞との共起ができないし、アスペクト的成分と接続ができないなどの特徴から見て、すでに動詞としての性質が薄れ、動詞のカテゴリーから逸脱していると考えられる。

③ 語用論の強化(pragmatic strengthening)

ある表現をある状況の下で実際に使用する際の話者の解釈が、いつの間にか次第にその語の意味に取り込まれてしまうことを語用論的強化という。Traugott(1982)では、英語のwhileの意味変容について、次のように述べている。

Whileはもともと古英語では名詞であった。この名詞用法の名残は、for a whileなどの表現に今も残っている。もともと内容語として用いられていたこのwhileが、中英語期に至って、次第に時を表す接続詞、つまり二つの出来事間の関係を結びつけるテキスト連結機能的なものとして用いられるようになったのである。更に、近代英語の時代になって、譲歩を表す用法も見られるようになった。ここに話者の推論がかかわってくる。

5) He retained the consciousness of it while he was asleep.

眠っている間も彼はその意識を失わなかった。(時間)

6) While I have no money to spend, you have nothing to spend money on

私には使うお金がないのに、あなたにはお金を使うものがない。(譲歩)

5) はもともと、時の関係を基にして、二つの文の意味の因果関係を推論した結果生ずるものである。“I have no money to spend”と“you have nothing to spend money on”という二つの事態の時間的並列から、ある意味で正反対の関係に当たるという推論、または解釈が成り立ち、結果的にそれを「譲歩」として解釈するのである。この意味が次第にwhile自体の意味の中に取り込まれ、辞書に記載されるようになってきたと考えられる。また、時の条件を満たしていなければ、譲歩の意味を読み取ることはできないので、逆の方向、つまり「譲歩」→「時」の方向性は成り立たない。

2.4 文法化研究の典型的事例

2.4.1 *be going to* の文法化

Traugottは文法化における意味変化を語用論的観点から分析してきている。ここでは、*be going to* における文法化を例にとって見ていくことにする。Hopper and Traugott (2003)によれば、*be going to*は次のようなプロセスを経て文法化したという。

a. まず、変化は方向句ではなく目的句をとる文という大変限られた文脈の中で起こる。目的句をとる文とは“*I am going to marry Bill.*”(ビルと結婚するために行く)のような文である。この場合、“*I am going to marry Bill.*”は“*I am leaving/traveling to marry Bill.*”と同じ意味を持つ。

b. 目的句の意味から未来の出来事への推論が働く。例えば、上述の例は結婚するために移動するということを表しているが、方向を示す句がない場合、未来性が顕著になり、その結婚が発話時から見て近い将来に起こる出来事であるという推論が働く。*be going to* においてこの語用論的推論によって導かれた合意が、やがて*be going to*の意味として固定するようになる。

c. 近未来の意味が確立してくると、目的に向かう進行を表す*be going (to...)* から近未来を表す助動詞的な*be going to*への再分析(*reanalysis*)が起こる。

[*I am going [to marry Bill]*] > [*I am going to marry Bill*]

d. やがて、*I am going to like him*のように*to*に続く動詞が目的とは考えられないような場合にも*be going to*が使われるようになる。つまり、*be going to*の助動詞的用法が確立したことを示すだけでなく、*be going to* が使われる文脈が一般化したことをも示す。この一般化は類推(*analogy*)を介して起こる。

e. 助動詞的用法が確立すると、*be going to*は他の助動詞同様、音韻的短縮ができるようになる。*be gonna*がそれである。

この*be going to*の文法化は、15世紀かそれ以前に始まったと考えられている。しかし、*be going to*は、現在でも、本動詞*go*の進行形+目的の*to*という元の用法で使われることがある。このことは、本動詞用法から助動詞的用法に至る文法化のさまざまな段階が現代英語のなかに混在しているということである。

ところで、*be going to*の新しい意味が近未来の意味となった背景には、元の意味が目的を表すものであったということが挙げられる。元の意味が目的を表すものであったからこそ、新しい意味が近未来の意味になれたのである。これは、意味の持続(*persistence of meaning*)あるいは保持化と呼ばれる現象である。

*be going to*の近未来の意味の成立に関しては、空間から時間へのメタファー的写像によるとする主張もある。つまり、「物理的移動」という空間的概念から、「未来」という時間的概念への写像と考えられている。「どこかへ行くこと」は「自分に近い領域から遠くの領域へと移動すること」というイメージスキーマが与えられる。このイメージスキーマは時間的意味領域に投射されると、「自分に近い領域としての現在」から、「自分に遠い領域の未来」というふうな写像が行われる。ただ、上述したような中間的用法に注目して分析すれば、*be going to*の意味が語用論的推論を介して段階的に成立してきたことが分かる。

2.4.2 身体部位による文法カテゴリーの拡張

ある文法カテゴリーに属する身体部位の表現が、意味の拡張のプロセスを介して他の文法カテゴリーに拡張されていく例が見られる。Heineらはアフリカの言語を中心とする観察から、空間接置詞の一部は人間や動物の特定の身体部位を表す名詞から発達するケースが多いとしている。この種の拡張の例として、西アフリカのエウェ語の「背」と意味する語*megbe*の例が挙げられている。

7) epe megbe fa
his back cold
(彼の背が冷たい)

8) e-le xo a megbe
3Sg-be house the in.the .back.of
(彼はその家の後方にいる)

7) の megbe は、文字通り 身体部位としての <背> を意味する名詞のカテゴリーであるが、8) では、<～の後方に> という 空間概念を意味する 空間接置詞に拡張されている。このほかに、<上> を表す接置詞は <頭> を表す名詞から、<前> を表す接置詞は <顔> を表す名詞から、<中> を表す接置詞は <腹> から、<下> を表す接置詞は <足> を表す名詞からそれぞれ発達することが多い。

Heineらによれば、この身体部位から 空間接置詞への発達 は 次の4つの段階を経て起こるといふ。

第1段階：人間の身体部位(名詞)

第2段階：物体の特定の部分(名詞)

第3段階：物体の特定の部分が位置する空間あるいはそれと接触した空間(名詞)

第4段階：物体の特定の部分に近い空間(後置詞)

さらに、Heineは研究の結果を一般化して、文法化の一般モデルを次のように考えた。

人>物>事>空間>時間>性質

2.5 中国語における文法化の研究

2.5.1 王力と太田辰夫の研究

20世紀に入ってから、西洋の文法理論の影響を受け、中国語の文法変化についての体系的な研究が始まった。その中、特に王力の《漢語史稿》(1958)は言語構造変化の全体像を体系的に描き、音韻・文法・語彙に関するさまざまな問題を取り上げ、まさにその時代の歴史言語学研究の象徴的な存在である。《漢語史稿》(中)は歴史文法に絞って論述したものであり、文法化の研究にもヒントを与えるところが多い。王力は再分析という概念を打ち出しはしなかったが、杜甫の詩「醉把茱萸子細看。(九日藍田崔氏莊)」にある“把”についての議論には、再分析と類似した発想が含まれている。

“把茱萸子細看”應當解作“拿着茱萸而子細⁴觀看”。但是，“拿”是爲了“看”的，而“看”的也正是“茱萸”，於是句子的重音逐漸轉移到“看”上，“把”字也就漸漸虛化了。

(“把茱萸子細看”は“茱萸を持ってよく見る”と解釈すべきであったが、しかし、“拿”(持つ)の目的は“看”(見る)であり、“看”の対象もちょうど“茱萸”である。したがって、文のストレスは段々“看”に移り、“把”は段々虚化されるようになった。)

文法化の理論で説明すれば、再分析が行われる前、“把茱萸”と“子細看”は連続した二つのVPである。再分析によって、“茱萸”は“子細看”の目的語になり、“把”は「手で持つ」という意味を失い、目的語を導入するという文法的働きをする前置詞にな

⁴ “子細”は現代中国語で“仔細”とする。

った。

1989 年出版の《漢語語法史》では、王力はさらに“ 多數介詞和連詞都是由實詞虛化而成的”(多くの介詞と連詞は実詞から虚化されてきた) と指摘し、文法化一般論のモデルに近似する“ 実詞虚化” のいくつか経路を提示している。それは次の 6 種に分かれる(王力(1989:149-161))。

1. 動詞虚化為介詞。

(動詞が介詞に虚化したもの)

2. 動詞虚化為連詞、介詞。

(動詞が接続詞、介詞に虚化したもの。)

3. 動詞虚化為連詞再發展為介詞。

(動詞が接続詞に虚化し、さらに介詞になるもの。)

4. 形容詞虚化為連詞。

(形容詞が接続詞に虚化したもの。)

5. 副詞虚化為連詞。

(副詞が接続詞に虚化したもの。)

6. 詞組虚化為連詞。

(連語が接続詞に虚化したもの。)

《漢語史稿》の出版とほぼ同じ時期に、日本の学者太田辰夫は『中国語歴史文法』を出した。詳細なデータを提供し、中国語の歴史変化の様態を体系的に記録したこの本は半世紀後の今日でも、高く評価され、内容と用例もよく引用されている。『中国語歴史文法』は中国語文法の歴史の変遷を記述することに満足せず、その変化に対してもしばしば解釈を加えている。受動を表す“ 被字句” の起源について、作者は“ 亮子被蘇峻害(世説新語・方正)” を例に次のように語っている。

“被”はもと動詞で、かぶる、うける、こうむる意。したがって、“被”のあとには賓語として名詞が来る。ところが、次のような例では、“被”のあとに来るものは名詞ともとることができるが、また動詞ともとれないことはない。これは中国語において抽象名詞の多くはそのまま動詞であるためによる。

信而見疑，忠而被謗。

(信にして疑われ、忠にして謗を被る)

(“亮子被蘇峻害”において)、“蘇峻”のごときは名詞として固定的である…このように修飾語が体詞として固定的であるのに反して、被修飾語のほうは名詞性が弱く、容易に動詞にも用いられるものである結果として、ここに主客顛倒し、元来修飾であったものが主語、被修飾語であったものがその述語であるかのようになってしまった。これが兼語動詞“被”を用いる現代語式の被動句の起りである。

太田氏のこの論述にも再分析の理念が含まれており、その変化を次のように表すことができる。

亮子被[[蘇峻]害] ⇒ 亮子[被[蘇峻]]害

すなわち、もともと、“蘇峻害”において、名詞“蘇峻”は名詞“害”の修飾語であり、“蘇峻害”が一つの名詞連語として、動詞“被”の目的語となっている。再分析によって、“害”は動詞と見なされ、“蘇峻”は動詞“害”の動作主となり、また“被”の対象となる。こうして、受動文の意味が出てくる。

時代的制限によって、王力も太田辰夫も文法形式が生まれたメカニズムをある程度解釈していたものの、その変化の規則を一般化することはできず、中国語における新しい

文法形式生成の一般規則への探求を後世に残していた。

2.5.2 劉堅らの研究

80年代から、海外にいる一部の学者は文法化理論を中国語の研究に使った。フランスのAlain Peyraubeは1988年に、*Syntactic Change in Chinese Grammaticalization*を発表し、再分析などの概念を使い、中国語の“把字句”、“雙賓語句”、“比較句”などの研究をした。

1994年に、沈家煊は『語法化』研究綜観』を発表し、Hopper and Traugottなどの文法化理論を紹介した。1998年に、また『實詞虚化的機制——《演化而來的語法》評介』を発表し、Bybee、Perkins、Pagliuca 三人で書いた《演化而來的語法》⁵を紹介した。

1995年に、劉堅、曹廣順、吳福祥は文法化理論の紹介にとどまらず、『論誘發漢語詞彙語法化的若干因素』を発表し、中国語における内容語（實詞）の文法化を誘發する4つの要素をまとめた。

1) 統語的位置の変動

劉堅等(1995)では、文における地位の変動は“實詞”の文法化をもたらす一つの要因と考えている。“主語—述語—目的語”という構造において、通常、述語となる動詞は1つしかない。もし、ある動詞(例えば連動式の場合)は文中唯一の動詞でもないし、主動詞でもなければ、その動詞性が薄れていき、抽象化され、最後に機能が変わり、述語動詞の修飾成分や補充成分になりやすい。例えば、動作対象マーカである“將”、“著”、“取”、“得”など、時制マーカ“著”、“了”、“過”など、先に連動文で現れ、徐々に文法化され、“虚詞”になったのである。動態助詞の文法化の過程を例にして、

⁵ 英語名: *The Evolution of Grammar: tense, aspect, and modality in the language of the world*

次のモデルにまとめられている。

連動式→動作結果を表す(補語)→動作の完成、持続(助詞)

中国語では、範囲、程度、時間、道具、方式、原因、結果などを表す語彙は主動詞の前後に分布しているため、主動詞前後にある動詞もその位置によって動作性が薄れ、虚化され、各種の文法単位になりやすい。したがって、状態語の位置にある動詞は介詞になり、補語位置にある動詞は助詞になるという文法化の現象があったのである。

2) 語意の変化

語意の変化、虚化は語の機能の変化をもたらし、結果として、新しい“虚詞”が生まれる。劉堅らは“漢語的實詞多數是一詞多義，即某個實詞具有幾個相關的義案，而這些義素常通過詞義引申而產生”(中国語の実詞は多義的のものが多。すなわち、一つの実詞はいくつか相関する意味項目があり、これらの意味項目は多義拡張によって生まれたのである)と主張している。例えば、構造助詞“個”が誕生する過程において、語意の変化がもたらす影響は大きい。“個”はもともと、竹の数を数える量詞であったが、漢魏以後、一般量詞になり、多くのものの量を数える場合に使われる。さらに“虚指”の用法があるようになり、また、形容詞の後ろにも使われるようになった。形容詞の後ろの“個”はものの量を現すことではなく、ある性質を持つことを意味する標識になった。さらに、“N+個”、“V+個”の用法が出てきた。意味が“実”から“虚”へと変化するに伴い、構造関係、文法機能も調整され、結局、量詞から構造助詞への変化を遂げた。

3) 文の意味による影響

劉堅らば“敢”を例に語の文法化の過程において、文が与える影響を述べている。“敢”はもともと助動詞で、“可、能、会”などの意味を持っていたが、反詰文という具体的な言語環境の中で、反詰副詞になった。助動詞“敢”は動詞の前に位置し、疑問副詞の位置と同じである。反詰文において、“敢”は“不敢”を意味し、元の意味とちょうど

逆であり、“豈敢”の意味になる。この意味が慣用され、“豈敢”は“敢”の一つ意味項目になり、元の“可、能、会”の意味は弱化され、失われ、最終的には反詰を表す疑問副詞になってしまったのである。

4) 再分析

Langacker(1977)は再分析を「表層形式を変えない構造の変化であり、(A, B), Cという構造は再分析によって、A(B, C)になる」と定義する。劉堅らはLangackerの定義を使い、処置を表す“把字句”の形成において、再分析が参与したと主張し、“莫愁寒族無人薦，但願春官把卷看”(杜荀鶴詩)を例に、連動文から処置文への変化のプロセスを解釈している。

2.5.3 その他の研究

ここ数年、中国語学の分野で、文法化の研究は盛んになっており、文法化の理論を用いて、中国語の文法現象を分析する論考が多く生み出された。石毓智・李訥(2001)の《漢語語法化的歷程——形態句法發展的動因和機制》は現代漢語及び漢語史研究の視点から体系的に文法化の過程を探究したものであり、動補構造、アスペクト 標記、処置文、受動文、比較構文などに対して、それぞれの文法形式の歴史的由来に溯り、発展の動機付けとメカニズムを考察した。全体を通じて「文法システムは一つ分割できない統一体である。各文法構造の間に存在する相互制約の関係は、語法化の過程において、体系的に反映され、それぞれの現象の出現と消滅には特有の歴史的動機づけが存在する。」という観念が貫かれており、文法体系の発展全体について考察を行った。

Christine Lamarre(2001)の「中国語における文法化——方言文法のすすめ」では、文法形式の変遷を研究するには、文献に基づく歴史文法研究以外も、生きた方言の材料を

利用する研究の重要性を論じ、北と南という中国全体を視野に入れた中国語の文法研究を薦め、方言データによる文法化の研究のアプローチを提示し、方法論的に方言文法研究の新しい可能性を示した。

劉丹青(2003)の《語序類型學與介詞理論》は介詞文法化の基本原則、傾向、ソース、経路、前後非対称性、語順の自由度など、中国語の介詞の文法化について、詳しく論じており、類型論という視角から、諸言語の文法化に見られる普遍的原則で漢語の介詞の文法化を解釈することによって、より広い視野で漢語の文法化の規則をとらえようという姿勢を示している。

これらの多くの研究を踏まえ、本論文では、成都方言に立脚し、文法化の理論を方法論として、成都方言にみる多くの文法現象を考察し、成都方言の視角から、中国語の多様性と普遍性を示したいと思う。

第1章 動詞連続

まえがき

本章では、動詞連続の構造がもたらす成都方言の文法化の諸相を論述の内容とする。まず、本論文で言う「動詞連続」の範囲を決めておく。

中国語は東アジアや東南アジア大陸部の他の多くの言語と同じく、類型論的には「孤立語」であり、その動詞は活用などによる形態の変化を持たない。そのため、表面的には動詞の羅列による「多動詞構造」である。峰岸(2003)では、Thepkanjana(1986)を引用し、多動詞構造(multi-verb construction)の分類を次のようにあげている。

1. compound verbs : 分立不能な全体としての意味を持つ「複合動詞」。
2. consecutive constructions : 文の等位接続で、二番目の動詞(V2)の示す動作が、一番目の動詞(V1)の示す動作に引き続き行われるような「結果連続構造」。
3. serial verb constructions : 同一主体によって行われる相互に密接な動作を表す「連続動詞構造」

本論文で言う「動詞連続」は「結果連続構造」と「連続動詞構造」の両方を指している。したがって、V1とV2の主語が同一のものか異なったものかに関わらず、独立した動詞が連続して現れた構造のすべて(兼語文も含めて)を「動詞連続」と考える。

動詞連続は中国語の文法化と深く関わっている。太田辰夫(1958)、王力(1958)、Li and Thompson(1981)、梅祖麟(1990)、石毓智・李訥(2001)などの論文では、動詞をソースとした多くの機能語は「動詞—連動文(動詞連続)—機能語」という過程を経由

して、最終的に機能語になったと指摘している。邢志群(2004)で、これらの機能語をまとめている。

文法化の前	文法化の後	例
動詞	動態詞	着、過、在、了
動詞	使動詞	令、使、叫、讓
動詞	助動詞	能、会、得、可以
動詞	介詞	把、将、被、比、連
動詞	連詞	同、与、和、及、共、跟
動詞	副詞	還、就、(連)

成都方言において、“拿給”、“來”などの動詞は、動詞連続という環境で文法化され、さまざまな文法機能を果たすようになっている。第1章では、“拿給”の受動化、“來”の多義性、“得V”と“得V”意味対応など、いくつかの面から議論を展開する。なお、語気助詞(文末にある様々なモダリティを表す“説”など)や多くの動態助詞(完成相を表す“得有”など)の文法化も「動詞連続」と関連しているが、それぞれ一つの大きな文法カテゴリーの類を成しているため、第2章、第4章で考えていく。

第1節 “拿給”の受動化

1.1 はじめに

GIVE という意味を持つ授与動詞は多くの言語において、文法化され、さまざまな文法的機能をもつようになっていく。中国語の場合、GIVE 系動詞の使役・受身への意味拡張は北京語および多数の方言から観察され、多くの研究者の注目を集めてきた。

成都方言の場合、“給”は“拿”と組み合わせ、“拿給”という複合動詞の形で、さまざまな意味を表す。例えば、

1) 拿給 他 一 瓶 酒。

NAGE 彼 一 [量詞] お酒

Na² ge¹ ta¹ i² pin² jiou³。

彼に一本のお酒をあげる。

2) 拿給 他 喝, 他 也 喝不倒 好多。

NAGE 彼 飲む 彼 も 飲めない たくさん

Na² ge¹ ta¹ ho¹, ta¹ ie³ ho¹ bu² dao³ hao³ do¹。

飲ませても、そんなにたくさん飲めない。

3) 酒 拿給 他 喝 了。

お酒 NAGE 彼 飲む [完了]

Jiou³ na² ge¹ ta¹ ho¹ no²。

お酒は彼に飲まれた。

1) の“拿給”は GIVE という意味を持つ授与動詞である。2) は必ずしも GIVE の動作を伴った授与動作とは限らず、許容・放任を表す使役マーカ―であり、北京語で言えば“叫，讓”に相当する機能を持っていると考えられる。3) の“拿給”は受動マーカ―であり、北京語の“被”に相当する。つまり、成都方言の“拿給”は「授与」の意を持つ内容語であり、また、使役標識、受動標識としても使われている。この兼用の形成について、筆者は「授与→使役→受動」という文法化のプロセスを経由してきたと主張し、この文法化のプロセスについて、先行研究を踏まえ、考えていきたいと思う。

1.2 許容使役文に使われる“拿給”

授与動詞は常に“許容・使役”の意味に兼用されている。《現代漢語八百詞》は北京語の“給”に関して、このような例をあげている。

4) 給 他 休息 幾天。

GEI 彼 休む 数日

彼を何日間か休ませる。

5) 你 那 本 書 給 看 不 給 看？

あなた その [量詞] 本 GEI 見る [否定] GEI 見る

その本を見せてくれますか？

6) 酒 可 是 不 給 喝。

お酒 どうしても [コピュラ] [否定] GEI 飲む

お酒はどうしても飲ませてあげない。

成都方言の“拿給”も使役の用法を持っている。次は成都方言の例である。

7) 這們 難 的 工作, 拿給 他 干, 他 也 干 不 好。
こんなに 難しい の 仕事 NAGE 彼 する 彼 も する [否定] よい
Dze⁴ men¹ nan² ni¹ gong¹ dzo², na² ge¹ ta¹ gan⁴, ta¹ ie³ gan⁴ bu² hao³
こんなに難しい仕事、彼にやらせても、うまくできない。

8) 娃兒 些 長 身體, 拿給 他們 多 吃 點。
子供 [複数] 成長する 体 NAGE 彼ら たくさん 食べる 一定の量
Ua² er¹ xi¹ dzang³ sen¹ ti³, na² ge¹ ta¹ men¹ do¹ tsi² dien³
子供たちは成長期なので、いっぱい食べさせてあげよう。

9) 各人 走 各人 的 路, 拿給 他們 說 去。
自分 歩む 自分 の 道路 NAGE 彼ら 言う [モダリティ]
Go² zen² dzou³ go² zen² ni¹ nu⁴, na² ge¹ ta¹ men¹ so² qie⁴。
自分の道を歩むと、彼らに言わせよう。

“拿給”は“(NP1) 拿給+NP2+VP”において、許容・放任の使役で使われる場合、統語的制約がある。NP1 は省略される場合があるが、NP2 は省略できない。

北京語の“給”と異なり、4) 5) 6) と対照してみると、次の 10) 11) 12) において、10) の“休息”は自動詞であるため、11)、12) は“拿給”の後ろに NP2 が欠けているため、不適格となる。

*10) 拿給他休息幾天。

*11) 你那本書拿給看不拿給看

*12) 酒可是不拿給喝。

使役マーカ―としての“拿給”の統語上の制約は動詞“拿給”の統語制約から継承してきたものだと考えられる。13)の北京語例文と対照的に、成都方言では、14)のような言い方は容認されていない。

13) 這件衣服是媽媽給的。(北京語)

この服は母からもらった。

*14) 這件衣服是媽媽拿給的。(成都方言)

1.3 授与動詞の受動化

1.3.1 北京語における「授与→受動」についての解釈

1.3.1 では、主に北京語における授与動詞の受動化に関する説を検討する。北京語における授与動詞の受動化について、多くの説がある。これらの考え方から、成都方言の“拿給”の受動化を考える際、ヒントを得ることができるため、以下、これらの主張の代表的な論証を概観しておく。

北京語における授与動詞“給”の受動化の経路について、代表的な意見は、大体、次の三つに分かれる。

- I. 授与動詞→ 処置マーカ― →受動マーカ―
- II. 授与動詞→ 使役マーカ― →受動マーカ―
- III. 授与動詞→ 受益マーカ― →受動マーカ―

「授与→処置→受動」説

P.A.Bennett は“張三給李四打了”という例をとり、この例の“給”は“把”とも理解できる一方“被”とも理解できるとし、処置と受動の曖昧性に注目した。P.A.Bennett は“給”の処置的用法は英語の“John gave me a beating = John beat me”と発想が同じだと考えている。彼は授与動詞“給”が受動マーカになるには、処置マーカという中間過程を経たのだと主張している。その理由は3つである。

a. 「授与」の意を持つ動詞から由来した介詞は一部の方言（洛陽、開封、若干の雲南方言）においては、処置に使われ、一部の方言（例えば北京語）では受動に使われている。

b. 処置を表す“把”は元曲において、受動を表すことができる。例えば、“倒把別人取了去（かえって人に取られてしまった）”

c. 一部の方言においては、処置と受動を表す文法標識は同じである。例えば、江西客家語の“掙”、湖北浠水方言の“把”。

以上の3つの理由から、Bennett は“給”の受動化は、「処置」を表す段階を経て、実現したと主張する。

Bennett の説に対して、蔣紹愚（2002）は以下のように反論している。

1. 在漢語的歷史資料中極少見到用“給”來表示處置的，下文《武王伐紂平話》中的“給”⁶的用法有點像“把”，但不很清楚，而且僅此一例。P.A. Bennett 所引

⁶ ここで言う“給”は次の文にある“給”である。

“左右蒙聖旨，將皇后屍首埋，給皇后腕上帶着瓊瑤寶釵咸皆埋了”（《武王伐紂平話・上》文學古籍刊行社，1955）

洛陽、開封以及雲南方言中的源于“給予”義的介詞爲什麼能表示處置，本身還需要研究，不宜用作論證的前提。

(中国語の歴史資料において、“給”で處置を表す例は非常に少ない。次で挙げている《武王伐紂平話》の中の“給”は“把”の用法に似ているが、また不明であるし、この一例しかない。P.A. Bennett が引用した洛陽、開封および雲南方言における「授与」の意を持つ介詞はなぜ處置を表すことができるのか、その問題自身、まだ更なる研究が必要であるため、論証するときの前提として扱うのは妥当性に欠けている)

2. 表處置的介詞“把”用來表示被動，在元曲中也很少見。引例“倒把別人取了去”見于《元曲選・殺狗勸夫》，其中的“把”意思未必是“被”，也許是“給”(讓)，“把”有“給”(給予)義在近代漢語中較常見，從“給予”可以發展為“讓，叫”義。

(處置の“把”で受動を表すのは、元曲においても稀である。引用した例文の“倒把別人取了去”は《元曲選・殺狗勸夫》の例で、その“把”は必ずしも“被”の意味ではなく、“給”(讓)の意味であるかもしれない。“把”が“給”(給予)の意を持つのは近代中国語においてよく見られ、“給予”から“讓，叫”の意味に至ることが可能である。)

3. 浣水話表被動的“把”，可能也是從“把”的“給予”義發展而來，未必和表處置的“把”是同一來源。

(浣水話における受動を表す“把”は、“把”の「授与」意から發展してきた可能性があり、必ずしも處置を表す“把”と同じ由来を持つわけでもない)

要するに、蔣氏は中国語の歴史資料に基づき、授与を表す“給”が處置マーカーに発

展する、また、処置マーカ―が受動に発展する考えは証拠に欠けていると考え、「授与→処置→受動」という文法化の経路を否定しているのである。

「授与→使役→受動」説

Bennettの説の代わりに、蔣紹愚（2002：160）では、“給”の受動化は「授与→使役→受動」という流れを経由して成り立ったのだと主張する。

蔣文はこのプロセスにおいて、具体的に以下のいくつかの段階があったと考えている。

構造A: 甲+給+乙+N+V

意味関係：甲が乙にNを授与し、乙がNにVという動作（行為）を加える。乙はVの動作者であり、NはVの動作対象。ただし、語順として、“乙+N+V”をなしている。

構造Aは事実上兼語文であり、この場合の“給”はまだ動詞性が強く、「授与」という実際の意味を持っている。「甲+給+乙+N」のような構造からは、受動文に発展できない。“給”が文法マーカ―になっている受動文には、“給”以外も他の動詞が必要とするからである。Nの後ろに動詞Vがくっつき、兼語文になることは“給”が受動マーカ―まで発展する最初で重要な一歩である。

《紅樓夢》では、“給”の兼語文がたくさん見られる。蔣紹愚（2002）では、次の例が挙げられている。

15) 往常老太太又給他酒喝。

普段、老夫人はまた彼にお酒を飲ませていた。

構造B: 1) 甲+V1+N+給+乙+V2

2) (甲)+V1+N+不給+乙+N+V2

意味関係: 甲はNを乙に譲り、乙にVをさせる。

甲はNを占有し、乙にVをさせない。

構造Bにおいて、Nはすでに“給”の前に移動し、後ろの語順は“給+乙+V”であり、ちょうど使役文“譲/叫+兼語+V”と一緒である。そして、意味関係から見ると、乙は“給”の対象でありながら、Vの動作者である。これはちょうど使役文の中の兼語と同様である。そして、V1は常に“譲る/占有する”というような動詞であるため、“給/不給”の「授与/授与しない」という意味が漂白され、甲と乙の間に実際にある授与行為から甲と乙の関係(甲は乙にあることをさせる/させない)になった。このようなプロセスを経て、授与文は使役文になり、“給”も“給1”(授与動詞)から“給2”(使役メーカー)になった。

構造Aから構造Bになって、“給”の受動メーカーへの変化は更に進んだ。構造Bにおいて、Nの位置が前に移動し、“給”と“V”の間に“乙”が挟まれ、これは受動の構造に近くなる。

構造Bの例に関して、蔣文は《紅樓夢》から次の例を挙げている。

16) 賈母忙拿出幾個小杌子來，給賴大母親等幾個高年有體面的媽媽坐了。

賈母はすぐいくつかの椅子を出して、賴大母親など、何人か年を取って身分が高い人に座らせた。

構造C: N+給+乙+V

意味関係: NはVの動作対象、乙はVの動作者、“給”は“被”の働きをする。

構造C“N+給+乙+V”と受動文“N+被+乙+V”には、構造中、共通したところが見られる。

1. 成分の語順が一致している
2. N、乙、Vの意味関係も大体同じである。乙は動作者であり、NはVの動作対象である。

こうして、構造Cは受動文“N+被+乙+V”との構造の近接性があるため、受動文に読み取られやすいのである。当然、構造Cは構造Bから来たため、構造Bのように使役として読むことも可能で、受動か使役か、曖昧性が生じる場合もある。特に、“N+給+乙+V”の“N”が明示されていない場合、主語は動作者の甲であるか、動作対象のNであるかという補完は聞き手に委ねられる。つまり聞き手の読みかたによって、使役か受動かになる。例えば、

(你) 千萬別給老太太、太太知道。 (使役)

(這件事) 千萬別給老太太、太太知道。(受動)

“千萬別給老太太、太太知道。”は前の主語の補い方によって、使役か受動か分かれる。この曖昧性が生じる背景として、動作対象が主語になる、いわゆる“受事主語文”(動作対象主語文)が容認されることがある。動作対象と動作主両方とも主語の位置を占めることができることは構造Cが受動文になる前提であると考えられている。

さらに、構造C“N+給+乙+V”は“N+被+乙+V”からの類推によって、乙が無生

の事物になる。こうして、構造C“ N+給+乙+V” は使役から、受動表現に変わったのである。

「授与→受益→受動」説

この説を主張するのは佐々木(1998)と木村(2005)である。

佐々木(1998)では、次の文には受動の受益の曖昧性が生じる可能性があると指摘している。

17) 我給他打了。

僕は彼に殴られた(受動) / 僕は彼のために(誰かを)殴った。

動作・行為によって、利益を被る受益者は、往々にしてそれを引き起こす原因や理由へと転じる。次の文において、“給”が導入する“地主”(地主)や“他”(彼)は動作・行為から利益を受ける。しかし、それは必ずしも彼らの利益を目的として行われたものではない。彼らのせいで、そうせざるを得なくなったのである。事態の引き金とも言うべきこれらの文には、誘発者としての役割がある。

18) 我們天天給地主流汗。

われわれは毎日地主のために汗を流す。

19) 我們給他花了很多錢。

われわれは彼のためにたくさんのお金を使ってしまった。

受益者と誘発者は連続する意味役割であり、両者の間に明確な線引きをすることは難しい。そして、受益者から誘発者への延長線上に17)のような受動文の動作者を捕ら

えることが可能になる。事態の引き起こし手であるという点において、動作者は誘発者と共通している。

木村(2005)は佐々木(1998)と似た見解を示している。木村氏は、北京語においては“給”が使役者標識として用いられていないことを根拠に「授与→許容使役→受動」という拡張は考えにくいとする。⁷

木村(2005)は“起因性的動因”と“目標性的動因”の概念を用いて、次のように説明をしている。

我們認為,動因這一概念分爲兩種。一種是目標性的動因,一種是起因性的動因。所謂目標性的動因就是指向性的動因,而起因性的動因就是由之而來的動因,即原因。目標和原因構成一對次範疇。它們是動因這一範疇的次範疇。自主的行爲動作通常跟目標性的動因搭配,非自主的狀況通常跟起因性的動因搭配。受益者,對施事來說,是一種指向性,目標性的動因,因爲它是施事所執行服務動作的目標;而狀況引發者顧名思義就是一種起因性的動因。在這層意義上,我們可將受益者和狀況引發者視爲動因範疇的次範疇。

(私たちは次のように考えている。動因という概念は二種に分かれている。一つは目標性動因で、もう一つは起因性動因である。目標性動因は指向性動因であり、起因性動因は由来で、すなわち原因である。目標と原因はペアになっている下位カテゴリーで、動因というカテゴリーに従属する。自主的行為は常に目標性動因と組み合わせり、非自主的狀況は常に起因性動因と組み合わせる。受益者は動作者にと

⁷ 木村(2005)では北京語の“給”は“沒有作被使動者標記的用法”とされているが、呂叔湘があげた例“給他休息幾天”は確かに使役用法だと考えられる。なお、木村(2005)では、使役を判断する標準を明示していない。

って言えば、一種の指向性、目標性動因である。受益者は動作主の動作の目標であるからである。状況誘発者はその名の通りに一種の起因性動因である。この意味では、受益者と状況誘発者は動因カテゴリーの下位範疇である。）

木村(2005)は“給”の受益者は動作を引き起こすものであり、すなわち他者にある動作・行為をさせる動因であると捉えている。受動文の動作者は状況を引き起こすものであり、すなわちある状況ができるようにさせる動因である。受益者は行為誘発者でもあり、それは受動文における動作者の状況誘発者と共に誘発者であるという接点を持つ。その接点を契機として受益者マーカーの“給”が受動者マーカーへと拡張したと主張している。

1.3.2 成都方言の“拿給”の受動化

1.3.1では、北京語の授与動詞の受動化に関する3つの説を概観してきた。以下、それぞれの説に当てはめてみて、成都方言の“拿給”の受動化を考えていきたい。

まず、「授与→処置→受動」という経路は“拿給”の受動化の説明にならない。蔣紹愚(2002)で指摘したように、そもそも中国語の歴史資料において、授与動詞で処置を表す例は非常に少ない。現代中国語では、確かに“給”授与動詞で処置を表すことがあるが⁸、筆者が“中央研究院語計算中心電子文献”と“北京大學漢語語言學研究中心”のデータベースを使って、歴史文献を検索した結果、“拿給”で処置を表す例は一例もなかった。現代成都方言においても、“拿給”で処置を表す例は見当たらない。

⁸ 江藍生(2000: 233)は授与動詞“給”で処置を表す例を挙げている。
他給我打了。(彼は私を殴った。)
例の“他給我打了”は処置文“他把我打了”に相当する。

- 20) a. 我把門閤上了。
b. 我給門閤上了。
?? c. 我拿給門閤上了。

したがって、「授与→処置→受動」という経路は“拿給”の受動化を解釈することができないと考えられる。

また、「授与→受益→受動」という説も“拿給”の受動化を説明しにくい。例えば北京語で“我給他買了一件毛衣”の場合、“他”を受益者と理解することもできるが、成都方言では、“我拿給他買了一件毛衣”という言い方がない。ほかに、例えば、“我給他準備了很多好吃的”も“給”が“拿給”に変わると、非文になる。要するに、“拿給”は成都方言においては、受益者マーカーになっていないので、「授与→受益→受動」という説明も難航する。

蔣紹愚（2002）をはじめとする「授与→使役→受動」説の前提は“受事主語句”、すなわち「動作対象主語」が容認されるということである。動作対象と動作主、両方とも主語になることが可能であるため、“N+給+乙+V”に対する理解も二通りになる。使役文と受動文の接点はここにあったのである。“受事主語句”という統語上の特徴を用い、授与動詞“給”の受動化を説明することには二つのメリットがある。

1. 授与動詞以外にも、歴史文献に見る“教”など受動マーカーの文法化も同じ原理で説明できる。詳しくは蔣紹愚（2002）を参考されたい。

2. 受動マーカーを使わない意味上の受動文の成立にも解釈することが可能である。江藍生（2000）では、“狡兔死，走狗烹”の例を挙げている。“走狗烹”では動作対象が目的語から主語に転化されることによって、受動としての読みかたができ、“走狗被

烹”という受動の意味で読み取られるのである。

したがって、動作対象の主語化により、多くの受動化現象を統合的に捉えることができ、信憑度は高いと考えられる。

成都方言の“拿給”の場合、許容使役の用法もあるため、「授与→使役→受動」という文法化の経路が考えられやすい。蔣紹愚（2002）の考え方に沿って、“拿給”の文法化について、以下の経路を提案する。

Stage1: 甲+拿+N+給+乙

この段階において、“拿”と“給”は独立した動詞であり、“甲+拿+N+給+乙”は連動文である。例えば、

21) 我拿酒給他。

私はお酒を彼にあげた。

Stage2: 甲+拿給+乙+N

動詞“給”が“拿”にくっつき、複合化される。Nが後ろに移動する。例えば、

22) 我拿給他酒。

私はお酒を彼にあげる。

Stage3: 甲+拿給+乙+N+V

乙の後ろに動作・行為を表すVを付ける。例えば

23) 我拿給他酒喝。

私は彼にお酒をあげて、飲ませてあげる。

Stage4: 拿給 + 乙 + V

甲と N が背景化され、“拿給 + 乙 + V” は「乙に動作・行為の V をすることを許容する」という意味になり、“拿給” が許容使役マーカの“讓” に相当する機能を果たす。例えば、

24) 拿給他喝，看他能喝多少。

飲ませてあげて、どのぐらい飲めるかを見してみる。

Stage5 : (N) + 拿給 + 乙 + V + 結果補語 (完成相マーカ)

動作対象 N を“拿給 + 乙 + V”の主語として補完することにより、「動作対象 + 拿給 + 動作主 + 動作」という構造になる。この構造は「動作対象 + 被 + 動作主 + 動作」という受動文の構造と類似しており、類推によって、動作の結果を表す結果補語や完成相マーカが加わって、より受動表現に近づくようになる。例えば

25) 酒拿給他喝了。

お酒は彼に飲まれた。

1.4 まとめ

以上、私たちは成都方言にある“拿給”の用法や文法化のプロセスについて、述べて

きた。“拿給”は“拿”と“給”の複合語で GVE 意の動詞であるが、許容使役マーカ―や受動マーカ―としても使われている。北京語の“給”の受動化に関する各説を踏まえ、“拿給”は「授与→使役→受動」という過程を経て、文法化されたと考えられる。この文法化が可能になる前提は、動作主も動作対象も主語になることができるという統語上の特徴である。主語は動作主であるか動作対象であるか、その読み方によって、文の意味も変わる。

ここで、成都方言におけるもう一つの受動マーカ―“着”が想起される。“着”の受動用法は次のようである。

26) 衣服 着 雨 淋濕 了。

服 DZAO 雨 濡れる [変化]

I¹ fu² dzao² ü³ nin² si² no²。

雨に降られて、服をびっしょり濡らしてしまった。

また、“着”は近代中国語において、使役マーカ―としての機能もあり、その用法は百年前の四川方言資料《西蜀方言》にもわずか一例でありながら、見つかっている。

27) 着 一 個 人 去 (西・P418)

DZAO 一 [量詞] 人 行く

Dzao² i¹ go⁴ zen² qie⁴

誰か一人を行かせる。

“着”の使役、受動の兼用同じ原理で解釈することが可能だと思う。紙幅の関係により、ここでは詳しく論じないで、今後の研究課題にしたいと思う。

第2節“來”の多義性

2.1 はじめに

一般には、一つの語が異なった二つ以上の意味をもっていることを多義性と呼び、そのような語を多義語と称する。例えば、標準語の“看”には、「見る」、「考える」、「読む」、「診察する」、「訪ねる」など複数の意味があり、しかも、それぞれの意味間においての関連付けが可能であるため、多義語だと考えられる。⁹ 認知言語学では、多義語の各意味同士の間で見られる家族類似性を観察し、その多義性をもたらす動機付けを研究の対象としている。

本節では、成都方言における多義語である“來”をめぐる、“來”で表す意味間の関連づけを説明しようとする。

成都方言における“來”は「来る」という意味の動詞以外にも、次のように複数の意味で使われている。

1) 唱　　來　　給　　大家　　聽。

歌う　　NAI　あげる　みんな　聞く

Tsang⁴ nai² ge¹ da⁴ jia¹ tin¹。

皆のために歌う。

2) 唱　　來　　喉嚨　都　　沙　　了。

歌う　　NAI　喉　　も　かすれる　　[変化]

Tsang⁴ nai² hou² nong¹ dou¹ sa¹ no²。

歌を歌って、のどがかすれた。

⁹ 英語の bark の場合「(犬などの) 鳴き声」、「木の皮」など複数の意味を持つが、意味間に見られるような関連づけが見出しにくい。この場合、同音語とされ、多義語と区別されるのである。

- 3) 炒 來 吃 好吃, 煮 來 吃 不 好吃。
炒める NAI 食べる 美味しい 煮る NAI 食べる [否定] 美味しい
炒めたら、美味しいが、煮たら、美味しくない。

意味機能から考えれば、1)~3)の各例の“來”は意味上異なっている。1)の“來”は目的を表し、標準語でも同じ言い方がある。2)の“來”は動補構造の標識として使われ、標準語の“得”に相当する。3)の“來”は動作の方式を表し、“炒來吃”、“煮來吃”はそれぞれ“炒着吃”、“煮着吃”に相当する。本論文は“來”の複数の意味機能を検討し、これらの“來”の間の関連付けを探し出し、複数意味の相互関係を統合的に理解することを図ろうとする。

2.2 場所移動から完成相へ

2.2.1 完成を表す“來”

多義語の複数の意味全体を一つのカテゴリーと考えた場合、そのカテゴリーを構成する個々の意味の中で、もっとも中心的な意味を認定しなければならない。しかし、多義構造全体における個々の意味を関連付ける中心的意味機能が現在でも使われている保証は何も一つがない。多義構造の形成の過程は意味の歴史的变化の過程であり、この過程において、プロトタイプの意味は時代の移り変わりにつれ、消えてしまう可能性は充分考えられる。そのため、ある多義語の現在の多義構造を考えるにあたって、その語が歴史舞台に登場した昔の姿も視野に入れて考察することは必要である。成都方言の“來”を議論する前に、歴史を遡って、歴史文献に見られる“來”を振り返ってみることにする。

歴史言語学の研究によって、遅くとも、唐五代の時期から、完了を表す“來”が生ま

れた。江藍生(1995)は完成相を表す“來”について、この次の例のように挙げている。

- 4) 生計拋來詩是業，家園忘卻酒爲鄉。(白居易，送蕭處士游黔南 全唐詩)

生計を捨てて、詩を生業とし、家を忘れて酒を故郷とする。

- 5) 其歲天下不熟，舜自獨豐，得數百石穀來。(舜子變 敦煌變文集，133頁)

その年、天下は凶作だったが、舜(の土地)だけ豊作で、數百石の穀物を得た。

江藍生(1995)はこの“來”が“完了”を表すメカニズムについて、次のように語っている。

動詞“來”本來指到說話人所在之處，當抵達說話人所在之處時(即所謂“及也”)，這一動作就完成了。“來”的這一意義就為它虛化為完成態助動詞提供了語義上的可能性。在用法上，當“來”用在動詞後面時，有時雖然保存一些實義，但跟“來去”的“來”已經有距離，其意義核心為得到或完成。

(動詞“來”はもともと話者のいる場所に着くことと意味する。話者がいる場所に到着した場合(すなわち“及ぶ”)、この動作も完成に達する。この意味は“來”が完成相を表す動態助詞に虚化されることに意味上の可能性をもたらした。用法から見て、“來”は動詞の後ろに用いられる場合、もともとの意味を保つこともあるが、“來去”の“來”とはすでに異なり、意味の核心は“得到”あるいは“完成”である。

さらに、江は“來”のこの実現、完成を表す用法を結果補語マーカーとしての用法と結びつけた。その根拠は“來”と同様に完成相と結果補語マーカーとして兼用されてい

る“得”と“著”¹⁰との比較によるものである。

得: 獲得→実現、完成→完成相を表す動態助詞→結果補語マーカー

著: 付着→(動態動詞の後ろで) 完成相を表す動態助詞¹¹→結果補語マーカー

同じ完成相を表す動態助詞の“來”も同じ経路で、結果補語マーカーになったと江氏は主張している。すなわち、

来: 来る→完成相を表す動態助詞→結果補語マーカー

完成を表す機能と結果補語マーカーとしての機能を関連付けて論じた江氏の議論は非常に示唆的であるが、転換の動機づけについては、明確に示していない。

2.2.2 完成を表すことに対する解釈

“來”はもともと次のように「来る」という意味で使われる動詞である。

6) 从北京来上海。

北京から上海に来る。

“來”は6)で、話者から遠い場所を離れ、話者に接近するという関係対象の移動を表している。動詞として使われている“Location1 来 Location2”の“來”に対して、「対象物は起点としての Location1 を遠ざかり、話者の視点に近い終点としての Location2 に到達する」という理解することができる。

¹⁰ 江藍生(2000:128)の指摘によると、結果補語マーカーとして使われる“著”の例は安徽含山話にあるという。江氏はa、bの“之”は“著”から来たと主張している。

a. 把人笑_之要命。

b. 那人坏_之伤心。

¹¹ 静態動詞の後ろでは、持継助詞になる。例えば、“取一绛裙，挂著屏風上。”

場所移動という意味から、事態 (Event)¹²の転移に用いられる場合、次のようになる。

Location1 来 Location2 ⇒ Event 1 来 Event 2

事態をメタファー的に一つの場(Location) として理解するなら、“Event 1 来 Event 2” は「Event 1 を後にして Event 2 に到達する」と解釈できる。つまり、“Event 1 来 Event 2” は時間軸の前後に沿って配列された二つの事態の連鎖と考えていい。「Event 1 を後にして Event 2 に到達する」ということはすなわち、「Event 1 という行為(状態) を完成させ、Event 2 という行為(状態) に到達する」と理解することができる。

“Location1 来 Location2” において、Location2 が「ここ」である場合、認知上の際立ちは起点 (source) としての Location1 である。この場合、到達点 (goal) としての Location2 はしばしば背景化され、表層に出て来ない。

Location1 来 Location2

例えば、“从北京来(这儿)” の場合、到達点 Location2 は聞き手が了解する「ここ」であるため、言語化されなくても、意味の伝達を妨げることがない。

同様に、“Event 1 来 Event 2” の“Event 2” が話者の視点である「今」にある場合、対象物の「今、現在、ここにいる」という事態が暗黙の内、承認され、認知上の際立ちにならず、背景化されてしまうことがある。つまり、

Event 1 来 Event 2

“Event 1 来 Event 2” の構文の意味は「Event 1 という行為(状態) を完成させ、Event 2 という行為(状態) に到達する」から「Event 1 という行為(状態) を完成させ、今ここにいる」となる。そこから、完成相の意味を得て、4)、5) のような言い方が可能になる。

¹² ここで言う「事態」は動的な行為(action) だけではなく、静的な状態(state) も含まれる。すなわち、「事態」は“打, 買, 跑, 走”といった行為と“`胖, 瘦, 甜, 重”といった状態の両方の総称である。

2.3 “來”構文の多義拡張

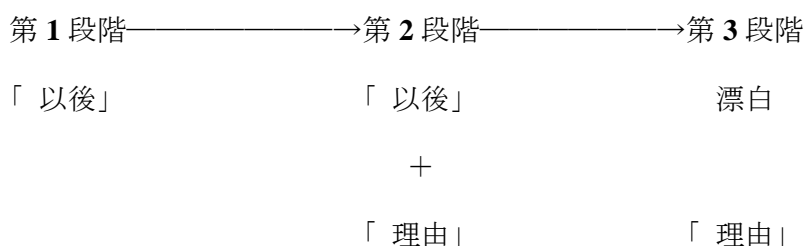
2.3.1 意味変化に関与する主観性

認知言語学では、言語は深く主観性に根ざす存在であると考えている。文法化理論でも意味変化や主体化における主観性に言及するとき、その主観性とは、テキストに加える解釈が主観的ということであり、したがって、解釈が定着していく際に見られる意味の展開も主観的ということになる。

Traugott の主体化とは、語用論的推論の慣習化によって、意味が認知主体の読み込みや解釈にに基づくようになることである。意味 A に B という読み込みや解釈がくわえられ、次に最初の意味 A が消えて意味 B が定着するという (A > A+B > B) のように「増えて減る」パターンである。

主体化は文法化のプロセスにおいてしばしば中心的な役割を果たす。例えば、Since には、「S1 以後、S2」というような「以後」の用法と「S1 のせいで、S2 になる」という「理由」の用法がある。Traugott の説では、「理由」の用法の拡張は、主体化を含む以下のような段階をたどる。

Since の「理由」の用法の拡張



第 1 段階では「以後」の用法だけであったところに、第 2 段階として、語用論的強化によって「理由」の用法が類推される。次の第 3 段階で、元の「以後」の用法が漂白化 (bleach) し、「理由」の用法が残り、意味として確立すると、「理由」の用法の完了である。この拡張過程の第 2 段階で、「以後」の用法に基づいて「理由」の用法を新たに

類推するが、この際の語用論的な類推が認知主体の行う読み込み・解釈であるため、この部分を特に主体化(subjectification) という。要するに、「S1 以後に S2 ならば、S1 が理由で S2 なのかも知れない」という話し手(認知主体) の読み込みが、意味変化を決定づけているために、そのような意味変化が「主体化」と見なされるというわけである。

2.3.2 成都方言における“ 來” の多義性

Traugott の主観化に関する議論を念頭にいれ、“ 來” の多義性を見てみよう。

上の議論で、“Event1 來 Event2”を「Event1 という行為(状態) を完成させ、Event2 という行為(状態) に到達する(到達している)」と事態の連鎖として考えてきた。この事態の連鎖は認知主体の読み込み・解釈によって、さまざまな意味になることが可能である。もちろん、このさまざまな意味への読み込みは条件があるのである。

I. Event2 が未然で、<+行為(action) >である場合

Event2 は未然であるため、“Event1 來 Event2”は具体的に“Event1 が完了した後、Event2 に向かう”と解釈される。この場合、認知的際立ち(焦点化された部分) の違いによって、“Event1 來 Event2”に二通りの解釈を加えることができる。

a. Event1 來 Event2

焦点化される部分が Event2 であれば、未実現の goal に着目することとなる。この場合、未実現の goal は目的とも読むことができ、“Event1 來 Event2”は目的表現と理解される。こうして、“ 來”はこの目的表現を具現化する文法的な道具とされたのである。Event2 の<+する>性が強いほど、例えば、使役の類である場合、「目的」読みが強化される。例えば、

7) 拿 杆 鉛筆 來 喊 他 寫。

持つ [量詞] 鉛筆 NAI させる 彼 書く

Na² gan³ qien¹ bi² nai² han³ ta¹ xie³ 。

鉛筆を持ってきて彼に書かせる。

8) 買 了 瓶 酒 來 給 他 喝。

買う [完了] [量詞] お酒 NAI あげる 彼 飲む

Mai³ pin² jiou³ nai² ge¹ ta¹ ho¹ 。

お酒を買って彼に飲ませてあげる。

“Event1 来 **Event2**”からさらに再分析が行われ、目的を表す“來”と「目的」読みとされた Event2 との間の境界がなくなり、1 ペアとなり、“Event1 来 **Event2**”は“Event1, 来 **Event2**”と転化することもある。例えば、

9) 買 了 瓶 酒 , 來 給 他 喝。

買う [完了] [量詞] お酒 NAI あげる 彼 飲む

Mai³ pin² jiou³ , nai² ge¹ ta¹ ho¹ 。

お酒を買って彼に飲ませてあげる。

9) と 8) とはと意味的に異なるものであるが、9) の“來”は慣用化を経て、「目的を表す」という機能が定着した。9) の“來”は 8) の“來”からさらに文法化されたものと見ていい。

b . **Event1** 来 Event2

焦点化される部分が Event1 であれば、事態移動の経路(どういう事態から goal にたどるか) に着目し、その場合、goal に到着する手段(Event2 を実現させる手段) となり、“**Event1** 来 Event2”は「手段・方式」の用法と読むことができる。特に、3) のように“Event1”

に位置する二つの事態が対照する場合、「手段・方式」として読み込む傾向が強まる。

II. Event2 が已然で、<+状態(state) >である場合

Event2 が已然であるため、“Event1 来 Event2”は具体的に“Event1 が完了した後、Event2 の状態に入った”と解釈される。この場合、Event1、Event2 という二つの事態の連鎖は起点としての事態 Event1 が実現して、結果(result goal)としての Event2 へ移動したと読み取られる。つまり、Event1 は Event2 という結果をもたらす。そこから、“来”は [Cause• become] という機能を果たす「結果構文マーカ―」に再分析されたのである。

c. Event1 来(結果構文マーカ―) Event2

たとえば、

10) 跑 来 满身大汗。

走る NAI 汗だく

Pao³ nai² man³ sen¹ da⁴ han⁴ 。

走って、汗だくになった。

11) 激動 来 跳 起来。

興奮する NAI 飛ぶ 上がる

Ji² dong⁴ nai² tiao⁴ qi³ nai² 。

興奮して飛び上がった。

中国語学研究の分野では、結果構文をしばしば「程度補語」、「状態補語」などと細分化するが、ここでは、このような細分化を行わないことにし、「結果表現」とする。なお朱徳熙(1998:131~132)では、標準語の例を挙げ、程度補語と状態補語の近接性を指摘している。

12) 糊涂到连自己的名字也忘了。

(呆けて自分の名前さえ忘れた。)

13) 刪到只剩下五百字。(五百字まで削除した。)

這一類格式表示程度高，其中的賓語可以換成“這樣”、“這個樣子”、“這種程度”等體詞性成分。此外，只要把其中的“到”換成動詞後綴“得”，這類格式就轉換成表示狀態的述補結構了。

(この種類の形式は程度が高いことを表している。その中の目的語は“这样”(このよう)，“这个样子”(このよう)，“这种程度”(こんな程度)などのような名詞性成分に変えることができる。そして、その中の“到”を動詞の後置成分の“得”に置き換えれば、形式は状態を表す述語補語構造になるのである。)

程度補語と状態補語は非常に近接性を持っており、本論文では、両者ともに結果表現とする。

2.4 まとめ

空間移動を表す“來”は成都方言において、様々の文法的機能を果たしている。その文法化のプロセスを次のようにすることができる。

> 補語マーカー

空間移動を表す“來” > 完成相マーカー > 目的マーカー

> 方式マーカー

ただし、「完成相マーカー」としての用法は歴史文法に見られるが、現代成都方言では、すでに姿を消している。

空間移動を表す“來”は、メタファーを通じて事態の転移に写像され、「完成相マーカー」の機能を持つようになった。また、「完成」という文法的意味から、語用論的にさまざまな意味に読み取られ、「補語マーカー」、「目的マーカー」、「方式マーカー」などの文法機能をもつようになった。メタファーによる写像、意味変化に関与する主観化、この二つの過程とも、人間の認知能力と深く関わっていると言えよう。

第3節 “得V”と“V得”

3.1 はじめに

成都方言において、“得”[de²]は使う頻度が高く、意味機能が非常に豊かな形態素の一つである。文法形式から簡単に分類すると、機能語としての“得”には次のような使い方がある。

A. 得V / 不得V

1) 不 打 傘 得 着 雨 淋 倒 哦。

[否定] 差す 傘 DE [受動] 雨 濡れる [実現] [語気助詞]

Bu² da³ san³ de² dzao² ü³ nin² dao³ o¹。

傘をささないと、雨に濡れてしまうよ。

B. V得/V不得

2) 外 先 風 大, 出 去 不 得。

外 風 大きい 出る [否定] DE

Uai⁴ xien¹ fong¹ da³, tsu² qie¹ bu² de²。

外では風が強くて、出られない。

C. V得C/V得不C

3) 他 腳杆 長, 跑 得 快。

彼 足 長い 走る DE 速い

彼は足が長くて、速く走ることができる。

Ta¹ jio² gan³ tsang², pao³ de² kuai⁴。

D. V 得 C/V 不 C

4) 論文 禮拜六 以前 寫 得 完。

論文 土曜日 までに 書く DE 終わる

Nen⁴ uen² ni³ bai⁴ niou² i³ qien² xie³ de² uan² 。

論文は土曜日までに完成できる。

E. V 得有

5) 屋 頭 買 得有 米。

家 中 買う DE I U 米

U² tou¹ mai³ de² iou³ mi³ 。

家に米がある。

本稿では普通話との比較対照も兼ね、以上のうち、“得 V/不得 V”と“V 得/V 不得”の意味機能を中心に、成都方言における“得”について研究を展開していく。

3.2 得 V/不得 V

動詞の前に来る“得”は助動詞として使われていて、次のような用法がある。

8) 天上 扯火閃, 得 下雨。

空 稲妻が光る DE 雨が降る

Tien¹ sang⁴ tse³ ho³ san³ , de² xia⁴ ü³。

稲妻があつたので、雨が降るでしょう。

9) 緊倒 耍 啥子?! 不 快點, 得 遲到 哦。

ずっと 遊ぶ 何 [否定] 早く DE 遅れる [語気助詞]

Jin³ dao³ sua³ sa⁴ dzi³ ?! bu² kuai⁴ dien³, de² tsi² dao⁴ o¹ 。

遊んでばかりじゃだめだ。早くしないと、遅れてしまうよ。

10) 將將 還 看倒 他, 不 得 走 遠 的。

いまさっき まだ 見た 彼 [否定] DE 行く 遠い [語気助詞]

Jiang¹ Jiang¹ hai² kan⁴ dao³ ta¹, bu² de² dzou³ üan³ ni¹ 。

さっき、彼を見たばかりだから、まだ近くにいるでしょう。

8) 9) 10) で、“得”、“不得”は何らかの情報を根拠として、話者が事態を認識し、判断する心的態度を表している。すなわち、以上の例の中で、“得”、“不得”は事象の可能性・不可能性を表すことに使われている。

形式上、普通話の“得 V/不得 V”と同じ形をしているものの、次のいくつかの面で両者は異なっている。

・推論を表す意味では、成都方言の“得 V”と“不得 V”はペアになっている。“得 V”は話し手が前提の集合から命題成立の可能性を推測するのに対して、“不得 V”はその可能性を否定する。例えば、11) においては、曇っていることから、“下雨”の可能性があると推測するが、12) においては、晴れているということから、“下雨”の可能性を否定する。

11) 天 陰 了, 得 下雨。

空 曇る [変化] DE 雨が降る

Tien¹ in¹ no², de² xia⁴ ü³。

雲が多いから、雨が降るでしょう。

12) 天 晴, 不 得 下雨。

空 晴れる [否定] DE 雨が降る

Tien¹ qin² , bu² de² xia⁴ ü³。

晴れているから、雨が降らないでしょう。

13) 不 早 了, 再 不 走, 得 遲到。

[否定] 早い [語気助詞] まだ [否定] 行く DE 遅れる

Bu² dzao³ no² , dzai⁴ bu² dzou³ , de² tsi² dao⁴。

もう早くないから、遅刻してしまうでしょう。

14) 還 早, 不 得 遲到。

まだ 早い [否定] DE 遅れる

Hai² dzao³ , bu² de² tsi² dao⁴。

まだ早いから、遅刻にならないでしょう。

一方、普通話では、命題の成立に対する話者の推断を表す場合、肯定と否定の“得”は意味上の対称関係になっていない。肯定の場合、成都方言と同じく“得 V”で推論的可能性を表す。普通話の例である 11) '13) ' は成都方言の 11) 13) とまったく同じ意味で使われている。しかし、その可能性を否定する場合、“不得 V”の形を使うことができない。12) '14) ' は普通話では成り立たない。

11) ' 天阴了, 得下雨。 (標準語) (= (11))

*12) ' 天晴, 不得下雨。 (標準語)

13) ' 不早了, 再不走, 得迟到。(標準語) (= (13))

*14) ' 还早, 不得迟到。 (標準語)

可能・不可能を表す場合、成都方言では、“得 V/不得 V”は対称関係を成しているのに対して、普通話では、肯定の“得 V”だけを使い、“得 V/不得 V”の対称関係が見られない。普通話では、事態の成立が不可能だと推測する場合、“不得”のかわりに“不会”で表す。12) '14) ' の“不得”を“不会”に入れ替えれば、文が成立する。

・普通話では“能够”、“可以”など許可の意味を表す時、“得”を次のように使うことができる。(朱德熙(1982)より)

15) 每天晚上十 一二点, 才得休息。 (標準語)

每晚 11 時 12 時になると、やっと休めます。

16) 每天晚上不到十 一二点, 不得休息。 (標準語)

每晚 11 時 12 時にならないと、休めません。

また、普通話では「しなければならない」という意味で“得” [təi²¹⁴]を使い、話し手によって、主語に課される義務を表す。たとえば、

17) 你得好好学习。 (標準語)

よく勉強しなければならない。

18) 我得做作业, 不能出去玩。(標準語)

私は宿題をしなければならないので、遊びにいけない。

17) は話者が「言った通りにしなければいけない」と相手に義務付けて、命令のような意味合いになる。18) は自分自身に義務を課しているということになる。このように現実における義務、許可などを表す用法は成都方言の“得 V”には見当たらない。

以上の差異を表にしてみれば、次のようになる。

項 目	文法形式	可能性	許 可	義 務
成都方言	得 V	○	×	×
	不得 V	○	×	×
普通話	得 V	○	○	○
	不得 V	×	○	×

3.3 V 得/V 不得

普通話の“V 得/V 不得”における“得”の品詞については、いろいろな説がある。“V 得”は“得 V”から変形した形だと考え、“V 得”の“得”を助動詞、あるいは「後助動詞」だとする説がある。また、朱徳熙(1982)では“説得”は“説得₁得₂”であり、“説不得₂”と対立するとし、“得₁”は助詞、“得₂”は動詞であり、“説得”は助詞“得₁”が省略された結果だと指摘している。また、呂叔湘(1980)では、“V 得”の“得”は“V 得 C”の“得”と同一視して、構造助詞だと考えている。

成都方言の“V 得/V 不得”における“得”について、張一舟など(2001)は、“得”はまだ語彙的意味が保存されているから、「構造助詞」と考えるのは不適切だという立場を示している。

本論文は主に“得”の意味機能に絞って研究するため、敢えて“V 得/V 不得”における“得”の品詞分類をここに討論しないことにする。用法から見て、次のように使われている。

19) 睡 得 的 娃 兒 才 長 得。

寝る DE の 子供こそ 成長する DE

Suei⁴ de² ni¹ wa² er¹ tsai² dzang³ de²。

寝る子は大きくなる。

20) 今晚黒 不 下雨, 出去 得。

今日の夜 [否定] 雨が降る 出かける DE

Jin¹ uan³ he² bu² xia⁴ ü³ , tsu² qie¹ de² 。

今晚雨が降らないので、外に出ることができる。

21) 這種 菌子 有 毒, 吃 不 得。

この種類 きのこ ある 毒 食べる [否定] DE

Tse⁴ dzong³ jun⁴ dzi³ iou³ du² , tsi² bu² de² 。

このきのこは毒があるので、食べられない。

以上の例文から分かるように、“V得/V不得”は能力、許可及び許容性を表している。“吃不得”は“不能吃”であり、“睡得”、“长得”、“出去得”は“能睡”、“能长”、“可以出去”である。

普通話では、“睡得”、“长得”、“出去得”を使えないわけではないが、若い層では、“能・可以+V”を使うのが多く好まれていることが知られている。“V得”の使用について、北京語を母語とする20代～30代普通話インフォーマントの10人に容認判断を依頼して、次のような結果が出ている。a.聞いて意味が分かるが、自分は絶対言わない(7人) b. たまには、自分も使用するとする。(2人) c.よく使う。(1人) なお、10人共に、“睡得”、“长得”、“出去得”は“能睡”、“能长”、“可以出去”と言い換えることができると認める。能力、許可及び許容性を表す場合、“能”、“可以”は“V得”と競い合って、結果として、前者の方はより多く使われるようになったと考えられる。

意味上から見て、この種の“得/不得”は現実における義務、許可、能力などの意味を表すという点では、少なくとも助動詞に似ていると言えよう。

3.4 助動詞の「根源的」意味と「認識的」意味

英語において、can, may, must などいわゆる助動詞(modal auxiliary)の機能語グループがある。助動詞は「根源的」(root) 意味と「認識的」(epistemic) 意味と二つの意味を持っているという事実が類縁関係のない多くの言語で証明されている。「根源的」意味とは現実における義務、許可、能力などを表す意味のことであり、「認識的」意味とは、推論における必然性、可能性を表す意味のことである。Sweetser(1990)では、「根源的」(root) 意味と「認識的」(epistemic) 意味の曖昧性が多くの言語において存在すると次のように指摘している。

There is an evident crosslinguistic tendency for lexical items to be ambiguous between these two sets of senses. Many unrelated languages (Indo-European, Semitic, Philippine, Dravidian, Mayan, and Finno-Ugric, among others) are alike in having some predicate which carry both the root and epistemic model meanings, as English modal verbs do.

「根源的」意味と「認識的」意味が重なる例として、Sweetser は次の例をあげた。

22) John must be home by ten; Mother won't let him stay out any later.

ジョンは10時までに家に帰らなければならない。お母さんは遅くまで外にいることを許さないから。

23) John must be home already; I see his coat.

ジョンはきっと家にいるに違いない。私は彼のコートを見たからだ。

22)の must は現実における義務を表す意味であり、「根源的」意味である。それに対

して、23) の **must** は推論における必然性を表す意味であり、「認識的」意味である。

すでに触れたように、成都方言の“**V**得/**V**不得”は能力、許可を表し、すなわち、「根源的」意味を持っているが、「認識的」意味を持っていない。それに対して、“得**V**/不得**V**”は可能、推測を表し、すなわち「認識的」意味を持っているが、「根源的」意味を持っていない。次のような意味の分布図が得られる。

項目	「根源的」意味	「認識的」意味
得 V	×	○
V 得	○	×

上記の表から分かるように、“得**V**/不得**V**”と“**V**得/**V**不得”の二行を合わせれば、意味上の不対称分布によって残された空白は互いに補われる。それは両者の関連性を強く示している。つまり、「根源的」意味と「認識的」意味を表すには、“得**V**/不得**V**”と“**V**得/**V**不得”は補い合い分布を成して、助動詞の意味体系上の整合性を保っているのである。

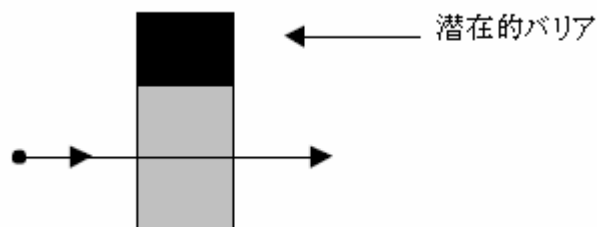
3.5 イメージスキーマから見る“得**V**”と“**V**得”

本節では、Sweetser(1990)の研究を元に、“得**V**/不得**V**”と“**V**得/**V**不得”を認知的視点から見ていくことにする。

助動詞の「認識的」用法は「根源的」用法をメタファーを通じて拡張させたのだと考えられる。Talmy(1988)はある力とその力を遮るバリア(障害物)からなる物理的世界を想定する“force dynamics”の観点から助動詞の根源的用法を説明した。更に、Sweetser(1990)はその“force dynamics”を用いて、「認識的」用法と「根源的」用法を結び

つけた。

例えば、“He may go.”という言い方に対して、「彼が行くことが許可される」と「彼は行くかもしれない」と二通りの意味が読み取れる。前者は may の根源的用法であり、後者は may の認識的意味である。根源的用法の場合、「許可する」ことは潜在的バリアを取り去る。つまり、「彼は行く」ことを（話し手、もしくはその他の）権力によって、妨げられることはないという意味をしている。認識的用法の may も同様に、心の世界において、推論から結論までの過程で、何のバリアのないことを意味する。以下は may に関するイメージスキーマ構造を示す。



この図は、同様に“得 V/不得 V”と“V 得/V 不得”の共通の位相構造を示すことに用いられる。

①“ 這種菌子沒得毒，吃得。”の場合：

“ 吃”という行為の実行が起こる規制(バリア)が“ 這種菌子沒得毒”によって、取り除かれて、行為の実現が許容される。 ⇒ 事態の成立が可能

“ 這種菌子有毒，吃不得。”の場合：

“ 這種菌子有毒”という規制(バリア)があって、行為が実現することは前提によって、妨げられている。 ⇒ 事態の成立が不可能

②“ 天上扯火閃，得下雨”の場合：

“ 下雨”という結論に至るのを妨げる理由(バリア)が“ 天上扯火閃”によって取り除かれて、結論に至ることは前提によって妨げられていない。

⇒ 推論の成立が可能

“ 天上雲不多，不得下雨” の場合：

“ 下雨” という結論に至るには“ 天上雲不多” という理由(バリア)が存在し、結論まで至ることは前提によって妨げられている。 ⇒ 推論の成立が不可能

「根源的」意味を表す“ V 得/ V 不得” と「認識的」意味を表す“ 得 V/不得 V” は同じイメージスキーマを共有するので、平行的に扱い、統合的理解することができるのである。

3.6 まとめ

“ 得 V/不得 V” と“ V 得/ V 不得” は形式上、動詞 V を軸に、対称的になっているが、意味上一見何の関連もないように見える。“ 得 V /不得 V” は事態の成立に対する話し手の推測、判断を表すのに対して、“ V 得/ V 不得” は現実における義務、許可、能力などの意味を表す。だが、この“ 得” のこの二種の用法を助動詞の体系においてみれば、その関連性が見えてくる。「根源的」意味と「認識的」意味、この二つの違った意味カテゴリーが常に一つの助動詞に重なる。“ 得 V/不得 V” と“ V 得/ V 不得” の場合、補い合って、「根源的」意味と「認識的」意味を表しているのである。つまり、意味上も同様に、対称分布を成しているのである。

イメージスキーマを通じて、“ 得 V/不得 V” と“ V 得/ V 不得” の関連性を統合的理解することができる。社会・物理的世界、認識的世界において、“ V 得” と“ 得 V” で記述されるものが生じることを妨げるものは何もなく、事態・推測の連鎖は断たれない。反対に、“ V 不得” と“ 不得 V” の場合、事態・推測の連鎖は断たれる。

通時的に、両者が如何にして、今見られるような形式と意味の対称関係を成すようになったのかを考えることは今後の課題としたい。

第2章 語気助詞

まえがき

第2章では、成都方言における一部の語気助詞の文法化を考察する。

朱徳熙は《語法講義》で標準語の語気助詞¹³の特徴を、常に後置されることと軽声で発音することの二つであると述べている。語気助詞は主に話し手の気持ちを表す文法的働きを果たしている。その意味機能には具体的には、以下の数種がある。

- ①：周囲の事物や相手の話によって引き起こされた賛嘆、驚き、不満などの感情。
- ②：自分の発話内容に対する態度。例えば、肯定、否定、強調、婉曲。
- ③：相手にある情報を伝達することを表す。例えば、依頼、命令、質問、詰問、呼びかけ、応答承諾。

しかし、注意すべきなのは、以上のような感情、態度を表出する機能と異なり、《語法講義》では、“了”、“呢₁”¹⁴、“来着”など動相を表す機能語も語気助詞の下位分類として扱っている。標準語の語気助詞という文法カテゴリーは「後置され、軽声で発音する」という特徴を持つさまざまな機能語の集まりだと考えてよい。ところが成都方言では軽声がないため、「後置される」という基準は決定的なものとなる。また、「後置される」ことは必ず文末に位置することを意味しない。複文の場合、たとえ文末でなくても、前件と後件の間という位置ならば、それは前件から見て、後置されるという位置に

¹³ 《語法講義》では、語気助詞のことを語気詞と呼んでいる。厳密に言えば、広い意味での語気詞は語気助詞と感嘆詞を含めている。

¹⁴ “呢”は進行や状態を表す場合がある。以下の場合の“呢”は“呢₁”と思われる。
我在家做作业呢。(私は家で宿題をしている。)

なる。¹⁵

成都方言でよく使われる語気助詞は十数種もあり、それぞれの由来は必ずしも明瞭ではない。本章では、名詞から文法化される語気助詞(時間を表す“時”から条件節マーカ―の“噲”になった例)、動詞から文法化される語気助詞(「言う、話す」の意味を持つ動詞“説”から文末語気助詞の“説”になった例)をそれぞれ一例選び、その文法化の過程について、仮説を立て、論じていく。

文法化と言うと、すぐ「内容語から機能語へと変わった過程」というイメージを頭に浮かべやすいが、必ずしも語の間の転化に限られていない。文から文法化されて機能語になった場合、すなわち文の機能語化もあり、成都方言の“嘎”はまさにその例にあたる。“該是哈”という文から“嘎”になった過程においては、意味機能上の変化は伴わず、音韻だけが変わっている。この過程は新しい語気助詞が生まれた過程であり、文法化の一種だと考えられる。

なお、進行・状態を表す“在”も「文末にある機能語」という点で、以前から「語気助詞」と分類されてきた。本論もこれらの分類を踏襲し、“在”を「語気助詞」ととらえるが、「アスペクト」を表すということで、より関連性のある第3章の議論に入れた。

¹⁵ 例えば、“上班喃，累；不上班喃，也累。”(仕事はあっても疲れるが、なくても疲れる。)この“喃”も文末ではないが、複文の前件において、後置されている位置にあると考えられる。

第1節 語気助詞“ 啥 ”

1.1 はじめに

成都方言には、“ 啥 ” [se⁵³]という語気助詞がある。梁徳曼等（1998）では、この“ 啥 ”を条件表現を担う語気助詞とし、次のように例を挙げて説明している。

1) 走 了 啥 ， 就 不 好 辦 了 啣。

行く [完了] SE すると [否定] 良い する [語気助詞] [語気助詞]

Dzou³ no² se³, jiu⁴ bu² hao³ ban⁴ no² io¹。

行ったら、まずいよ。

2) 是 我 啥 ， 才 不 受 他 的 氣 哦！

[コピュラ] 私 SE それでこそ [否定] 受ける 彼の いじめ [語気助詞]

Si⁴ ngo³ se³, tsai² bu² sou⁴ ta¹ ni¹ qi⁴ o²!

私なら、彼にいじめられるわけがない。

3) 整 爛 了 啥 ， 要 賠 起 啣。

する 破れる [完了] SE せねばならない 弁償する [語気助詞]

Dzen³ nan⁴ no² se³, iao⁴ pei² qi³ io¹。

破れたら、弁償してもらおうからね。

4) 你 的 病 好 了 啥 ， 我 就 不 焦 了。

あなたの 病気 治る [完了] SE , 私 すると [否定] 心配する [語気助詞]

Ng³ ni¹ bin⁴ hao³ no² se³, ngo³ jiu⁴ bu² jiao¹ no²。

あなたの病気が治ったら、私はもう心配しない。

5) 都 像 你 啥, 還 有 啥子 閑話 喃。

皆 みたい あなた SE まだ ある 何か 噂 [語気助詞]

Dou³ qiang⁴ gni³ se³, hai² iou³ sa⁴ dzi³ xien² hua⁴ nan¹。

皆あなたみたいだったら、まだ噂なんかあるのか。

6) 他 不 來 啥, 你 又 咋個 找得倒 路 喃?

彼 [否定] 来る SE あなた また どうして 見つける 道 [語気助詞]

Ta¹ bu² nai² se³, gni³ iou⁴ dza² go⁴ dzao³ de² dao⁴ nu⁴ nan¹?

彼が来なかったら、あなたは道が分かるはずがなかった。

本論文は“啥”の用法について、新しい事実を提出すると同時に、“啥”は時間表現の“時”から由来することを主張し、時間表現から条件表現へと移行するメカニズムを考えていきたいと思う。

1.2 条件表現と事実表現

1.2.1 条件表現

益岡(1993: 2)の条件表現についての規定を踏襲し、後件で表れる事態の成立が前件で表れる事態の成立に依存し、かつ、前件が非現実の事態を表すものを条件表現と規定しておきたい。

前件が未実現事態についての仮定であるか反事実的仮想であるかによって、“啥”で表す条件文がさらに2類に分かれる。

・ 仮説的用法——未実現の事態について実現した場合を語る用法。

7) 學習 不 努力 噲, 考 不起 大學 的 哦。

勉強 [否定] 努力する SE 受かる [否定] 大学 [語気助詞] [語気助詞]

Xio² xi² bu² nu³ li⁴ se³, kao³ bu² qi³ da⁴ xio² ni¹ o¹。

頑張って勉強しなければ、大学に受からないよ。

8) 不 注意 飲食 衛生 噲, 要 生病 的。

[否定] 用心する 飲食 衛生 SE [推測] 病気にかかる [語気助詞]

Bu² dzu⁴ i⁴ in³ si² uei⁴ sen¹ se³, iao⁴ sen¹ bin⁴ ni¹。

飲食の衛生に気をつけないと、病気になるよ。

・ 反事実的用法——実現しなかった事態や事実ではない事態を仮に現実であると仮定して語る用法。

9) 昨天 早點 來 噲, 就 莫得 這樣的 事 了。

昨日 早く 来る SE すると ない こんな 事 [語気助詞]

Dzo² tien¹ dzao³ dien³ nai² se³, jio⁴ mo² de¹ dze³ iang⁴ ni¹ si⁴ no²。

昨日少し早めに来ていたら、こんなことがなかったのに。

10) 他 不 給 我 說 噲, 我 現在 還 不 曉得 呢。

彼 [否定] くれる 私 言う SE 私 現在 まだ [否定] 分かる [語気助詞]

Ta¹ bu² ge¹ ngo³ so² se³, ngo³ xien⁴ dzai⁴ hai² bu² xiao³ de² ne²。

彼が教えてくれなかったら、私は今でもまだ知らなかったでしょう。

1.2.2 事実表現

管見の限り、成都方言文法を記述する辞書では、“噉”の条件表現用法を取り上げるものが多いものの、その事実表現について取り上げるものは見当たらない。しかし、“噉”を使って已然の事態を表すことがある。この場合、後件で表す事態は主語が意図的にコントロールできない事態であり、期待に反することが多い。

11) 揭開 鍋蓋 一看 噉，鍋 頭 的 東西 都 糊 了。

あける 鍋の蓋 見る SE 鍋 中 の 物 すべて 焦げる [変化]

Jie² kai¹ go¹ gai⁴ i² kan⁴, go¹ tou² ni¹ dong¹ xi¹ dou¹ fu² no²。

蓋をあけると、鍋の中のものはすべて焦げた。

12) 等 她 轉來 噉，娃兒 些 都 睡着 了。

してから 彼女 帰る SE 子供 [複数] 皆 寝付く [状態]

Den³ ta¹ dzuan³ nai² se³, ua² er¹ xi¹ dou¹ suei⁴ dzo² no²。

彼女が帰ったとき、子供たちはみな眠っている。

11)、12) は前件、後件ともに已然の事態で、同時に現れる場面が描かれている。また、後件は前件が起こるに伴って発見あるいは意識された事態とも言える。この二つの異なった事態の遭遇から同じ時間の土台を共有する前件と後件との時間的関連性が読み取れる。訳から見れば分かるように、この場合、北京語では、相当する文法マーカーがない。どうしても訳そうとすれば、やや書面語風であるが、同時性を表す“時”が“噉”に当たる。

1.3 歴史文法に見る条件を表す“時”

中古から近世において、歴史の舞台に登場する条件表現を表す“時”を見てみる。孫錫信（1997: 59）では、唐五代の“時”は仮定を表すことがあると指摘し、以下の例の“時”と“呵”や“後”は互いに照応して、共に仮定を表すと考えている。

13) 玄德公也，若你不來時，万事罷論；若來呵，便插翅也飛不過這大江去。（《黃鶴樓》）

玄德公、もしあなたが来ないなら、何も言わないが、もし来るなら、翼があってもこの大川を渡れない。

李泰洙（2001）では、古本《老乞大》及び《老乞大諺解》の“時”について、詳しく分類して論述し、仮定を表す“時”の例を挙げている。例えば

14) 明日病癒了時，大（太）醫根底重重的酬謝也。（古本《老乞大》30b9）

明日病気が治ったら（明日病気が治ったとき）、大（太）医のところに行って、よくお礼をする。

15) 你好房子裏不教我宿時,只這門前車房裏教我宿一夜如何?（《老乞大諺解》42b8/84）

いい部屋に泊めてもらえなかったら、このドア前の車部屋に一泊泊めてもらえませんか？

以上の例については、意味が曖昧である文もあると指摘されている。例えば、例16)の“病癒了時”について、“當病好了的時候”と“如果病好了”と二通りの意味を読み取ることができる。曖昧性があることこそ、条件表現と時間表現の関連性が示唆されて

いるのだと考えられる。

1.4 方言データに見る条件表現と事実表現

陝西陝北話の叁[sæ33] (黄伯榮(1996:600))

“……叁[sæ33]也可用在句中表示假設,相當於普通話的‘的話’。”

(……“叁”は文中で仮定を表し、標準語の“的話”に相当する。)

16) 農民不种莊稼叁, 你們吃什麼咧。

農家の人たちが作物を作らないなら、何も食べるものがない。

17) 沒我叁, 你一個人明天也做不完。

私がいなかったら、あなた一人で明日までも作り終わらない。

“……叁[sæ33]還可表時間, 相當於普通話的中‘……的時候’或‘……以後’。”

(……叁[sæ33]はまた時間を表すことができ、標準語の中の“……的時候”あるいは“……以後”に相当する。)

18) 領導在當面叁, 你光說好聽的話咧, 領導走了叁你又說你有意見咧。

上の人がいる時、うまい話ばかり言うが、上の人がない時、また文句を言うなんて。

19) 走到車站叁車已經開走了。

駅に着いたら、バス(電車)が行ってしまった。

益陽方言の“是” [ʒ11] （崔振華（1998））

崔振華は湖南省益陽の益陽方言の“是” [ʒ11]について、次のように語っている。

a. “表假設，用於表假設情況的前一分句句末。”（仮定を表し、条件文の前件の文末に位置する。）

20) 小心啲，把機子搞爛噠是，你陪不起啲！

気をつけてね、機械を壊したら、賠償できないのよ

21) 雨緊是咯落起去是，秧都會爛咖去。

このように雨が續くと、若苗は全部腐ってしまう。

b. “表順承關係，用於前一分句句末。”（順接の關係を表し、前件の文末に位置する）

22) 他回到屋子一看是，箱子櫃子翻得亂七八糟噠。

彼が部屋に帰って見たら、箱やたんすはめちゃくちゃになっている。

23) 等我一來是，他就走咖噠。

私が来たら、彼はすぐ行ってしまった。

益陽方言を母語とする研究者崔振華は、時間表現としては、今の益陽方言では“時”の代わりに“的時節”が使われるが、この“是”は時間表現の“時” [ʒ1¹³]から来たもので、陽平が低軽声に変わっただけであり、時間表現と条件表現の近接性を指摘してい

る。

1.5 “ 捨 ” は “ 時 ” であるか

これまで見てきたように、中国語史上、“ 時 ” が条件表現に使われていたことも確認されている。近世まで使われてきたこの用法が現代北京語から消えたとしても、方言の中で、なんらかの形で存在していると考えるのは自然である。

時間と条件両方の意味を備えていることで、陝西陝北話の“ 叁 ” は用法的に条件表現を表す“ 時 ” に非常に似ている。益陽方言の“ 是 ” は“ 時 ” と声調が異なっているものの、まったく同じ子音と母音を持っている。“ 時 ” は多くの方言において、子音は[s]ではなく、[s]や[z]であることは多くの方言報告から分かる。したがって、音と意味の両方から見ても、このような[s]や[z]で始まる条件表現を担う語気助詞は歴史上条件を表す“ 時 ” と関連があることが強く示唆されている。

ただ、成都方言の“ 捨 [sɛ⁵³] は時[sɿ²¹] ” と考えるには、母音及び声調の違いも考えなければならない。

成都方言の母音[ɿ]は、語や句の末にあつて、後ろの語や文がすぐに来ない場合、[ɿ]が[ɛ]に変ることがあることはインフォーマントの会話からしばしば観察される。[ɿ]の自然な延長として[ɛ]が付いてきて、最後に[ɿ]が脱落したとも考えられる。

例えば、

十: [sɿ²¹] ⇒ [sɛ²¹]

紙紙: [tsɿ⁵³ tsɿ²¹] ⇒ [tsɿ⁵³ tɛ²¹]

鞋子: [xai²¹ tsɿ⁵³] ⇒ [xai²¹ tɛ⁵³]

是: [sɿ²¹³] ⇒ [sɛ²¹³]

つまり、一定の環境において、[ɿ]が[ɛ]に変わることは可能である。時には、このような変化は強制される場合もある。例えば、非正式な場における相手の要求に対する回答の“是”、その発音が [sɿ²¹³] となると、非常な異様感を聞き手に与える（軍隊で使われる兵士の、目上の命令に対する答えのように聞こえる）。この場合、むしろ [se²¹³] とする方が自然である。

- 24) A: 莫要 動 我 的 書! B: 是[sɛ²¹³]。
 [否定] 動かす 私 の 本 いい
 Mo² iao⁴ dong⁴ ngo³ ni¹ su¹ ! Se⁴
 私の本を動かさないで! いいよ。

複文の前件と後件の間にあり、時間的余裕が十分与えられており [sɿ]が[sɿ+ɛ]を経て [se]に変わることはありうる。

声調について、語気助詞の類の語では、声調が常に変化していることは多くの報告から知られている。例えば「嗎, 呢, 吧」などの語気助詞の声調を考えると、語気助詞の声調は発話背景によって変っていることが分かる。語気助詞の声調がある程度元の本字の声調と異なるのは不思議でない。この“啥”の声調について、製本時代が近い《成都話方言詞典》(1987)と《成都方言詞典》(1998)二冊でも、一致していない。前者は[sɿ²¹³]とすることに対して、後者は[sɿ⁵³]とする。実際に例1) から例12) のすべての“啥”を四つの声調で成都方言の話者に聞かせたら、ほとんど容認されている。そもそも語気助詞の方言本字を判断する際、声調は決定的な要素でないと思う。例えば語気助詞“了”は成都方言では[no²¹]と発音し、“完了”の“了”[niau⁵³]と異なっているが、両者の継承関係はこれで否認できない。音韻の面から考えても、“啥”は“時”と判断することに妨げがないと言えよう。

1.6 時間から条件へ

時間表現と条件表現が同じマーカーを使うことは多くの言語から観察されている。Traugott(1985: 292)では、多言語にわたる調査データに基づき、時間表現のマーカーから条件表現のマーカーになることを一種の普遍的傾向として捉えている。¹⁶ この変化を動機付けるのは語用論的推論だと考えられる。

語用論的推論を通して、時間表現は常に因果関係に読み取れる。例えば、Hopper and Traugott (2003)例:

25) After we read your novel we felt greatly inspired.

26) Because we read your novel we felt greatly inspired.

25)は文字通りに時間的表現と解釈することもできるし、一方では26)のような因果関係があるかもしれない。25)に対する26)のような理解の裏では語用論的推論の力が働いている。

同様に、同じ時間に重なる二つの事態について、両者ともに已然である場合、前件が起こる時間において後件が起こるという場面描写のように読み取られる。両者ともに未然である場合、その時間的重なりを聞き手に一任し、理解を聞き手に委ね、聞き手に一種の因果関係を読み取らせる。しかも、前件は可能性が不確実な事態のため、この因果

¹⁶ Traugott(1985: 292)の記述によると、不完全な統計でとのことで、以下の言語はその例である。

English, Hitt, Swahili, Tagalog, Tuvaluan, Indonesian, Gumbaynggir, Yaqui, Lake, Miwok, Yana, Ineseno, Caddo, Onedia, Hebrew

なお、日本語の「時」と「たら」、「と」の関連について、寺村(1983)では指摘がある。

関係が假定表現(条件表現)に近づくことになる。したがって、時間表現から条件表現へ移る出発点は語用による推論だと考えられる。この語用的推論が慣習化された後、「時」という語用論の含意も文脈への依存がなくなり、一種の文法標識になっていく。

1.7 まとめ

本論文は成都方言の語気助詞“嗒”[sɛ⁵³]が“時”から由来したと主張し、意味と音韻両方から、論証を試みた。“時”という時間概念から条件表現になった可能性を方言や歴史文法のデータから証拠づけ、その文法化の動機づけは語用的推論だと主張した。

一般的な時間概念を表す副詞節の“時”は双音節化の潮流において、“的時候”、“的時節”に変わったが、条件や一部特殊意味を持つ時間表現(例えば例 11) 12))を表す“時”は語気助詞の形で双音節化を避けて保存され、音韻上の変化を経て、だんだんその由来も忘れられてしまうようになった。同じ由来を共有しながらも、各方言における“時”の機能は大いに異なっていると思う。各方言のデータを更に収集し、“時”の様々なバリエーションについての更なる研究を今後の課題にしたいと思う。

第2節 機能語としての“説”

2.1 はじめに

成都方言では、[so²]という文末に位置する機能語がある。この[so²]について、従来の先行研究では、辞書项目的な紹介や考察を試みているものは少なくないものの、その多くは、用法の記述にとどまっている。例えば、《成都方言詞典》では、例を挙げながら、次のように説明している。

唵 [so²] 語気助詞であり、主に反問のモダリティに使われる。

1) 他 來 了 唵 ?

彼 来る [完了] SO

Ta¹ nai² no² so² ?

彼が来たのか? / 彼が来たって?

2) 你 已經 還 他 了 唵 ?

あなた すでに 返す 彼 [完了] SO

Gni³ i³ jin¹ huan² ta¹ no² so² ?

もう彼に返したのか? / もう彼に返したって?

3) 你 還 不 走 唵 ?

あなた まだ [否定] 行く SO

Gni³ hai² bu² tsou³ so² ?

まだ行かないのか? / まだ行かないって?

張一舟・張清源・鄧英樹(2001: 344)では、[so²]について、「推測のモダリティを表す疑問語気詞である。話し手の心の中に、すでに相当肯定的答えがあるが、確認だけをす

るため、“嗦”を使い、半信半疑、疑うよりも信じるというモダリティを表す」と指摘している。

4) 你 是 重慶人 嗦? 滿 嘴巴 的 重慶話。

あなた [コピュラ] 重慶の人 SO いっぱい 口 の 重慶のなまり

Gni³ si⁴ tsonɡ² qin⁴ zen² so² ? man³ dzui³ ba¹ ni¹ tsonɡ² qin⁴ hua⁴

重慶の人だっけ?なまっているね。

5) 約 好 的 車 還 不 來, 又 黃 了 嗦?

約束する 終わる の 車 まだ [否定] 来る また だめ [語気助詞] SO

Io² hao³ ni¹ tse¹ hai² bu² nai², iou⁴ huang² no² so² ?

予約したのに、車はまだ来ていない。まただめになったか。

また、“嗦”ではなく、“説”と書くこともある。『漢語方言大詞典』では、“説”の項目にこのような説明をしている。

説 <助> 西南官話 驚きや疑問を表す

6) 沒 見 過, 馬 還 長 角 説。

[否定] 見る [経験] 馬 まだ 出る 角 SO

Mei¹ jien⁴ go⁴ ma³ hai² dzang³ go² so² 。

見たことがないなあ、馬が角を持つなんて。

言うまでもなく、あてる字が違うものの、例1) 2) 3) と例4) の [so²] は同じものである。表面上、“嗦”と書くか“説”と書くかは表記上の問題に過ぎないが、実は、どちらを書くかによって、[so²] に対する認識の立場が大いに違う。一般に、“嗦”と書

く人は[so²]は“啊”“呀”“哇”などの語気助詞とまったく同じ類として認識して、話し手の発話に伴う自然に発する言語外の付加的なものだと考える。こういった考えを持つなら、[so²]の由来を追究しないのは当然である。一方、“説”と書く人ははっきり意識しているどうかは別にして、直感的に[so²]は動詞の“説”と何かの関わりがあると考えている。後者の考えは言い換えれば、[so²]は“実詞”(内容語)から“虚化”(文法化)されてきたものという考えである。当然、“実詞→虚詞”の変化を認める以上、[so²]は一体何だろう、どういう変化のプロセスを経てきたか、など、[so²]の本質に迫る議論が必要になってくる。しかし、詳しく議論したものは、見当たらない。

筆者は、本論文で文末の[so²]は動詞の“説”から文法化された結果であると主張し、次の二つの方面から、議論を展開する。

1. [so²]は動詞“説”から発展してきた問い返し疑問文における引用標識であると考え、その形成のプロセスを提案する。
2. 発話の背景によって、この文末の“[so²]”はさまざまな意味を表すが、その多くの意味はどう統合的に理解できるかを考える。

(以下、[so²]を“説”と書く)

2.2 問い返し疑問文と引用標識

前の部分で文末詞“説”について先行研究を概略的に紹介した。文末詞“説”について、その視点の違いにより、各研究者の説明が多少ずれているものの、“説”が果す機能は「疑問のモダリティ」を表すという点で、一致している。例から分かるように、具体的に言えば、この疑問は話し手が相手の直前の発話に反応して、その表現や内容を問い返す発問形式である。言い換えれば、話し手が相手に情報確認を要請する問い返し

である。この種の疑問文は本論文で言う 問い返し 疑問文 (echo-question) である。

例 1) 例 2) を問い返し 疑問文であると見なす限り、その発話が発生する環境を再現することができる。以下の A、B は同じ談話の場面にいる二人を指す。

- 1) ' A: 他 來 了。
彼 來る [完了]
Ta¹ nai² no²。
彼が来た。
B: 他 來 了 說 ?
彼 來る [完了] SO
Ta¹ nai² no² so² ?
彼が来たつて ?

- 2) ' A: 我 已經 還 他 了。
私 すでに 返す 彼 [完了]
Ngo³ i³ jin¹ huan² ta¹ no²
もう彼に返した
B: 你 已經 還 他 了 唻 ?
あなた すでに 返す 彼 [完了] SO
Gni³ i³ jin¹ huan² ta¹ no² so²
もう彼に返したつて?

平叙文である 1)' A、2)' A の文末に “ 說 ” を加えて、1)' A、2)' A を埋め込み構造にすることにより、1)' B (=例 1))、(2)' B (=例 2)) のような問い返し疑問文ができる。標準語と対照してみると、標準語の場合、単に平叙文の文末にイントネーションを上昇させることだけで、問い返し疑問文になる。イントネーションを

考えなければ、統語上、例 7) のような標準語の問い返し疑問文は無標であるのに対して、成都方言の方は“説”という標識があり、有標である。

7) A: 明天要下雨。(標準語)

明日雨です。

B: 明天要下雨?(標準語)

明日雨ですって?

1)' B、2)' B の日本語訳から見て分かるように、標準語と比べて、成都方言の問い返し疑問文はむしろ構造的に日本語に類似していると言えよう。つまり、1)' B、2)' B の“説”は日本語の問い返し疑問文の補文標識(complementizer)“て”に対応する引用標識(quotative marker) のような機能をしていて、補文を引導して「埋め込み文+引用標識」の構造を作っているのである。

興味深いのは、「言う、話す」という意味を持つ引用標識は必ずしも成都方言を代表する西南官話だけの特徴ではなく、他の漢語方言からも例が見つけられる。例えば、例 8) 例 9) のように、台湾閩南語において、“kong²”という文末語気助詞があり、“kong²”で構造上「埋め込み文+説」と平行する構文を作ることができる。“kong²”を“言う、話す”の意味を持つ“講[kong²]”と認められれば、“説”と完全に対応することになる。

8) 鴨 比 雞 較 好 飼 講 。

Ah⁴ pi¹ koe¹ khak⁴ ho² chhi⁷ kong²

アヒルは鳥より飼いやすいって

9) 舊 年 彼 幫 風 篩 真 利 害 講 。

ku⁷ ni⁵ hit⁴ pang¹ hong¹ thai¹ chin¹ li⁷ hai⁷ kong²

去年の台風はすごかったって

“kong²”は確かに“言う、話す”の意を持つ“講[kong²]”であることは台湾共通語のデータから証拠づけられている。若い層の台湾共通語では、次のような言い方がある。

10) 他去日本留學了説。

彼は日本に留学に行ったって。

11) 今天街上人很多的説。

今日は町中人いっぱいだって。

ほとんどの場合、若い層の台湾共通語で使われる文末の“説”は台湾閩南語の“kong²”と同じニュアンスで、互いに入れ替えることが出来ると台湾閩南語母語話者から確認されている。¹⁷ つまり、後起の台湾共通語の“説”は“kong²”から類推されてきたと考えられやすい。“言う、話す”の意を持つ“説”が“kong²”のから類推されたことは両者の間、意味上類似しているということを示す。つまり、“kong²”は“言う、話す”の意を持っている“講”であることは確かである。¹⁸ 台湾閩南語の“kong²”から台湾共通語の“説”が類推されることは成都方言の文末詞“[so²]”も“説”であること強く示唆してくれる。成都方言の引用標識は「言う、話す」類の語であることは類型論的に台湾閩南語の例から強くサポートされていて、その可能性は十分ある。

¹⁷ 例9) 例10) の容認判断をして、また台湾共通語の“説”と“kong²”の平行関係を教えてくださった林虹瑛さん(台湾閩南語話者)にこの場を借りて感謝いたします。

¹⁸ 文末に位置する引用標識ではないが、台湾閩南語における補文標識の“講”から、言語干渉の結果として、台湾国語の補文標識“説”が類推されたと Christine Lamarre (2003) で紹介されている。

我知影講伊癒來。(台湾閩南語)

我知道説他不來。(台湾の共通語)

2.3 「埋め込み文+説」構造の形成

新しい文法形式が生まれるには、外因と内因という二つの動機づけが考えられる。外因は主に言語接触であるが、内因は言語内部システムの再調整によるものである。

元代の中国語、特に《蒙古秘史》の中で、補文標識的引用標識“麼道”、“說了”がしばしば使われている。(例 12)、13) は余志鴻(2003)によるものである)

12) 問道有一個那般人，騎着那般馬，有來麼道。

そのような容貌で、そんな馬に乗っている人はいるかと聞いた。

13) 訶額侖母親説，兒子每行疾快喚覺起來，說了。

息子たちを速く起こしなさいと訶額侖夫人は言った。

余志鴻(2003)では、文末にある“麼道”、“說了”の形成メカニズムについて、言語接触の視点から解釈している。すなわち、SVO型の中国語とSOV型のモンゴル語が接触した際、中国語の「主語+SAY+埋め込み文」とモンゴル語の「主語+埋め込み文+SAY」¹⁹の、二つの違った構造が融合し、「主語+SAY1+埋め込み文+SAY2」の混合型構造を持つクレオール(creole)的中国語になる。中国語「主語+SAY+埋め込み文」の強い影響で、SAY2はやがて内容語としての意味機能が薄れて、引用標識のような機能語になってしまう。注意すべきなのは“麼道”、“說了”の文末形式は、主節動詞SAY1と共起する傾向がある。主節動詞SAY1は“道……麼道”、“説……說了”の中で動詞としての地位が変わっていない。“麼道”、“說了”が加わったものの、もとの中国語の「主語+SAY+埋め込み文」構造は消えたわけではなく、依然として文の主幹である。

¹⁹ このSAYは「言う、話す」の意を表す動詞をさす。

成都方言の文末に位置する“説”も SVO の基本語順と違和感を生じるようである。周辺の SOV 型言語(例えば彝語²⁰)との接触の結果だとも考えられるが、しかし、こういう考え方を持つと、解決しにくい問題が生じてしまう。つまり、成都方言の場合、「主語+説+埋め込み文+説」の混合型構造が見つけれられない。「埋め込み文+説」の構造は混合型の「主語+SAY1+埋め込み文+SAY2」の形に復元できないのである。したがって、文末の“説”は外来したものというより、「主語+説+埋め込み文」の主節動詞“説”が後置されるものと考えの方が自然である。

新しい文法形式の形成は言語接触による外的力の作用結果と考えるほか、言語の内部システム調整による変化を原因とする説明も考慮にいれるべきである。仮に「埋め込み文+説」構造は 14) B のような形からスタートしたとして、その形成するプロセスを次のように提案する。

14) A: 他 要 去 成 都 耍。

Ta¹ iao⁴ qie⁴ tsen² du¹ sua³ 。

彼は成都に遊びに行く。

B: 你 説 他 要 去 成 都 耍?

Gni³ so² ta¹ iao⁴ qie⁴ tsen² du¹ sua³ 。

彼は成都に遊びに行くって?

²⁰ 例えば、涼山彝語では、「主語+SAY1+埋め込み文+SAY2」の補文形式を持っている。(陳康, 巫達 (1998: 182) より)

tshi33 hi21 ko33 i 33 i 21 ni21 a21 bo33 o34 di34

他 説 (助) 我 今天 不去 了 説

他說: “我今天不去了。”(私は「今日は行かない」と彼は言った。)

14) B から、変化が次のいくつかの段階を経て進む。

STAGE 1 「主語+説」が後置され、追加部分になる。

談話の現場において、「主語+主節動詞²¹+埋め込み文」の中核部分は常に従属節の埋め込み文である。相手に伝える話者の観点や意志などの情報はここに集中している。情報伝達の視点から言うと、ここは談話の焦点である。そのため、この部分をより早く聞き手に伝えるのが当然である。埋め込み文が文の先頭に置き、「主語+主節動詞」部分を文末に移動させる現象は英語にもよくある。

15) I think exercise is really beneficial to anybody.

16) It's just your point of viewwhat you like to do in your spare time I think.

例 15) では、主節 **I think** は導かれる従属節の前にあり、一般的な語順を成している。例 16) では、語用上の動機づけで、埋め込み部分は先頭に移り、際立つようになる。**I think** は文末に後置され、**maybe** のような副詞類と同等の、付加的な注釈のような役割を果すようになる。

問い返し疑問文の場合、聞き手に内容確認を要請するため、その内容を表す部分は当然談話の焦点になり、例 16) の平叙文よりも際立ち、先頭に移動する動機づけが強い。したがって、確認内容である埋め込み文の部分が先頭に移動され、「主語+説」の主節

²¹ ここでは“説、想、認爲、覺得、建議... ..”など、後ろに埋め込み部分が接続する動詞を指す。

部分が後置され、追加部分となり、17) のような文が出来る。²²

17) 他要去成都耍, 你^説 ?

STAGE 2 主語が省略される。

「主語+説」は後置され、追加部分になることによって、統語的重要性がなくなる。特に、元の主語は談話の現場では、明確に相手を指すため、省いても、コミュニケーションを妨げることはない。「節約性 (economy)」や「簡索性 (simplicity) の経済的理由で、主語が省略されてしまう。

18) 他要去成都耍, ^説 ?

STAGE 3 ^説と埋め込み文との間のポーズが消え、形式上(15)のように「埋め込み文+説」になる。再分析によって、“説”は元の動詞の意味機能を完全に失い、引用標識である機能語になる。

19) 他要去成都耍説?

²² 他の多くの漢方言からのデータもこの提案を支持している。例えば以下上海語の例。

傅彪旣沒了伊講! (傅彪が亡くなったって!)

傅彪が亡くなったという情報に対する驚きを表す。その“伊講”は後置されて、もともとの「彼が言った」という意味が薄れている。

2.4 拡張した「埋め込み文+説」の意味機能

2.4.1 確認としての問い返し

「埋め込み文+説」という問い返し疑問文は本質から言うと話し手が相手に対して、「確かにこう言っただろう」とかなり肯定的判断への傾きを持って発問する確認的問い返し形式である。この確認的問い返し形式を「埋め込み文+説」疑問文のプロトタイプと位置づけておく。ここで言う「確認」は話し手の肯定的判断への傾きを前提としていることを踏まえたものである。言い換えれば、相手に肯定な返答を要求するのである。そのため、「埋め込み文+説」は Yes-No 疑問文に限られる。この点では、日本語や英語などと異なる。(以下例 20) 例 21) は稲田(2003)によるものである。)

日本語

20) A: Taro-ga Abashiri-kara kita.

B: Taro-ga DOKO-kara kita-tte?

英語

21) A: John came from Zimbabwe.

B: John came from WHERE ?

20) 21) の B は A の発話に対して、内容の一部を確認することができるが、「埋め込み文+説」では、話し手が相手の発話内容を把握しているから、内容に対する情報提供というより、相手に「確かにこう言っただろう」と確かめ、相手に判定をしてもらう。そのため、英語や日本語と異なり、Yes-No の返答を要求するに限られる。22) B の言い方は成立しない。

- 22) A: 小王从成都回来了
 ?? B: 小王从哪儿回来了說?

2.4.2 擬似的問い返し

「埋め込み文+説」は確認的問い返し形式であると述べてきた。談話の中で生じるこの問い返しは相手の発話内容に対して確認をする疑問形式である。相手に問いかけることは情報確認ということに繋がっているから、相手の発話内容ではなくても、話し手は敢えて問い返すふう に相手に内容確認をしてもらうことがある。例えば

- 23) A: 你 出去 旅遊 去 了 說 ?

あなた 出かける 旅行 行く [完成] SO

Gni³ tsu² qie¹ nü³ iou² qie⁴ no² so ?

旅行に出たのか

- B: 到 重慶 去 了 一 個 星期。

行く 重慶 行く [完了] 一 [量詞] 週

Dao⁴ tson² qin⁴ qie⁴ no² i² go⁴ xin¹ qi¹ 。

- 24) A: 你 論文 寫完 了 說?

あなた 論文 書き終わる [完了] SO

Gni³ nen⁴ uen² xie³ uan² no² so² ?

論文はもう完成したのか

- B: 沒有, 還 剩 丁點兒。

いいえ、まだ 残る 少し

Mei¹ iou¹ , hai² sen⁴ di¹ der¹

いいえ、まだ少し残っている。

例 23) において、たとえ相手の B が「旅行に行った」のような発話がなくても、話し手 A は集めた情報から、相手が旅行に行ったと推測して、あたかも相手が「旅行に行った」という発話をしたように、相手に問い返す。例 24) もたとえ相手 B から論文を書き終わった」という発言がなくても、話し手 A は敢えて B の発話に対する問い返すふうに 24) A のように問いかける。例 23) A 例 24) A のような疑問文を擬似的問い返し疑問文と言う。

擬似的問い返しはプロトタイプの確認問い返しと同様に、話し手は自分の推測がたとえ不確定であっても、肯定的判断への傾きを持って、相手に問いかけ、相手に判断をしてもらい、新しい情報を求める。相手の返答は常に Yes-No に限らず、関係する新しい情報を提供する。例えば例 23) B の“ 到重慶去了一個星期” や例 24) の“ 還剩一點” のように、新しい情報が加えられる。

2.4.3 詰問調の問いかけ

例 20)、例 21) も話し手が相手の発話に対する問い返しではなく、問い返すふうに相手目当てに問いかける。つまり、この種の疑問文も擬似的問い返し疑問文の一種である。ただ、2.4.2 の擬似的疑問文より、語気をもっと強くて、詰問調の問いかけになることがある。形式上、話し手の不満な態度を表す副詞“又”や“才”などと共起する傾向がある。例えば

25) 你 又 遲到 了 說 ?

あなた また 遅れる [完成] SO

Gni³ iou⁴ tsi² dao⁴ no² so²

また遅刻したのか？

26) 8 點 的 會議, 你 7 點 50 才 出發 [説] ?

8 時間 の 會議 あなた 7 時 50 分(して) やっと 出発する SO

Ba² dien³ ni¹ hui⁴ gni⁴ Gni³ qi² dien³ u² si² tsai² tsu² fa³ so² ?

會議は8時からなのに、7時50にようやく出発するのか

話し手は相手に発話を確認してもらうことではなく、相手に自分の行為の妥当性を判断してもらうように強く要請することによって、詰問調を実現させるのである。

また語用的に婉曲な提案・依頼になることがある。

27) 天 都 黑 了, 還 不 回去 [説] ?

天 もう 暗い [変化] まだ [否定] 帰る SO

Tien¹ dou¹ he² no² hai² bu² hui² qie¹ so² ?

もう暗くなったのに、まだ帰らないのか?

例 27) において、話し手は、あたかも相手が「まだ帰らない」と言ったかのように、「まだ帰らないの?」というふう問い返して、相手に判断を委ねている。相手はそれを察し、行為を遂行するかどうか判断を下す。そこで、結果として、提案や依頼の働きかけという効果が生じる。形式上、“不……説”の形が多い。

さらに、揶揄のような使い方もある。相手に遂行不可能な行為を提案する場合、揶揄の口調になる。

28) 你 那們 有 錢, 還 不 借 給 我 一點 [説] ?

あなた そんなに ある お金 まだ [否定] 貸す くれる 私 少し SO

Gni³ na⁴ men¹ iou² qien², hai² bu² jie⁴ gei¹ ngo³ i² dien³ so² ?

こんなにお金を持っているなら、少し貸してくれないのか?

2.4.4 驚嘆・発見を表す独り言

2.4.1～2.4.3 の各例では、話し手は相手の発話に問い返す(問い返すふうに装う場合も含めて)ことで、相手に内容確認したり、相手を誘導したりすることになる。しかし、このような相手目当てのモダリティだけではなく、自分に向けた、独り言ふうの表現もある。

29) 新幹線 這們 快 説。

新幹線 こんなに 早い SO

Xin¹ gan⁴ xien⁴ dze⁴ men¹ kuai⁴ so²。

新幹線はこんなに早いのか。

30) 他 寫 字 寫 得 這們 好 説。

彼 書く 字 書く [補語標識] こんなに 良い SO

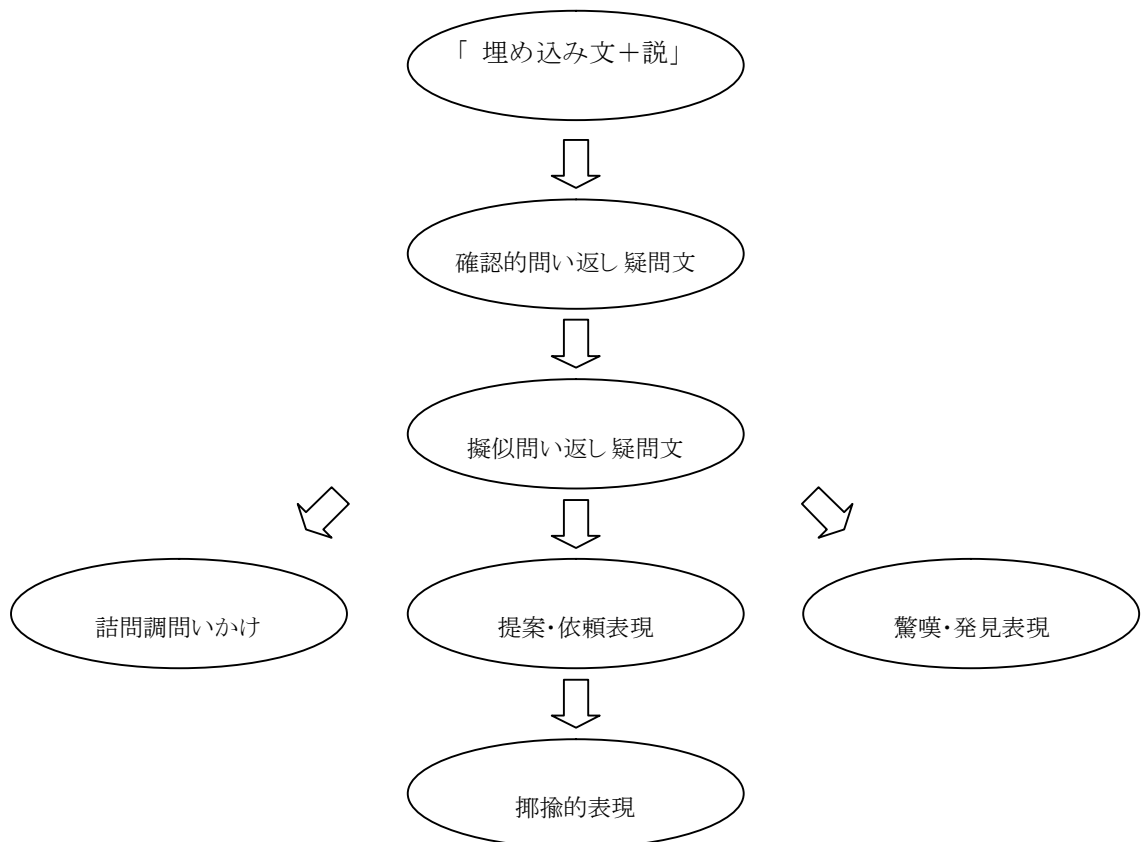
Ta¹ xie³ dzi⁴ xie² de² tse⁴ men¹ hao³ so²。

彼は字がこんなにきれいなのか

例 29)、例 30) には、発見・驚嘆の意味があるが、この意味は話し手が予想できなかったことに遭遇する時、問いかけが話し手自身にむけられたものとして解釈できる。つまり、想像を超えた状況への遭遇によって、その状況を信じられなくて、経験者である自分に問いかけるという意味を表すのである。自問自答であるゆえに、独り言として使用が可能である。驚嘆・発見を表すこの用法は“説”で導かれる問い返し疑問文と何も関係がないように見えるが、自分に問い返して、自分に判断を下してもらおうというのは聞き手に問い返して、聞き手に判断してもらおう 確認的問い返し疑問文と関連するものである。

2.4.5 各モダリティ表現をどう統合的にみるべきか

以上の議論から分かるように、各モダリティの中心に位置するのは確認的問い返し疑問のモダリティである。相手から発話があったようなふりをして、問い返しの口調で相手を試す場合、擬似問い返し疑問文になる。事実を把握していて、問い返しの口調はもっと肯定に傾く場合、詰問調の問いかけになる。問い返して、相手に判断を委ねる場合、提案や依頼の働きかけという効果が生じる。提案が明らかに相手の遂行可能範囲を超えた場合、揶揄的口調になる。また、思わぬ状況に遭遇する場合、相手目当てではなく、自分が自分に問い返す、つまり自問自答の場合、独り言ふうの発見・驚嘆のモダリティになる。図にしてみると、次のようになる。



2.5 まとめ

[so²] は“説”であると提案する理由をここに整理しておく。

- a. 音韻上、成都方言では“説”は[so²]と完全に一致している。
- b. 類型的に、台湾閩南語の文末語気助詞“講 kong²”及び台湾共通語の文末語気助詞“説”との対照から、成都方言の[so²]は“言う、話す”という意を持つ動詞から文法化されてきたと予測される。
- c. 文法化プロセスの提案によって、説明がつく。つまり「主語+説+補文」から、「主語+説」が語用的理由によって後置される。主語がなくなり、主節動詞“説”が再分析によって、文末語気助詞になる。

[so²]を“説”と見なす主張のメリットは疑問、詰問、驚嘆などの多くの意味を「埋め込み文+引用標識」という問い返し疑問文として、統合的に理解できることである。「埋め込み文+説」において、“説”は文末にある引用標識の働きをするが、便宜上“説”を語気助詞と分類するとしても、“説”自体はさまざまなモダリティを表しているわけではなく、「埋め込み文+説」文全体で問い返され、相手に情報確認の要請をすることによって、確認的モダリティが生じるのである。また、その確認的モダリティを中核として、語用的にさまざまな意味が生じる。したがって、“説”は文末にある話者の主観を表す“啊”“呀”“哇”などの語気助詞と異なる。[so²]を“説”とみなさないで、“嗦”と書くことは[so²]を“啊”“呀”“哇”などの語気助詞と同一視し、その本質を無視してしまうことになる。

本論文では台湾閩南語の“講”など他の方言における“言う、話す”の意を持つ後置引用標識に少し触れたが、成都方言の“説”を含め、漢語方言における後置引用標識の類型的な研究を今後の課題にしたい。

第3節 “該是哈”から“嘎”へ

3.1 はじめに

成都方言では、慣用化された“該是哈”があり、その例文は次のようである。

- 1) 今年 比 去年 熱, 該是哈。

今年 比べる 去年 暑い GAI SI HA

Jin¹ nien² bi³ qu⁴ nien² ze², gai¹ si⁴ ha³。

今年は去年より、暑いよね。

- 2) 你 才 去 了 東京, 該是哈。

あなた したばかり 行く [完了] 東京 GAI SI HA

Gni² tsai² qie⁴ no² dong¹ jin¹, gai¹ si⁴ ha³。

あなたは東京へ行ったばかりですよ

- 3) 到 吃 晌午 的 時間 了, 該是哈。

なる 食べる 昼ごはん の 時間 [変化] GAI SI HA

Dao⁴ tsi² sao³ u³ ni¹ si² jien¹ no², gai¹ si⁴ ha³。

昼ごはんの時間になったよね。

本章では、“該是哈”の機能を分析し、文である“該是哈”が音韻的変化をへて、単音節機能語である“嘎”へ変化したことを文法化の現象として捉え、その過程を考察する。

3.2 “該是哈”の意味機能

“該是哈”は“該是+哈”のように、話し手の判断を表す“該是”と語気助詞“哈”の合成によって、作られた文である。語気助詞“哈”が聞き手目当てに発話されると、同意を求めたり、念を押したり、確認するようなさまざまな意味が出てくる。“哈”は意味と機能はすでに多くの四川方言辞書に記載されているが、ここでは紙幅の関係上、関係するところしか詳しく論じない。“該是”は話し手が把握している情報に基づいて、「のはずだ」とか、「に違いない」といった強い口調の判断を表す。両者の結合によって生まれた文として、“該是哈”は当然両者の特徴を持っている。ここでは、その意味機能を詳しく考えてみる。

3.2.1 押し付けの意味の“該是哈”

4) 他 是 學生， 該是哈。

彼 [コピュラ] 学生 GAI SI HA

Ta¹ si⁴ xio² sen¹, gai¹ si⁴ ha³ ?

彼は学生だよね。

5) 你 昨天 沒 去， 該是哈。

あなた 昨日 [否定] 行く GAI SI HA

Gni³ dzo² tien¹ mei¹ qie⁴, gai¹ si⁴ ha³ 。

あなたは昨日行かなかったよね。

これらの例は、“哈”単独の接続も可能であるが、“該是哈”を使う場合とはやや異なっている。“哈”だけの場合、二種類の可能性がある。

- a. 話し手は関係する情報を持っていながら聞き手に確認を求める
- b. 関係する情報を全く持たずに、聞き手に問いかける。

つまり、“他是學生哈？”、“你昨天沒去哈？”の場合、文脈によって、肯定的傾向を補強する確認と純粋な疑問と両方の意味が出る。一方、“該是”は話し手が情報を処理した上、こうなるはずだと判断する意味を表す。したがって、“該是哈”は自分の判断は妥当であるとの考えを前提に、その妥当性を聞き手に対して発話し、聞き手からの確認を求めるという意味になる。“該是”のように、確信的意向が強いと、相手に認めさせる気持ちも強くて、押し付け風に捉えられる。

3.2.2 気付かせの意味の“該是哈”

6) 他 到 我們 這兒 來 過, 該是哈。

彼 へ 私たち ここ 来る [経験] GAI SI HA

Ta¹ dao⁴ ngo³ men¹ dzer¹ nai² go⁴, gai¹ si⁴ ha³ 。

彼は私たちのところに来たことがあるよね。

7) 已經 到 點 了, 該是哈。

すでに なる 時間 [結果] GAI SI HA

I³ jin¹ dao⁴ dien³ no², gai¹ si⁴ ha³ 。

もう時間になったよね。

この場合、話し手は自分の判断を聞き手に確認するのではなく、現に話し手、聞き手の目の前のもの、共通の記憶にあるはずのもの、共通に想定できるものを話し手が聞き

手に気付かせている。

3.3 機能語化に伴う音韻変化

以上のように、“該是哈”は自分の判断・認識を聞き手に提示し、聞き手の確認を強く要求することで、押し付けか気付かせの機能を果たしている。“該是哈”はもともと“該是+哈”の構造を持っていたが、“該是”と“哈”が頻繁に共起することによって慣用化され、一つのまとまりとなっている。慣用化された“該是哈”は機能語的働きをする文法単位として、だんだん文末語気助詞“嘎”へ機能語化される道をたどり始めた。

機能語化する時、さまざまな音韻変化が伴う。それらは、音韻減少(reduction)である場合が多い。子音や母音が落ちたり、アクセントや声調の再調整が起ったり、隣同士の音韻が互いに同化しあったりする。以下、“該是哈”[kai¹ sɿ⁴ xa³]が“嘎”[ka³]に変わる場合の音韻的变化をいくつかの段階を設定し、考察する。

Stage1. [kai¹ sɿ⁴ xa³]⇒[kɛ¹ sɿ⁴ xa³]

中国語において、内容語から機能語になる場合、複母音がより短縮された形式の単母音になることはしばしば見られる。“了”[liɑu]が文末語気助詞になることに伴い、[lɤ]に変わったことや、“着”[tsau]が動詞から動態助詞になった場合、[tsə]になったことなど、多くの事例を挙げることができる。[kai¹ sɿ⁴ xa³]の機能語化過程においても、最初の音韻変化として、二重母音[ai]の単母音化が考えられる。

成都方言では、[ai]が単母音化されるとき、常に広母音(open)の[a]から、狭母音(close)の[i]に移る途中にある半広母音(open-mid)の[ɛ]に変わることがしばしば観察される。“在”は文末語気助詞になった場合も[tsai]から[tɛ]に変わるという音韻のバリエーションがある。同様に、[kai¹ sɿ⁴ xa³]の[ai]も[ɛ]に変わった。実際に[kɛ¹ sɿ⁴ xa³]の音韻形式は会

話の中でよく見られる。

Stage2. [kɛ¹ sɿ⁴ xa³] ⇒ [kɛ³ s xa³]

[ɿ]はもともと響きが弱く、[sɿ⁴]は[kɛ¹]と[xa³]の真ん中という位置にあるため、ますます響きにくくなる。[sɿ]は[s]になり、声調も失われ、[kɛ¹ sɿ⁴ xa³]は[kɛ¹ s xa³]の形式に転化された。また、前後の声調の同化が行われ、[kɛ¹ s xa³]は[kɛ³ s xa³]になる。

Stage3. [kɛ³ xa³] ⇒ [ka³]

機能語化に伴う音韻論的摩滅 (attrition) の過程において、形式を構成する音素が侵食され、形式が短くなる傾向があると Hopper and Traugott (2003) では指摘されている。その傾向の表れとして、[kɛ³ s xa³]において、[s]は最終的に脱落し、[kɛ³]と[xa³]の間、音節の融合が行われ、最終的に[ka³]という音韻形式になった。

この音韻変化の過程と照応し、機能語化が行われつつある。以下の例文のように、8)でもともと独立した文として使われる“該是哈”は音韻変化と共に、独立性がなくなり、9)の中間形式を経由して、最後に、内容確認部分との境界がなくなり、一体化される。このプロセスを経て、“該是哈”は10)の“嘎”になり、文末語気助詞への転化を遂げたのである。

8) 他 回國 了, 該是哈。

彼 帰国する [完了] GAI SI HA

Ta¹ hui² go² no¹, gai¹ si⁴ ha³。

彼は帰国したよね。

9) 他 回國 了, 嘎。

彼 帰国する [完了] GA

Ta¹ hui² go² no¹ , ga³ 。

彼は帰国したよね。

10) 他 回國 了 嘎。

彼 帰国する [完了] GA

Ta¹ hui² go² no¹ ga³ 。

彼は帰国したよね。

3.4 まとめ

“該是哈”から“嘎”への文法化を通して、以下の3点をまとめることができる。

a. 広い機能的領域においては、新しい層が絶えず起っている。その過程において、古い層は必ずしもなくならず、新しい層と共存したり相互に作用したりするこの現象を重層化と呼ぶ。以上、述べてきた“該是哈”から“嘎”になる過程においても、重層化が見られる。[kai¹ sɿ⁴ xa³]、[ke³ s xa³]、[ka³]の三つの音韻形式の共存、また、その共存こそ「AはABという中間的段階を経ずしてBにはならない」という Hopper and Traugott (1993) が主張する文法化の漸次的過程を支持しているのである。

b. 文法化と言えば、よく「内容語から機能語へと変わった過程」というイメージを持っているが、しかし、文法化は必ずしも語の間の転化に限られていない。文から縮約され、一つの機能語になった場合もある。成都方言の“嘎”はまさにその例である。“該是哈”から“嘎”になった過程は新しい語気助詞が生まれた過程であり、文法化の一種だと考えることができる。

c. “該是哈”から“嘎”へ変化する過程では、意味機能上の変化は伴わず、音韻形式だけが変わっている。この過程においては、音韻の短縮化は文法化を引き起こすきっかけとなっている。時には、音韻変化は文法化に付随した現象ではなく、文法化を導く要因になることもありうると言えよう。

第3章 副詞

まえがき

第3章では、二つの副詞と関連した文法化の現象を考察したい。その前に、副詞の定義と性質を見ておく。

朱德熙の《語法講義》では、副詞について、このように語っている。

我們把副詞定義為只能充任狀語的虛詞。根據這個定義分出來的副詞和形容詞有以下兩方面的區別。

第一，形容詞是實詞，副詞是虛詞。形容詞是自由的，可以單獨成句，副詞是黏著的，不能單獨成句。

第二，形容詞除了作狀語之外，還能作定語、謂語、補語，副詞只能作狀語，不能作定語、謂語、補語。

(私たちは副詞を状態語としてだけ働く機能語と定義する。この定義によって、副詞と形容詞は二つの面で区別されている。

第一に、形容詞は内容語であり、副詞は機能語である。形容詞は自立語で、単独で文を成り立たせるが、副詞は粘着的成分で、単独で文を成り立たせない。

第二に、形容詞は状態語以外にも、限定語、述語、補語となるが、副詞は状態語に限られ、限定語、述語、補語はならない。)

文法化の研究では、介詞や動態助詞などについての研究は多いが、副詞に関する研究は少ない。本章では、朱德熙の副詞に関する定義に基づき、次の二つの現象を取り上げ、分析する。

1. 文語にみる主述の独立性を取り消す“之”は成都方言において、副詞化され、程度を表すようになった。

2. 成都方言を含む多くの南方方言では、程度を表す副詞“好”は常に“多”、“久”などの形容詞と組み合わせられ、語彙化の過程を経て、“好多”、“好久”などのように疑問詞となっている。

主述の独立性を取り消す“之”の副詞化は「機能語⇒機能語」の過程であるが、この過程において、語の文法機能が変わったという点は、文法化の研究課題でもある。

「副詞“好”＋形容詞」の形式から、ひとまとまりの疑問詞である“好多”、“好久”などに変った過程は語彙化の過程でもあるが、これは「是非疑問文⇒特指疑問文」という変化をもたらしているので、文法化とも考えられる。

第1節 指示・程度と疑問の重なり

1.1 はじめに

呂叔湘（1985：182）では、次のことを指摘している。

古漢語裏有些詞是指別和疑問兩用的，如：(a) 台和以可訓“此”也可訓“何”；(b) 焉和安可訓“此”，“於此”，也可訓“何”，“於何”；(c) 爰可訓“於此”也可訓“於何”……

（古代中国語において、指示と疑問を兼用する語がある。例えば、(a) 台と以は“此”と“何”二つの意味を持っている。(b) 焉と安は“此”または“於此”の意味を持っているが、“何”または“於何”と意味する場合もある；(c) 爰は“於此”または“於何”の意味を持っている)

現代共通語の“那”と“哪”も類似した関係を持っている。“哪”はもともと“那”と記し、20世紀20年代以後、去声の“那”と区別するため、“哪”と書くようになったのである。したがって、一般に、指示を表す“那”と疑問を表す“哪”も同源関係を持っていると考えられている。

指示と疑問は全く違った二つの意味カテゴリーであるが、不思議なことに、この二つの意味カテゴリーは中国語において、常に体系的に重なっている。

これと同様に、一部程度を表す副詞が疑問をも表すことがしばしば観察されている。例えば、標準語の“多”、成都方言の“好”はその例である。

これらの疑問詞がなぜ意味カテゴリーをまたがって分布することが可能であるかと問うことは非常に興味深い。本節ではこれらの現象を考察する上、疑問と他の意味カテゴリーが重なるメカニズムを考えていきたい。

1.2 指示詞と疑問詞の兼用

六朝から唐宋までの間、指示と疑問に兼用される“底”がある。以下、1)と 2) は指示詞として使われる例であり、3)と 4)は疑問詞として使われる例である。

- 1) 問誰姓字在底中居，云：陶靖節，白居易，邵堯夫。（竹齋詞）

この中に誰の名前が入っていると聞くと、陶靖節、白居易、邵堯夫と答える。

- 2) 竹籬茅舍，底是藏春処。（無名氏，驀山溪詞）

竹籬で作った茅屋、そこは春が隠れたところである。

- 3) 朝真暮偽何人辨？古往今來底事無？（白居易，放言五首）

朝は真、夜は偽、誰が分かる？古から今まで、どんなことがないか？

- 4) 之才謂坐者曰：“箇人諱底？”

之才は座っている人に、「この人の名前は何でしょうか」と聞いた。

このように指示と疑問に兼用される現象は現代中国語方言にもよく見られる。盧小群（2004：307）は湘南（湖南省南部）方言の疑問詞を論じるとき、次のように指摘している。

“‘乜’在土話²³中既用於指示代詞，也用于疑問代詞……土話中的‘乜’分佈在嘉禾、臨武等，‘乜’都同時兼有指示和疑問的功能……”

（‘乜’は方言において、指示詞にも使われるし、疑問詞にも使われている……方言の‘乜’は嘉禾、臨武などの地域に分布し、同時に指示、疑問の機能を兼用している。）

²³ ここでは、湖南南部の一部方言を指す。

そして、次のような例を挙げている。

5) 箇是書，也[・]是筆。(指示)

これは本で、あれは筆(ペン、鉛筆など)だ。

6) 火裏頭煮東[・]也格? 様格香! (疑問)

キッチンで何を煮ているのか? 大変いい匂いだ。

黄伯榮(1991: 500)は、甘肅臨夏方言では、“阿一会”(何時)、“阿塔些”(何処)は疑問詞として使われているが、“兀一会”(その時)、“兀達些”(そこ)は指示詞として使われていると示している。この“阿”と“兀”について、楊秀芳(2002)では、“阿”は影母字であり、“兀”は疑母字であるが、影疑二母は臨夏方言で混同される現象が観察されている。したがって、“阿”と“兀”を同源関係にある語音バリエーションとして扱うことができると述べている。この考えによっては、臨夏方言においても、疑問詞と指示詞の重なりがあるとの結論が得られる。

要するに、通時的にせよ、共時的にせよ、疑問と指示、この二つのカテゴリーが部分的に重なっていることが確認できる。重なっている部分に属している語は疑問と指示として兼用されている。

1.3 程度と疑問の兼用

指示と疑問が一部の語に重なっていることと類似して、一部の程度副詞が疑問にも用いられている。以下、方言データからこの現象を観察する。

呂叔湘（1985：354）ですでに“官話區有些方言，如四川話，疑問和感嘆用相同的詞彙來表示。”（官話地域での一部の方言、例えば四川方言において、疑問と感嘆は同じ語で表している）と指摘している。呂氏は更に例を挙げている。例えば、“好大”、“好遠”、“好久”、“好多”などである。これらの例は疑問と程度表現の重なりを表している。四川方言に属する現代成都方言では、この関係は「疑問⇔感嘆」に限らず、「疑問⇔一般陳述」の間にも、この重なりが見られる。例えば、

7) 好多 人都 到 過 長城。 （成都方言・一般陳述）

HAQDO 人 皆 行く [経験] 万里の長城

Hao³ do¹ zen² dou¹ dao⁴ go⁴ tsang² tsen²。

万里の長城に行ったことがある人はとても多い。

8) 好多 人 到 過 長城？ （成都方言・特指疑問）

HAQDO 人 行く [経験] 万里の長城

Hao³ do¹ zen² dao⁴ go⁴ tsang² tsen²?

どのぐらいの人が長城に行ったことがあるか？

9) 他 來 了 好久 了。 （成都方言・一般陳述）

彼 来る [完了] HAQI CU [語気助詞]

Ta¹ nai² no² hao³ jiou³ no²。

彼が来てから、久しい。

10) 他 來 了 好久 了？ （成都方言・特指疑問）

彼 来る [完了] HAQI CU [語気助詞]

Ta¹ nai² no² hao³ jiou³ no²?

彼が来てから、どのぐらい経ったか？

以上の成都方言の例に関して、7)、9) のような一般陳述文における“好多”、“好久”は“很多”、“很久”の意味であり、呂叔湘(1985: 355)が言う通り、この“好”は程度を表している。これに対して、8)、10)の“好多”、“好久”は疑問詞で、それぞれ数量と時間を問う。

徐慧(2001)で湖南省益陽の益陽方言の“好多”、“好久”に対する描写を見てみよう。
(括弧内は相当する標準語である。)

11) 咯裏到益陽師專去的汽車好久嘍開一趟啻？ (徐慧(2001: 179))

(這裡到益陽師專去的汽車多久開一趟?)

ここから益陽師專行きのバスはどのぐらいの間隔で来るのか

冇得好久嘍，慢點又來咖噠。

(沒多久，等一會兒就來了。)

そんなに長くない、すぐ来るよ。

12) 前夾日夜發來噠好多人啻？ (徐慧(2001: 182))

(前天晚上來了多少人呀?)

一昨日の夜、どのぐらいの人が来たのか？

冇來好多。

(沒來多少。)

そんなに来ていない。

したがって、益陽方言の“好多”、“好久”は一般陳述文と特指疑問文における意味もそれぞれ異なっている。“好久啞開一趟嘍”の“好久”は時間の長さを聞くが、“冇得好久嘍”の“好久”は“很久”である“來嘍好多人嘍”の“好多”は量を聞くが、“冇來好多”の“好多”は“很多”である。

以上の内容をまとめると、中国語において、次の二つの現象が観察されている。つまり、

- a. 指示を表す意味カテゴリーと疑問を表すカテゴリーと、部分的に重なっている
- b. 程度を表す意味カテゴリーと疑問を表すカテゴリーと、部分的に重なっている

この二つの現象は一見接点がないように見えるが、共通点がある。すなわち、疑問詞が意味カテゴリーをまたがって、他の意味カテゴリーと部分的に重なっていることである。この現象はかなり普遍的で、たまたまこうなっているとは考えにくい。この現象の裏にあるメカニズムに対する解釈は興味深い。

1. なぜ指示と疑問は、部分的に重なっているのか
2. なぜ程度と疑問は、部分的に重なっているのか

この二つの問題をどのようにして、統合的に理解できるかを考えていきたい。

9)で示したように、陳述文において、“好”は“很”という程度表現にもなっている。当然、この陳述文に対応する“是非疑問句”(一般疑問文)にも、“好”は“很”の意味で捉えられると考えやすい。例9)“他來了好久了”(標準語で言えば、“他來了很久了”)が対応する“是非疑問句”は13)である。

- 13) 他來了好久了? (成都方言・是非疑問句)
(彼が来てから、久しい?)

見て分かるように、是非疑問文 13) と特指疑問文 10) は形式上、全く一致している。両者の接点はここにあると示唆してくれている。この接点を通じて、13) のように“ 好久” が使われている是非疑問文と 10) のように“ 好久” で導かれる特指疑問文とで、来源上传承関係があると予想しやすい。

ここに、一つ仮説をたてる。すなわち、10) のような特指疑問文は 13) のような是非疑問文に由来したというものである。以下、語用論を用いて、この“ 是非疑問文⇒特指疑問文” という変容の動機づけを説明してみる。

1.4 間接的発話行為

日常生活のなかで、相手に何かを伝える場合、その伝えたい内容を特徴づける条件の一部を発話することによって、意味を間接的に表現することがしばしばある。一般に、これを間接的発話行為といい、そのなかで要求を含むものを特に間接的要求という。例えば、

14) 近くにコンビニがありますか

字義通りの意味から生じる発話の効力と状況から判断される発話の効力が異なる場合がある。

14) の発話の字義通りの意味 (literal meaning) は、質問であるが、これに対して、「はい、あります」とだけ答えて、立ち去ってしまうことは通常はありえない。つまり、14) は、近くにコンビニが存在するかどうかという意味より、その場所を教えてほしいという依頼と見なされるのが普通である。このように字義通りの意味の解釈とは異なる発話の効力を持つものが間接的発話行為である。14) の場合、発問より、「教えてほしい」という要求を含んでいるため、間接的要求とも考えられる。

また、このような言い方がある。

15) 你能把門關上嗎？

あなたはドアを閉められますか？ (字義通りの訳)

ドアを閉めてくださいませんか？ (語用論的な訳)

字義通りの意味は人にドアを閉める能力があるかどうかについての質問であるが、この形式は常に依頼表現に用いられ、間接的発話行為になる。間接的発話行為は字義通りの意味 (literal meaning) に対する語用的意味 (utterance meaning) の理解に基づき、成り立ったのである。

Searleら語用論研究者は、聞き手が間接発話行為を理解する過程は次のような3つの段階からなることを提案した。

1. 聞き手は字義通りの意味を計算する。
2. 聞き手はある文脈において、その字義通りの意味に欠陥があるかどうかを決定する。
3. 字義通りの意味に欠陥があれば、聞き手は言語行為に関する知識などに依存して、話し手の伝達しようとする意味を導くような意味を探す。

話し手の発話は字義通りの意味であるか、語用的意味であるか、聞き手の判断によって、返事が違ってくる。例えば、

16) A: 你今天早上起來得很早？

今朝、早く起きたのですか？

B: 對 (不對)。

そうです。(いいえ、違います。)

17) A: 你今天早上起來得很早?

今朝、早く起きたのですか?

B: 今早上是9點起床的。

今朝は9時に起きたのです。

Aの発問に対するBの返事が異なっている。16)は字義通りの意味と理解されているが、17)は語用的意味として理解されている。

16)のように、Aは発話を通して、結果として、“你早上是幾點起床的?”という間接的要求を実現させ、実際に特指疑問文の効力を持つ。

これと同様に、13)は字義通りの意味では、“他是否來了很久了”であるが、聞き手は話し手の発話から、次の情報を得られる。

1. 話し手は「彼はいつ来たか」を知らない
2. 話し手は「彼はいつ来たか」を知りたい。

つまり、聞き手は話し手の発話を“請告訴我他什麼時候來的”という間接的発話として理解することが可能である。こうして、13)は語用的に“ How long ……”というような特指疑問文の働きを果たすことができたのである。

指示詞の場合も同様である。例えば、

18) A: 你到那裏去?

B: 我到東京去。

そこに行くのか

東京に行く。

Aは是非疑問文の形で、Bに「どこに行くか確定できない」、「どこに行くか知りたい」という情報を出し、間接的発話行為を果たしている。この間接的発話行為に答え、Bは

具体的行く場所を Aに教える。こうして、Aは是非疑問文を用いて、特指疑問文で発問するのと相当する機能を実現させたのである。

1.5 多義性の確定

会話現場の発話に基づいた語用義は臨時性を持っている。ただ、会話の場面に依存した語用義は繰り返して使われているうち、具体的な場面、文脈から逸脱し、慣用化されることが多い。慣用化される過程は3つの段階に分かれる。

- A. 元の慣用義(辞書項目としての意味)は会話場面に依存せずに独立している。
- B. 元の慣用義は語用義と並存する。
- C. 語用義は具体的文脈から逸脱し新しい慣用義になり、辞書項目として、定着する。

是非疑問文“他來過好久了?”はもともと確認を表す疑問文で、聞き手に“是”または“非”で答えてもらう。以上述べてきたように、この確認ムードの疑問文は常に間接的発話行為として聞き手に理解され、実際に具体的な時間の長さを聞く効力を持つようになる。このように繰り返され、具体的な時間の長さを聞くという機能が定着するようになる。こうして、語用義が慣用化される。

意味上の変化に伴い、文の性質も変わっていく。“好久”を例に、その意味機能の変化過程を次のようにいくつかの段階からなっていると考える。

Stage1 典型的な“是非疑問文”で、“好久”は“很久”の意味に相当する。“好”は程度副詞として、“久”を修飾する。聞き手の回答は“是”または“非”に相当する

回答である。

問：他來了好久了？ 答：是的(不是)。
彼は来てから久しい？ そうです。(違います。)

Stage2 非典型的な“是非疑問文”で、“好久”は依然として“很久”の意味であるが、聞き手は“是”または“非”に相当する回答をしないで、具体的な時間の長さで返事する。ここでは、“是非疑問文”は語用論的に特指疑問文に相当する臨時的意味を持つ。

問：他來了**好**久了？ 答：來了兩天了。
彼は来てから久しい？ 来てから、二日になった。

Stage3 特指疑問文に変わる。語用論によってもたらされてきた意味・機能が慣用化され、事実上、特指疑問文に転身する。“好”と“久”の境界がなくなり、再分析によって、“好久”は時間の長さを聞く際専用する疑問詞になる。

問：他來了**好久**了？ 答：來了兩天了。
彼はいつ来たか？ 来てから、二日になった。

上述した指示詞が疑問詞に転化する過程も同様であると考え、ここでは省く。

1.6 まとめ

以上の分析から分かるように、是非疑問文の中の“好久”、“好多”と特指疑問文の中の“好久”、“好多”は異質なものである。非疑問文の中の“好久”、“好多”は“好+

久”、“好+多”というように、“程度副詞+形容詞”の構造を持っている。一方、特指疑問文の中の“好久”、“好多”はそれぞれ一つの疑問詞であり、“好”と“多”、“久”の間で境界線を引くことができない。形式上、共通していることから、特指疑問文の中の“好久”、“好多”は是非疑問文の中の“好久”、“好多”から由来したと推測し、語用論的解釈を行った。つまり、“好久”、“好多”が使われている是非疑問文は実際の会話では、語用論的に特指疑問文の意味機能を獲得する。この語用義の慣用化に伴い、“好久”、“好多”は疑問詞へ転化した。一部の指示詞は疑問詞に兼用される現象も同じように説明することができ、この解釈を支持しているのである。

“程度副詞+形容詞”の構造を持っている“好久”、“好多”が疑問詞へ転化する過程は“好”と後ろの“多”、“久”との境界が消え、新しい語彙が形成する過程で、いわゆる語彙化の過程であるが、この過程はまた“是非疑問文”が“特指疑問文”に転化する過程であり、文法化の過程でもある。したがって、この過程は文法化と語彙化が同時に進行する過程だと言えよう。

第2節 “之”の副詞化

2.1 はじめに

成都方言の口語ではしばしば程度を表す副詞“之”が用いられる。この“之”について《汉语方言大词典》(1999)では次のように解釈される。

之:〈副〉很, 十分。西南官话。四川成都(とても、たいへん、西南官話、四川成都)

1) 那 感情 之 真誠, 之 熱情, 可以 說 難以言狀。

その 感情 DZI 誠意がある DZI 温かい [可能] 言う 言い難い

Na⁴ gan³ qin² dzi¹ dzen¹ tsen², dzi¹ ze² qin², ko³ i³ so² nan² i³ ien² dzuang⁴。

あの気持ちのとても誠実なこと、とても情熱的なことは、言葉では言い難い。

2) 街上 人 多, 公共汽車 之 擠 哟!

街頭 人 多い バス DZI 込む [語気助詞]

Gai¹ sang⁴ zen² do¹, gong¹ gong⁴ qi⁴ tse¹ dzi¹ ji³ io²。

街頭は人が多くて、バスはとても混んでいるよ!

張一舟等(2001)は次のように指摘している。「“之”は成都語に特有の程度副詞であり、述語性の語句の前で用い、程度がとても高いことを表す。極度に誇張する語気と強烈な感情的色彩を含有する。」同時にこの副詞“之”の使用範囲を詳細に描写している。

a. 形容詞を修飾し、“之+A”構造を構成する。例えば、

之好 之壞 之痛苦 之巴適²⁴ 之安逸²⁵

²⁴ 好, 令人满意。(よい、満足させる)

²⁵ 安逸 舒服(心地よい)

- b. 動詞(あるいは動詞句)を修飾し、“之+V”構造を構成する。例えば、
之喜歡、之擔心、之想念、之有手腕、之守規矩、之敢闖、之能吃

本節では張一舟等(2001)の研究を基に、そこにある“之”の詳細な記述を基礎に、以下二つの問題を巡って検討してみたい。

- ・ 成都方言の副詞“之”はどこから来たのか。それは文語中の“之”とは関係があるのか。
- ・ もしその二つに関係があるならば、どのような品詞及び機能の変化の過程を辿って来たのであろうか。

2.2 文語体中の主述の独立を取り消す“之”

1) 2) 中の“那感情之真誠”や“公共汽車之擠”のように、成都方言の“之+A/V”構造の前には名詞あるいは名詞性句を加えることができ、“NP+之+A/V”構造を構成する。“A/V”は“VP”と書くこともでき、このような構造からは文語の“NP+之+VP”構造²⁶が容易に連想できる。呂叔湘(1942)は文語の“NP+之+VP”構造について以下のように説明している。

「三子之不遷其業」實在是一個詞結，和「三子不遷其業」是同一個意義。我們稱這一類詞組為「組合式詞結」，當然也不妨稱之為「組合性詞組」。不管名稱如何，反正只要知道，這些原來是句子，現在不是句子了。這裡所加的「之」字，可說它的作用是取消句子的獨立性。

(「三子之不遷其業」は事実ひとまとまりの句であり、「三子不遷其業」と同一の

²⁶ 文語文における“之”とは先秦で口語中に用いられたものであるから、先秦の“之”とも称することができる。

意味を持つ。このような構造を称して「組合式詞結」とする。当然「組合性詞組」としても構わない。名称はどうか、これらが元来句であって、句ではなくなった、ということを知ることができればよい。ここに加えられた「之」の字の作用は、句の独立性を取り消すことだということができよう。）

王力(1958)は“NP+之+VP”構造を「仿語構造」と見なし、「主述の独立性を取り消す」という角度から類似の記述をしている。

試拿論語“君子之至於斯也、吾未嘗不得見也”為例。“至於斯”是個仿語(謂語形式)，“君子至於斯”是一個句子結構。現在把介詞“之”字插入主語和謂語之間，“君子之至於斯”又變成了仿語。……“君子至於斯”本來已經成為完整的句子，插入“之”字反而不完整……

(試みに論語の「君子之至於斯也、吾未嘗不得見也」を例に挙げてみよう。「至於斯」とは仿語(述語形式)であり、「君子至於斯」は一つ独立した文だということができる。もし介詞²⁷“之”を主語と述語の間に入れたならば、「君子之至於斯」は連語に変化する。……「君子至於斯」は本来すでに完全なる文であったが、“之”の字を挿入することによってかえって不完全になるのである。……)

主述の独立性を取り消すという作用は必ずしも“之”を加えなければならないというわけではない²⁸。しかし、主述の間に“之”を加えると、その結果、元来の主述文に

²⁷ これに関して、文語文中の主述間の“之”の品詞は各専門家が違う見方をしている(張敏(2003:243)の概括を参照)。本論文では論述の必要から張一舟等(2001)の意見を採用し、この“之”を助詞とした。

²⁸ 石毓智(2001)は次のように指摘している。「先秦の“之”の主要な用法のひとつは“名+動”連語中に用いるものでそれを名詞化した。しかしこの種の名詞化は必ずしも“之”を必要とするものではない。たとえば、“禄之去公室，五世矣；政逮于大夫，四世矣”(《论语·季氏》)前後両句の構造は完全に同一であり、ただ後者には“之”が用いられていない。

確実に大きな変化を生じるということを、我々は容易に見て取ることができる。当初は完全であった文構造が独立では主述文を為し得ない名詞性連語“ [NP+之+VP]_{NP}”へと変化するのである。

張一舟等(2001)は文語における句の独立性の取り消しである“ [NP+之+VP]_{NP}”と成都方言の“ NP+之+VP”を比較して、両者の性質の完全に同じからざることを指摘した。成都方言における“ NP+之+VP”はそれだけで主述文を為し得るのであり、文語における“ [NP+之+VP]_{NP}”はそれだけでは主述文を為し得ないのである。つまり、成都方言における“之”は程度副詞であり、述語性の単語や連語を修飾し、程度の高いことを極言する一方、文語における“之”は助詞であり、主述の間に置き、その独立性を取り消す。

このようではあるが、決して二者が完全に無関係であるとは言えない。逆に成都方言の“之”は正に文語の“之”から転化して来たと考えられるのである。この転化の過程は、すなわち“之”の統語論における機能と語義が変化を生ずるという文法化の過程である。以下試みに“之”が主述の独立性を取り消す助詞から成都方言の副詞へと変化した文法化の経路の構築、並びにそれをもとに二つの異なる“NP+之+VP”構造の相関性の検討を行ってみたい。

2.3 “之”の副詞化

2.3.1 語用によって生じる述語省略

もし成都方言の“之”が文語の“之”と伝承関係にあるものならば、まず考慮すべきなのは文語の“之”がどのようにして現在の成都方言の口語系統に組み入れられたのかということである。

張一舟等(2001)の説明から、“之”は句中に用い「極度に誇張する語気を含有する」

ということが確認できる。文語の“之”を口語に用いると、それが日常生活には用いない文語調であることから一種特殊な働きを引き起こし、それによって誇張の効果が表れるということと言えるだろう。“之”の口語での「復活」は、正にそれが普通の口語語彙とは異なる特殊な語感を帯びるために新奇性を具有し程度表現の強化の作用を引き起こすのだろう。

“之”が成都方言の口語系統で用いられた最初の段階では、文語の“[NP+之+VP]_{NP}”の“之”と統語論における機能は完全に同一で、どちらも主述の独立性を取り消す作用を持っていたと推測される。下記の例の通りである。

3) 天地造物之雄渾峻偉，令人嘆爲觀止。（文語文体）

天地造物の雄大で峻偉なさまは、人を見止めさせてしまう。

4) 春熙路²⁹ 之 熱鬧，簡直 不 擺 了。（成都口語）

春熙路 DZI 賑やか 本当に [否定] 話す [語気助詞]

Tsun¹ xi¹ nu⁴ dzi¹ ze² nao⁴, jien³ dzi² bu² bai³ no²。

春熙路の賑やかさは本当に言葉では言えないよ。

3) 4) の“之”に統語論の機能上どのような違いがあるか説明するのは難しい。4) は文語からの構文の借用であり程度が高いことを極言している。程度が最高点に達したこのとき、話者は往々に述語部分を省略した形式を用いて、「言葉では言い表しがたい」態度で程度が極めて高いことを示す。4) の述語部分の省略が変じて4)’となる。

²⁹ 成都市内有名な商店街である。

4) ' 春熙路之热闹……

Tsun¹ xi¹ nu⁴ dzi¹ ze² nao³ ……

厳密に言えば 4)' の語義は曖昧である。本来、聞き手が 4)' のような述語部分の省略された“ [NP+之+VP]_{NP}+ ……” を理解するとき、述語部分の補完の方法は幾通りもある。しかし、成都方言では 4)' は往々にして 4) の省略からきている。4)' と 4) の語義上の類似関係が語用の段階において繰り返されると、4)' の語義の慣用化へ向かい始める。すなわち、述語部分の補完の過程において、聞き手は 4)' = 4) の方法を以て 4)' を補完する傾向があるのである。また、4)' を 4) に復元し理解するということもできる。4) の伝達情報は、疑問の余地無く「春熙路の賑わいの程度が極めて高い」という感嘆である。このように、「4)' = 4)」という同等関係の理解を経て、4)' の“ [NP+之+VP]NP + ……” という省略句は、語用論の作用下にあつて、間接的に「程度が高い」という一種感嘆の語義を表すのである。

会話の中では聞き手は 4)' を習慣的に理解し「春熙路はとても賑わっている」とする傾向がある。注意が必要なのは、語用を通して先ほどの「春熙路之热闹」⇒「春熙路はとても賑わっている（春熙路非常热闹）」という推論を導き出したとは言っても、しかし、この過程はわずかに語用論の平面上に進行しているのであつて、4)' がすでに無条件に「春熙路はとても賑わっている（春熙路非常热闹）」と等しいとは言えないことである。事実この段階においても 4)' はやはり 4) の省略句であり、4)' の“之”と 4) の“之”を比較すると、機能上いかなる変化も生じていない。その統語論上の機能はやはり主述の独立性の取り消しなのである。

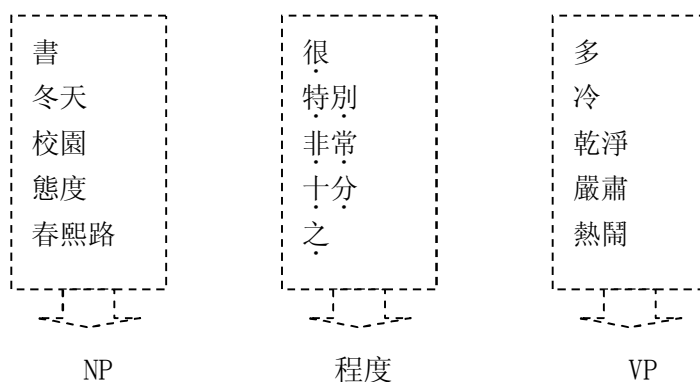
2.3.2 類推によって生じる語義変化

類推は文法化を誘発する重要なメカニズムの一つである。類推は文法構造の表層構

造の変化だとし、決してこの変化がただちに本質的な深層構造の変化を帯びるものではないと考えられている。

2.3.1 において語用上の原因により「程度が極めて高い」ことを表すとき、話者はしばしば省略形式を用いて「程度が高くて言語化し難いこと」を示すということを検討した。また、聞き手は習慣的理解に従い“ $[NP+之+VP]_{NP}+ \dots$ ”の自主的な補完によって話者の伝達しようとしている意図を修復し、語的理解を作り出していた。聞き手は4)’のような述語部分の省略した句を補完した後、「程度が極めて高い」という語用論的推論を獲得する。この推論は、また名詞性連語“ $[NP+之+VP]_{NP}$ ”の一步進んだ変化の条件を為す。

もし“ $NP+X+VP$ ”（ X は未知の成分）という構造が「程度が高い」という語義を表すのならば、最も容易に想像ができるのは「 $X=$ 程度副詞」であるということだろう。すなわち、“ $NP+$ 程度副詞 $+VP$ ”は使用頻度が最も高く、最も連想しやすい「程度が高い」ことを表す文法構造であるということもできる。たとえば、“圖書館書很多”、“今年冬天特別冷”、“校園非常乾淨”、“態度十分嚴肅”などである。類推の原動力は使用頻度が高く、使用範囲が広い文法形式に拠っている。「程度が高い」というような語義を表すとき、“ $NP+$ 程度副詞 $+VP$ ”は確かに使用頻度が高く、使用範囲が広い文法形式である。このように、“ $NP+$ 程度副詞 $+VP$ ”は必然的に一様に「程度が高い」という語義を表すことにより、“ $NP+X+VP$ ”に類似した構造の“ $[NP+之+VP]_{NP}$ ”への類推が生ずるのである。



類推の結果、“[NP+之+VP]_{NP}”において、語用的推論を通して獲得した「程度が高いことを表す」というような臨時の語義が“之”に賦与される。「VPを修飾し、程度が高いことを表す」というような文法機能は“之”によって担われている。類推が“之”に新たな機能を賦与し、再分析を行うための語義基礎を定めたのである。

2.3.3 再分析

再分析は文法化を誘発する重要なもうひとつのメカニズムである。Harris and Campbell(1995)は次のように指摘している。「再分析は文の内部構造を変えるメカニズムであり、それは即時の表層構造の変更を伴わない。³⁰⁾」

最もよく見られる再分析は二つの成分間の融合である。融合はまた境界の創出あるいは改変を伴う。2.3.2で述べたように“NP+程度副詞+VP”の類推作用下においては、“[NP+之+VP]_{NP}”における“之”は新たな語義、すなわち程度を表示するという語義を獲得する。このように“之”は必然的にVPと「修飾-被修飾」の関係を形成し、NPとの間にひとつの境界を形成する。すなわち、“NP+[之+VP]”である。

“之”と“VP”の関係の緊密化に従って、[之+VP]の形式は固定され、最後にひとつの述語文を形成する。そこで[NP+之+VP]_{NP}形式の制限から脱却し、独立して使用できるようになる。名詞性連語[NP+之+VP]_{NP}は解体し、“NP+[之+VP]”のような主述句へと変化する。この主述文において“NP”は表層からは姿を隠しても、構わない。つまり、“之

³⁰⁾ Harris and Campbell(1995: 61) :

“Reanalysis...is a mechanism which changes the underlying structure of a syntactic pattern and which does not involve any immediate or intrinsic modification of its surface manifestation.”

+ VP” の構造形式は完全に独立で使用できるものとも言うことができる。5) 6) がその例である。

5) A. 昨晚 黑 的 電影 咋 個 樣 ?

夕 べ の 映 画 どう

Dzo² uan³ he² ni¹ dien⁴ in³ dza² go⁴ iang⁴ ?

夕べの映画はどうだった？

B. 之 精 彩 哦 。

DZI 素晴らしい [語気助詞]

Dzi¹ jin¹ tsai³ o² 。

とてもすばらしかったよ。

6) A. 論 文 寫 出 來 沒 得 ?

論 文 書 く できあがる [否定]

Nen⁴ uen² xie³ tsu² nai² mei¹ de² ?

論文は書けましたか？

B. 之 難 寫 ! 現 在 還 沒 動 筆 。

DZI 難しい 書く 今 まだ [否定] 書き始める

Dzi¹ nan² xie³ ! xien⁴ dzai⁴ hai² mei¹ dong⁴ bi² 。

とても書くのが難しい。今はまだ書き始めていないよ。

5) 6) では“之 + VP” の独立使用により、すでに文語での“ [NP+之+VP]_{NP}” とそれを結びつけるのが難しくなっている。

2.3.4 拡張と更新

再分析により“之”と“VP”の関係は固定化されると同時に、元来の[NP+之+VP]_{NP}は独立の主述文に変えられる。独立の主述文“NP+[之+VP]”において、“之”はVPを修飾し、VPの程度を表す。そこで当然、元来の品詞の範疇から抜け出し、副詞に転化する。

“之”の副詞化のひとつの典型的な証拠は、“之”がすでに語用において臨時的に「程度が高い」という語義を表すのではなく、その表示する程度の機能もまた“NP+[之+VP]”の句構造だけに限るものではないということである。“之”は程度を表す機能を“V得+之+補語”の動補連語へも拡張している。そのような連語では“之”は補語を修飾し「很、十分」のような語義を表す。例えば、

7) 寫 得 之 快。

書く [補語] DZI 早い

Xie³ de² dzi¹ kuai⁴

書くのがとても速い。

8) 考 得 之 好。

試験を受ける [補語] DZI 良い

Kao³ de² dzi¹ hao³。

試験した結果とても良かった。

“之”の副詞的な機能は成都方言において強固になりそして拡張した。その実質は成都方言系統にもともとあった副詞への更新(renewal)である。「更新」とはもと言語コミュニケーションにおいて一種の重要な傾向である。つまり古臭い言い方の代わりに斬新な言い

方を用いることにより、更に語用的力を強める作用を獲得する。その要因は「新奇性」からくると考えられる。Hopper and Traugott (2003:122)は「強意語(intensifiers) は、感情を表す語用的機能が顕著であることにより、そのほかの普通の品詞と比べて更新されやすい。³¹⁾」と考え、また、英語の「very」の更新を例に取り、「相次いで以下のような程度を表す語が使用された: awfully, frightfully, fearfully, terribly, incredibly, really, pretty, truly。現在の書き言葉でも very は most, surprisingly, extremely, highly, extraordinarily などまだいくつの変形を持っている」と指摘している。

劉丹青(2001)は漢語でよく用いられる副詞更新の鎖の大枠を“大→孔→甚→殊→非常→很→怪→特→倍兒”のように描き出し、同時に「以上の副詞はほとんど“強調-常用-淡化-淡”という衰退の過程を辿る。比較的最近に現れた‘很’‘非常’等はまだこの流れを辿りきっていないが、しかしすでに確実に更新の圧力を受け始めている。…」と指摘している。

成都方言の“很高兴”の“很”や“好漂亮哦”の“好”等の程度を表す副詞もまた“之”の圧力をまさに受けているところである。その証拠に“之+VP”構造の使用頻度はますます高くなり、同時に“V得+之+補語”のような構造の中でも使用されるようになってきている。それに反して実際のコミュニケーションで“很高兴”“好漂亮哦”の“很”“好”は、もしストレスによる強調をしない状況でも、聞き手は普通、本当の意味の「程度が高い」というような語義を理解するのは容易ではない。

“之”は漢語史の上で新しい語ではなく、早くから現代口語では使用されていなかった。それが現代成都方言に現れた頃、古い言葉を新たに用いることによって、他の意味

³¹⁾ Hopper and Traugott (2003:122)

“Intensifiers are especially subject to renewal, presumably because of their markedly emotional function. They are unusual in undergoing renewal especially frequently.”

での「新意」が具えられた。それは「新奇性」のような更新の要求に完全に一致するものだったのである。

2.4 まとめ

成都方言における“之”の副詞化は“[NP+之+VP]_{NP} + ……”より始まった。“[NP+之+VP]_{NP} + ……”の構造はまだ文語文の連語の借用でしかなく“之”も句の独立性を取り消す働きしか担っていない。語用を通して新しい語義を生じることによって、“[NP+之+VP]_{NP} + ……”の理解が“[NP+之+VP]_{NP} ⇒ 程度が高い”へと慣用化していった。この語用論的語義に基づいて、類推と再分析を通して新たな句構造“NP+[之+VP]”に辿りつくことができた。この構造において、“之”は「程度が高い」ことを表す機能を獲得し、並びにこの機能をその他の構造へと拡張した。

機能の拡張は“之”がすでに完全に文語の助詞から離脱し、一つの副詞性成分と成ったことを意味する。当然注意が必要なのは、その他の副詞が用いられる場所に必ず“之”が用いることができるわけではないということである。“之”は統語論上いくらかの制限を受ける。たとえば、疑問文では“之”を用いて程度を表すことができない。

?? 20) 昨晚黑的電影之好看嗎?

“之”の副詞化はある程度進行しうるし、その機能は他のいくらかの句構造に拡張しうるが、目下予測することは難しい。“之”は新たな統語論上の構造に拡張することかもしれないし、他の新たな程度副詞の圧力によって拡張を停止するかもしれない。ただ我々が言えることは、“之”が副詞となっておおむね成都方言にすでに立脚し、今後の一定の期間内は語用論的に臨時に程度を表す語義を果たすだけでなく、「程度を表す副詞」としての存在を継続するであろうということである。

第4章 アスペクト

まえがき

第4章では、成都方言におけるアスペクトを表す文法形式の文法化について、考えていきたい。

アスペクトは英語の aspect から借用したものである。Aspect という概念について、バーナード・コムリー (Bernard Comrie) (Aspect, Cambridge University press 1976:3) では、「different ways of viewing the internal temporal constituency of a situation」と定義している。

Comrie の定義に対して、山田小枝 (1988) では、「アスペクトは場面の内的な時間構成を捉える、様々な見方である。」と訳している。

中国語では、アスペクトを“動態”、“動相”あるいは“体”と訳している。李臨定 (1990) では、次のように指摘している。

“體”是動詞體現的另一種重要的語法範疇，它通常是指，在語流中，動詞所顯示的動作行為在進程中所處的不同階段的状态。在描寫漢語語法的著作裏中，在說明動詞的這種進程状态時，有的稱之為“動態”，有的稱之為“動相”，我們選用了語言學的一般用名，稱之為“體”。

(“体”は動詞が表すもう一つの重要な文法カテゴリーである。それは通常、言葉の流れの中において、動詞が表す動作行為はプロセスのもの様々な異なる段階での状態をさす。中国語の文法を記述する著作の中、このプロセスの中の状態を説明するとき、“動態”と呼ぶこともあるし、“動相”と呼ぶこともある。私たちは言語学の一般的な言い方を使い、“体”と呼ぶことにする。)

また、張志公(1955)では、中国語のアスペクトの表し方について、このように述べている。

表現動態，一般是在動詞的上下加上某個特殊的虛詞，這些虛詞在結構上講，跟動詞關係很密切，簡直可以說已經附著在動詞上了。

(動態を表すには、一般には動詞の前後に特殊な虚詞を加えるのであるが、これらの虚詞は構造上、動詞との関係は非常に密接であって、既にほぼ動詞に付着したのものとなったと言える。)

張志公が言っているこれら特殊な虚詞(機能語)は標準語で言うと、完了を表すアスペクト助詞“了”、その否定としての“没”、“沒有”、進行を表す“着”などが挙げられる。

アスペクトを表す機能語は、方言によってかなり異なっている。その由来は、標準語と共通なものもあれば、全く関連のないものもある。本章では、成都方言の“倒”、“得有”、“没得”など標準語と異なったアスペクトを表す文法形式に絞って、これらの機能語の文法化について、議論を展開する。

第1節 “到”から“倒”へ

1.1 はじめに

南方方言では、動詞の後ろにある上声の“倒”があつて、仮位可能補語、完成相標識、持続相標識などの機能を果たしている。この“倒”は歴史文献からも見出されている。古屋昭弘(1997)では、イエズス会が1580年代に作ったポルトガル語と明代官話の対照語彙集である《葡漢辭典》から、アスペクト助詞に近い“V倒”の例を紹介し、遅くとも、明の万暦年間には、アスペクト的な“V倒”がすでに存在していたことを指摘している。その一部の例をここに紹介しておく。

- 1) 黏倒 (くっついたもの)
- 2) 圍倒 (周囲を囲むこと)
- 3) 紐倒 (ボタンをかける)
- 4) 塞倒 (詰める)

柯理思(1995)では、20世紀初、宣教師 Rey Charles (雷利神父)が編成した《客語聖書》の資料を使って、当時の客家語に見える“倒”は官話の“了”に対応していることを示している。

- 5) 亞嫂，汝好放心，爾信德救倒汝。(馬太第九章 22)

官話：女兒，放心，你的信救了你。

- 6) 想知得，客人賺倒多少，……(路加十九 15)

官話：要知道他們做生意賺了多少

7) 有人種倒葡萄園，用籬笆圍緊，鋤倒酒，起倒望樓。（馬可十二，1）

官話：有一個人種了個葡萄園，周圍圈土籬笆，挖了個壓酒池，蓋了座樓。

この機能語としての“倒”は数多くの南方方言で使われている。趙元任（1980:229）は次のように指摘している。

在華中、華西、華南一帶方言裏，有一個非常常見的補語，通常寫法跟上頭（2）一樣³²，也作“到”，但是念作-dao，也就是跟國語上聲相當的聲調。這個補語的功能非常廣泛，可以用作“着”、“到”、“見”或者詞尾“着”，看個別方言而定。

（華中、華西、華南あたりの方言では、一つよく見られる補語があり、通常上の（2）の同様に“到”と書くが、-daoと読む。すなわち、国語の上声に相当する声調である。この補語の機能は非常に広く、方言によっては、“着”、“到”、“見”あるいは語尾の“着”として使われる。）

この南方方言に広く分布している“倒”の来源について、林英津(1993)、柯理思(1995)、李藍(1998)では、各方言から論じている。これらの研究成果を踏まえ、呉福祥(2002)は、歴史言語学、多方言にわたる類型論的研究によって、この“倒”は“到”に由来するものだとはっきり指摘しており、“到”から“倒”へ転化する文法化の過程を考察した。

本節では、100年前の四川方言を反映している《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》から、この二冊に見る機能語としての“倒”の文例を集め、声調問題を取り上げ、声調から見る文法化の進む度合いを検討していきたいと思う。なお、《西蜀方言》と《華英

³² (2)は“到”一・dawを指す。

《聯珠分類集成》に関連する成書経緯、時代背景および言語特徴などについては、千葉・熊・高橋(2005)を参考されたい。

1.2 《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》に見る“倒”

二書において、機能語としての“倒”と関連する文法形式は大幅に、次の二種がある。³³

- ・ 仮位補語としての“V得倒、V不倒”
- ・ 動作の実現や持続を表す動態助詞としての“V倒”³⁴

以下、類別ごとに部分例をここにあげる。なお、“西”は《西蜀方言》、“華”は《華英聯珠分類集成》を表す。

1.2.1 V得倒、V不倒

Chao Yuen Ren (1968)では、補語として使われる“了”と“來”のように特殊的意味がなく、可能式を可能にする補語を仮位可能補語(Dummy potential complements)と称

³³ “倒れる、倒す”という意味で、“摔倒了”のような結果補語としての“倒”はここで取り上げる音[tau³]を記す“倒”と無関係だと考えられ、論外にする。

³⁴ 吳福祥(2002)の分類では、動相補語、持続体標識、完成体標識と別々に項目を立てているが、ここでは、実現およびその結果という動態を表す機能に注目し、その再分化をせず、“動作の持続や完成を表す動態助詞としての‘V倒’”と統合的に理解し、同じ項目に入れる。なお、吳文は“我削倒蘋果在”の“倒”を進行体標識とするが、この“倒”は「動作の持続」としても理解できるため、純然たる進行体標識ではないと考える。“倒”より、むしろ文末の“在”が進行を表す働きを果たしていると考えられやすい。ここで、進行体標識という項目を立てないことにする。

した。二書から、仮位可能補語としての“倒”を次のように集めた。なお、ローマ字で記している発音は現在の成都方言の発音である。

8) 一 根 樹 剥 得倒 幾 層 皮 (西・P50)

一 [量詞] 木 剥く DEDAO [疑問] 層 皮

I² gen¹ su⁴ bo² de² dao³ ji³ tsen² pi²

一本の木は何枚の皮を剥くことができるか

9) 找 得倒 個 財喜 不 (西・P89)

探す DEDAO [量詞] お金 [語気助詞]

Dzao³ de² dao³ go⁴ tsai² xi³ bo²

儲かる話があるか

10) 饅子 封 得倒, 人 口 封 不倒 (西・P145)

かめ 封じる DEDAO, 人 口 封じる BUDAO

Tan² dzi³ fong¹ de² dao³, zen² kou³ fong¹ bu² dao³

かめの口は封じることができるが、人の口は封じることができない。

11) 摸 得倒 看 不倒 (西・P176)

触る DEDAO 見る BUDAO

Mo¹ de² dao³ kan³ bu² dao³

触って感じられるが、見えない

12) 聽 得倒 (西・P177)

聞く DEDAO

Tin¹ de² dao³

聞くことができる

13) 今天 圓 不倒 工 (西・ P99)

今日 完成する BUDAO 仕事

Jin¹ tien¹ üan² bu² dao³ gong¹

今日は仕事を完成することはできない

14) 富貴 在 天 , 強求 不倒 的 (西・ P173)

富貴 にある 天 強引に求める BUDAO [語気助詞]

Fu⁴ guei⁴ dzai⁴ tien¹, qiang² qiou² bu² dao³ ni¹

天のみぞ知る、強引に求めることができない

15) 彌縫 不倒 (西・ P173)

隠す BUDAO

Mi² fong² bu² dao³

悪事などを) 隠すことができない

16) 復 不倒 原 (西・ P178)

回復する BUDAO 元

Fu² bu² dao³ üan²

元に戻れない

17) 遮蓋 不倒 (西・ P359)

包み隠す BUDAO

Tse¹ gai⁴ bu² dao³

隠すことができない

18) 出 不倒 氣 (西・P43)

出す BUDAO 氣息

Tsu² bu² dao³ qi⁴

呼吸ができない

1.2.2 V倒

北京語では“坐着”、“拿着”、“睡着”のように“V着”で“持続相”を表すが、西南官話では、“V倒”で表す。命令文のような未然事態を述べる時や仮想的な動作の持続を表す場合も“V倒”を使うことができる。二書には、このような例がある。

19) 先生 在 書房 裏 坐 倒 (華・第1課・1)

先生 [場所] 書齋 中 座る DAO

Xien¹ sen¹ dzai⁴ su¹ fang² ni³ dzo⁴ dao³

先生は書齋に座っている

20) 把 油桶子 擡 倒 (華・第3課・14)

を 灯油のバケツ 持ち上げる DAO

Ba³ iou² tong³ dzi³ tsou¹ dao²

灯油のバケツを持ち上げている

21) 把 油罐子 敞子 拿 倒 (華・第3課・20)

を 油の缶 じょうご 持つ DAO

Ba³ iou² guan⁴ dzi³ na² dao³

灯油の缶とじょうごを持っている

22) 把 这个 拿 倒 (西・P23)

を これ 持つ DAO

Ba³ dze⁴ go¹ na² dao³

これを持っていてください

23) 短 倒 (西・P368)

阻止する DAO

Duan³ dao³

途中で阻止してください

24) 站 倒 (西・P385)

立つ DAO

Dzan⁴ dao³

立っていてください

25) 莫 望 倒 我 (西・P261)

[否定] 見る DAO 私

Mo² uang⁴ dao³ ngo³

私を見ないでください

26) 埋 倒 脳殻 (西・ P105)

下げる DAO 頭

Mai² dao³ nao³ ko²

頭を下げている

19) では、「座る」という動作が終了した後、動作主は静止状態に入って、そしてその状態を継続している。20) ~26) も同じく動作終了した後、動作主の静止状態の継続を表す。“V倒”のVが瞬間動詞である場合あるいは動詞の瞬間的面を強調する場合)、状態の継続を表すことができないため、動作の完了(あるいは実現)を表す。次のような例が見える。

27) 把 門 扯 倒 (華・ 第6課・ 11)

を ドア 閉める DAO

Ba³ men² tse³ dao³

ドアを閉める

28) 把 鎖 鎖 倒 (華・ 第6課・ 17)

を 錠 ロックする DAO

Ba³ so³ so³ dao³

錠をロックする

29) 把 茶葉盒 蓋 倒 (華・ 第12課・ 14)

を 茶筒 蓋をする DAO

Ba³ tsa² ie² ho² gai⁴ dao³

茶筒に蓋をする

30) 大家把刀子叉子放倒 (華・第19課・14)

みんなはナイフとフォークを置いた

“V倒”は“V₁倒(O₁) V₂(O₂)”の構造において、後ろの動詞の状態語としても使われている。例えば、

31) 坐 倒 歇涼 (西・P41)

座る DAO 夕涼みをする

Dzo⁴ dao³ xie² niang²

座って夕涼みをする

32) 跟 倒 車子 印印 走 (西・P41)

つく DAO 車 跡 歩く

Gen¹ dao³ tse¹ dzi³ in⁴ in¹ dzou³

車の跡について行く

33) 向 倒 天 看 (西・P76)

向かう DAO 空 見る

Xiang⁴ dao³ tien¹ kan⁴

空を見る

34) 跟 倒 人家 打和聲 (西・P82)

つき従う DAO 人 あいづちを打つ

Gen¹ dao³ zen² jia¹ da³ ho² sen¹

人にあわせて、あいづちを打つ

35) 提 倒 耳朵 教 (西・ P225)

引っ張りあげる DAO 耳 教える

Ti² dao³ er³ do¹ jiao¹

耳を引っ張って教える

1.2.3 V 倒 V 倒

わずかに二例しかないが、同じ“V 倒”を重ねた形式である“V 倒 V 倒”という文法形式もある。

36) 試 倒 試 倒 的 拗 (西・ P241)

試す DAO 試す DAO [状態語マーカー] 曲げる

Si⁴ dao³ si⁴ dao³ ni¹ ngao⁴

試しながら曲げる

37) 試 倒 試 倒 的 (西・ P481)

試す DAO 試す DAO [状態語マーカー]

Si⁴ dao³ si⁴ dao³ ni¹ ngao⁴

試しながら(やる)

1.3 現代成都方言における機能語の“倒”

現代成都における“倒”は二書に見る“倒”とほぼ完全に一致している。ただし、“V 倒 V 倒”の用法では、現代成都方言で使われる用法の一つは二書から見られていない。

現代成都方言で、“V 倒 V 倒”が二つの意味で使われている。以上の 31)、32) のよ

うに、状態語として使われ、後ろの動作が発生する様態を表す。例えば

38) 挨 倒 挨 倒 坐 纔 坐得下。(張一舟等(2001)例)

近づく DAO 近づく DAO 座る して始めて 座れる

Ngai¹ dao³ ngai¹ dao³ dzo⁴ tsai² dzo⁴ de² xia⁴

詰めて座らなければ、場所がない

39) 錢 要 算 倒 算 倒 用。(張一舟等(2001)例)

お金 すべき 数える DAO 数える DAO 使う

Qien² iao⁴ suan⁴ dao³ suan⁴ dao³ iong⁴

お金は数えながら使うべきだ。(節約すべきだ)

また、動作が進行する時、変化や新しい事態が発生することを表す場合がある。この用法は二書では確認されていないため、百年前の四川方言では、次の用法があったかどうかは不明である。

40) 哭 倒 哭 倒 又 笑 了。(張一舟等(2001)例)

泣く DAO 泣く DAO また 笑う [変化]

Ku² dao³ ku² dao³ iou⁴ xiao⁴ no²。

泣いているうちに、笑いがこみ上げて来た。

41) 說 倒 說 倒 就 生氣 了。(張一舟等(2001)例)

話す DAO 話す DAO すると 腹が立つ[変化]

So² dao³ so² dao³ jiou⁴ sen¹ qi⁴ no²。

話をしているうちに腹が立った。

1.4 声調の問題

柯理思(1995)によると、《客語聖書》の著作者である宣教師 Rey Charles(雷利神父)(1937)はすでに動詞後置成分“到”の声調問題に気付き、次のように強調している。

我在我的詞典裏助動詞‘tao’寫作‘倒’，我在這裡得指出，那樣寫不好，‘倒’字只用來表示‘顛倒’的意思。助動詞‘到 tao’和動詞‘到 tao’是念成兩個不同聲調的同一個字。此外，還有些地方不分，助動詞‘到’和動詞‘到’都讀作去聲的‘ta⁰’。

(私は自分の辞書においては、‘tao’を‘倒’と記しているが、それはよくないことだとここに言っておきたい。‘倒’は‘顛倒’の意味で使われるが、助動詞‘到 tao’と動詞‘到 tao’は声調が異なった同じ字である。また、助動詞の‘到’と動詞の‘到’を分けずに去声の‘ta⁰’と読むところもある。)

つまり、Rey Charles は“倒”と記している助動詞は動詞の“到”とは声調が異なっているが、同じ字だと主張している。

林英津(1993)では“以聲調的不同區別實詞和虛詞”(声調の違いによって、内容語であるか、機能語であるかを区別する)と指摘している。柯理思(1995)も客家語の“到”は去声から上声に変わる現象は一種の“虚化”の手段として捉えられ、声調の区別によって、“実”(内容語)と“虚”(機能語)を分けるのと同じ意見を述べている。

内容語から機能語に変化するとき、さまざまな音韻変化が起きる。子音や母音が落ちたり、アクセントがなくなったり、再調整したり、隣同士の音韻が互いに同化しあったりすることは文法化理論の研究でよく取り上げられている。しかし、文法化理論の研究

者の大半は欧米学者であるため、声調言語の場合、文法化が起こる際、何か特徴的な音韻変化があるかについてはめったに触れない。

柯理思(1995)と林英津(1993)では、むしろ機能語としての“倒”は“到”から由来しながら、声調が異なることは不思議であるというより、文法化の一種の手段として、自然なことであるという観点を示している。

動詞“到”は去声であり、仮位可能補語や持続、完成を表す“倒”は上声である。興味深いのは、現代成都方言では、方向補語を表す“到”は上声とも去声とも発音できる。

42) 把 書 放 到 桌 子 上。

を 本 置 ぐ DAO 机 上

Ba³ su¹ fang⁴ [dao⁴] tso² dzi³ sang⁴。

Ba³ su¹ fang⁴ [dao³] tso² dzi³ sang⁴。

要するに、dao⁴, dao³の声調は次の表にまとめることができる。

項目	例文	発音
動詞	到東京旅遊。(東京に旅行に行く。)	dao ⁴
方向補語	把書放到桌子上。(本を机の上に置く。)	dao ⁴ , dao ³
動相補語	碰到熟人。(知り合いに会った。)	dao ³
仮位補語	寫得到英語。(英語を書くことができる。)	dao ³
持続体	端到一個箱子。(一つの箱を持っている。)	dao ³
完成体	拿鋪蓋(被子)蓋到。(布団をかぶせる。)	dao ³

吳福祥(2002b)で示した南方方言の“到”の文法化の経路は次の通りである。

> 仮位補語

> 持続体標識 > 進行体

到: “至” 義動詞 > 趨向補語 > 動相補語 > 完成体標識

> 補語標識³⁵

|——dao⁴—— dao⁴, dao³ ————— dao³—— | (成都方言)

以上の表で示した“到”の声調は吳福祥(2002b)で示した南方方言の“到”の文法化の経路と照応している。つまり、動詞“到”は“方向補語”を経由してから、動相補語、持続体標識、完成体標識などに拡張したのである。“方向補語”はこの文法化のクラインにおいて、内容語と機能語の中間に位置し、動詞“至”の意味を持ちながらも、機能語に発展していく途中段階にあると言える。

1.5 まとめ

南方方言に普遍的に存在する動詞の後ろにある機能語“倒”は動詞から文法化されてきたことが過去の方言や歴史言語学の研究によって明らかになった。本節は、これらの研究を参考に、100年前の四川方言を反映している『西蜀方言』と『華英聯珠分類集成』から、西南官話に見られる機能語としての“倒”文例を集め、現代成都方言での用法と対照した。そして、“倒”と本字である“到”の声調の違いを問題に取り上げ、声調の変化は文法化の一種の手段として位置付けた。文法化の度合いの差によって、内容語と機能語と中間にある方向補語の二つの発音から、この主張を検証した。ただし、文法化のプロセスに見る声調の変化はどういう場合で起こるか、どの声調に変化するかは恣意的であるかどうかはまだ研究課題として残されている。

³⁵ “到”が「補語標識」の機能を担うのは成都方言に見られないが、広東語などの方言に見られ、例えば、次の例文がある。冷到打冷震。(寒くて、身が震える。)

第2節 「進行・状態」を表す“在”

2.1 はじめに

存在動詞が進行・状態を表す文法標識にシフトされるのが多くの類縁性のない言語の一般的傾向の一つである。身近な例として、日本語の「いる」や「ある」が挙げられる。³⁶

- 1) 走っている。(進行)
- 2) 洞窟の前にベンチが置いてある。(状態)

金水敏(2006)はこれら存在動詞に由来したアスペクト形式を「存在型アスペクト形式」と呼び、日本語の存在型アスペクト形式の発達について詳しく論じている。日本語などの多くの言語と同様に、漢語方言の一つとしての成都方言も、存在動詞 在[dzai³]で進行・状態を表している。呂叔湘(1955)では、四川方言の“在”について、次のように指摘している。

蜀語與北京話同屬官話系統，迄今仍然以在字為語尾助詞，其音作 dzai 或 dai，如云“睡到在”，“放到在”。³⁷

(蜀語は北京語と同じ官話に属し、今でも“在”を語気助詞と扱い、dzai か dai と読む。例えば、“睡到在”、“放到在”。)

³⁶ 金水敏『日本語存在表現』を参考されたい。

³⁷ “睡到在”、“放到在”の“到”は現在よく“倒”と書く。

原文では dzai, dai を tsai, tai と書くが、本論文では、ほかの注音と統一するため、アレンジした。

呂氏が言っている“蜀語”は成都方言を代表とする四川方言のことであり、その“在”は進行・状態標識としての“在”である。張清源（1983）などによるいくつかの記述的研究が行われてきたが、本発表はこれらの先行研究を踏まえ、“在”が内容語から機能語に発展した過程、すなわち“在”の文法化のプロセスについて仮説を提案する。

2.2 “在”の統語的特徴

“在”は進行・状態を表す場合、統語的制約がある。前の述語動詞は進行性・持続性を持つ動詞である。例をみてみよう。

3) 我 削 倒 蘋果 在。

私 剥く [継続] リンゴ DZAI

Ngo³ xue² dao³ pin² go³ dzai⁴

私はリンゴを剥いている。

4) 屋 頭 開 起 燈 在。

家 中 (明かりを) つく [継続] 明かり DZAI

U² tou¹ kai¹ qi³ den¹ dzai⁴。

部屋に電気が付いている。

例3) 例4) の“倒”、“起”は共通語の“着”に相当する動態助詞である。³⁸ “倒”、“起”と“在”の連携が強いので、“倒”、“起”と共起できない動詞は“在”との共

³⁸ “倒”、“起”の使い分けについて張清源（1991）が参考になる。簡単に言えば、“倒”の前は「動態」を表す動詞が多いが、“起”の前は「静態」を表す動詞が多い。

起もできない。例えば、存現・消滅を表す動詞(來, 到, 生, 死……)、感情を表す動詞(怕, 愛, 恨……)、授受関係を表す動詞(給, 送, 借……) など、“倒”、“起”との共起ができない動詞(北京語で言えば、“着”との共起ができない動詞) は進行・状態を表す“VP 在”文に入ることができない。

2.3 “在”の文法化

2.3.1 連動化

連動化とは簡単に言えば、複文緊縮による単文化のことを指す。過去“把”、“被”“了”などの研究から見れば、動詞文法化の過程において、連動化は常に重要な役割を果たしていることが分かる。成都方言の“在”の文法化プロセスにおいても、連動化が深く関連している。例3) 例4) から、“V 倒(+NP) + 在”、“V 起(+NP) + 在”の構造は連動構造と形式的に類似していることが分かる。

5) 坐 倒 休息。

座る [継続] 休む

Dzo⁴ dao³ xiou¹ xi²。

座って休む。

6) 側 起 耳朵 聽。

傾ける [継続] 耳 聞く

Tse² qi³ er³ do¹ tin¹。

耳を傾けて聞く。

“在”は最初の段階では、存在動詞であったと考えれば、例3)～例6)の各例から次のような共通した構造を抽出することが出来る。

I. V1倒(起)(+NP1) +VP2

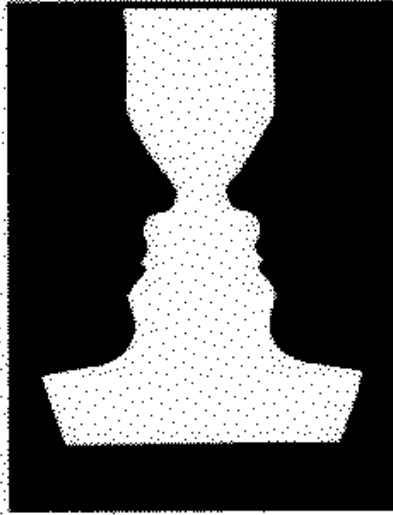
VP1

V1に接続し、VP2の前に位置する動態助詞の“倒(起)”は北京語の“着”と同様に、ちょうど連動構造を示す標識であり、“在”の文法化は連動文から始まるということを示唆してくれる。連動構造に構成するV1倒(起)(+NP1)、VP2の相互関係から考えれば、V1倒(起)(+NP1)とVP2は「修飾—被修飾」の関係を成している。例えば、例5)では、“坐倒”は“休息”の様態を表し、例(6)では“側起耳朵”は“聽”の様態を表す。V1倒(起)(+NP1)はVP2が成立する背景であると言えよう。連動構造“NP+V倒(起)(+NP)+在”は「主語が“V倒(起)(+NP)”という様態で存在する」と読み取られる。

2.3.2 図と地の反転

私たちは認知活動をする時、認知対象のどこに注目するかという注意の配り方によって認知の結果に差が出てくる。以下、注意を白い部分に向けるか黒い部分に向けるかによって、盃か向かい合った人の横顔かに見えるという有名な「ルピンの盃」と呼ばれる画はその例である。

知覚の上で注意の向けられる際立った対象を図(*figure*)と言い、図に対する背景になる際たちの低い部分を地(*ground*)と言う。図と地の区分は言語構造にも反映されている。



(ルピンの盃)

連動構造を考えると、“V1 倒(起)(+NP1)”の部分がVP2を修飾し、VP2の背景になる役割を果す。図と地の視角から言えば、“V1 倒(起)(+NP1)”は地であり、VP2は図である。(以下、■で「地」を表し、□で「図」を表す)

II. ■ V1 倒(起)(+NP1) + □ VP2
地 図

VP2は“在”の場合、IIIのように、“在”は図になる。

III. ■ V1 倒(起)(+NP1) + □ 在
地 図

しかし、存在動詞「在」は「図」としてふさわしくない幾つかの性格を持っている。認知上、図である対象は明確な輪郭をもって、際立ちをもった知覚されやすいものと要求される。しかし、「存在する」というのは漠然とした言い方であり、具体性に欠

け、知覚上捉えられにくい。時間上、「存在する」というのは広い時間的幅を持ち、はっきり感じられる際立ちより、背景である地として捉えやすい。“在”のこれらの性格に対して、“V1 倒(起)(+NP1)”の部分は常に具体的で明確な動作や出来事であり、コミュニケーションの中、新しい情報を提供する。“在”と比べて、より際立たせやすい性格を持っている。不自然な努力でもしない限り、“在”を地に捉え、“V1 倒(起)(+NP1)”を図に捉えやすくなる。それらの理由があって、“在”と“V1 倒(起)(+NP1)”による図と地の配置が変わり〔図と地の反転(figure-ground reversal)が行われる。

IV. V1 倒(起)(+NP1) + 在
図 地

連動文における図と地の反転は実質と云えば、再分析である。ⅢとⅣでは、見た目では変化していないが、図と地の配置が変わることによって、内部構造の捉え方は違ってくる。

2.3.3 文末語気助詞になる

Ⅳの形式になる以上、“NP+V1 倒(起)(+NP1)+在”構文は連動文の図と地の割り当てに合わなくなり、内部構造は、すでに連動文と異なるようになった。述語中核部分は図である“V1 倒(起)(+NP1)”に担ってもらい、“在”は述語動詞から解放される。“在”が内容語から機能語になる環境ができ、文法化がさらに進んだ。その証となるのは音韻上の弱化である。内容語が機能語に変わった時、音韻上では、常に母音の弱化が行われる。新しい弱化形式はもともとの強い音を持つ形式と長い間共存することも常にある。

この段階では、“在”は[dzai⁴]以外の音韻形式を持っていることは多くの研究に報告されている。張清源(1983)では、文末の“在”は de⁴, de², dzai⁴という三つの読み方があると指摘されている。

呂叔湘が示した“在”のもう一つ語音弱化形式 dai も加えて考えれば、機能語化に伴う“在”の音韻弱化は dzai > dai > de のように進んでいる。標記上、de⁴ (de²) は“得”あるいは“得”と書く。弱化形式 de⁴ (de²) はすでに存在動詞としての意味機能を失い、文法化が進んでいる。それは統語上 de⁴ (de²) と dzai⁴ の用法の差異に反映されている。

7) 我 在 椅子 上 坐 倒 在 (de⁴)。

私 [場所] 椅子 上 座る [継続] DE

Ngo³ dzai⁴ i³ tsi³ sang⁴ dzo⁴ dao³ de⁴。

私は椅子に座っている。

* 8) 我在椅子上坐倒在 (dzai⁴)。

弱化形式 de⁴ (de²) と動作が行われる場所を表す【在+Location】との共起が容認される。dzai⁴ になる場合、容認度がかなり劣る。この段階の dzai⁴ は存在の意が薄れながら、多少保っているため、「ある場所に存在する」の意味を持つ【在+Location】と重なってしまうのである。一方、de⁴ (de²) はすでに存在の意を失い、【在+Location】との共起が容認されるのである。

音韻上の弱化は“在”が品詞の脱範疇化 (de-categorialization) が進んでいる証拠になる。この段階に至って、文の構造は次のようになる。

V. NP + V 倒(起) (+NP) + 在

述語動詞 文末語気助詞

2.4 まとめ

本発表は成都方言における進行・状態を表す“在”について検討した。統語上、持続を表す動態助詞“倒(起)”との共起が要求されている。連動文の標識でもあった“倒(起)”は“VP 在”構文と連動文との強い関係を示唆してくれる。そこから、“在”の文法化は連動文から始まるのだと考えられる。再分析によって、“V 倒(起)(+NP)+在”において、図であった“在”は地であった“V 倒(起)(+NP)”と反転して、役割を交換した。“在”は主要動詞から解放され、動詞としての意味機能を失い、文末語気助詞になる。機能語化に伴って音韻の弱化もあった。

存在表現に由来する進行・状態を表す文法形式は決して成都方言(あるいは西南官話)の“在”に限られているわけではない。【在+Location】が「ある場所にいる(ある)」の意味から、存在の意が薄れて、進行・状態標識となる現象は呉方言においても、少なくない。類型論的に成都方言と呉方言の存在表現の文法化を検討することは今後の課題にしたい。

第3節 “得有”の文法化

3.1 はじめに

成都方言では、次のように“V得有(NP)”という文法形式がある。

- 1) 桌子 上 放 得 有 一 封 信。

机 上 置 得 有 一 [量詞] 手紙

Dzo² dzi³ sang⁴ fang⁴ de² iou³ i² fong¹ xin⁴

机の上に一通の手紙が置いてある。

- 2) 日語 書 我 買 得 有。

日本語 本 私 買 得 有 DE I OU

Zi² ü³ su¹ ngo³ mai³ de² iou³。

日本語の本は買ってある。

- 3) 我 寫 得 有 幾 篇 論文。

私 書 得 有 DE I OU いくつか [量詞] 論文

Ngo³ xie³ de² iou³ ji³ pien¹ nen⁴ uen²。

私は何本かの論文を書いた。

- 4) 沒有 買 得 有 蔬菜。

[否定] 買 得 有 DE I OU 野菜

Mei¹ iou¹ mai³ de² iou³ su¹ tsai⁴。

野菜を買っていない。

“ V 得有 (NP) ” の例文はいずれも結果継続の表現であり、動作によって持たされた結果は相関する状態をもって、ある場所に残留し、継続する過程を表している。文法的にはしばしば完了相を表す“了”と置き換えることがある。本節ではこの「得有 (NP)」形式をアスペクト標識と見なし、歴史文献から見る相関形式を探し出してその文法化の認知的動機づけをめぐって、文法化の経路を検討する。

3.2 完成相を表す“有”

石毓智 (2001) では、共通語に見られる“ V 有 (NP) ”形式の“有”は完成相を表す“了”と意味的に重なっているところがあると指摘している³⁹。以下の例文にある“有”と“了”は機能上の近接性があり、過去のある時に発生した動作や結果によって生まれた結果は現在につながり、すなわち、現時相関性を持っており、アスペクト標識として考えられると述べている。

5) 墙上畫有壁畫。

壁に絵が書いてある。

6) 墙上畫了壁畫。

壁に絵が書いてある。

³⁹ ただし、注意してほしいのは“ V 有 ” と “ V 了 ” は完全に無制約に置き換えるわけでもない。「 - 動作 」 「 + 状態 」 の一部動詞の場合、置き換えが不可能である。例えば、

a. 胡蘿蔔含^有豐富的維生素。(人參には豊富なビタミンが含まれている。)

*b. 胡蘿蔔含^了豐富的維生素。

「 - 動作 」 「 + 状態 」 の性質を持っている動詞“含”を使用する場合、“有”と“了”の置き換えが不適切である。

7) 他帶有三千人馬。

彼は三千人の軍隊を率いている。

8) 他帶了三千人馬。

彼は三千人の軍隊を率いている。

現代北京語では、“V有”の形式は口語ではあまり使われていないが、一部の客家語や閩語など、まだ完成相の用法で使われている方言がある。

客家語

9) [ngai] 買有兩本書。

私は二冊の本を買っている。

10) 買有三斤。

三斤を買っている。

11) 買 [mo]東西。

買い物をしていない。

台湾閩南語

12) 我買有四五本冊，你買無半本。

私は四五冊の本を買っているが、あなたは一冊も買っていない。

3.3 歴史文献に見る“V得有”

“V得有”は明の文献からも見ることが出来る。明末の馮夢龍が書いたと見られる《三遂平妖傳》では、“V得有”形式が用いられている。

13) 桌上擺得有筆硯之類。

机に筆や硯などが置いてある。

14) 中間是個八角琉璃井，兩旁設得有石凳。

真ん中は八角琉璃井であり、両側に石の腰掛が作られている。

15) 備得有馬匹在此，各請乘坐。

馬を準備しており、どうぞ、お乗りください。

また、王周明(2005)では、馮夢龍が編集した《三言》に見える“V得有”構文の用例をまとめ、その構造関係と意味的特徴を分析した。その一部の用例をここで紹介しておく。

16) 顧三郎同婆留下了船艙，船艙還藏得有四個人。(喻卷21)

顧三郎が婆留と一緒に船の篷の中に入ると、篷の中にはもう四人入っています。

17) 那門前安頓得有轎馬，門内有許多僕從，在那裏閑坐。(醒卷3)

その門前には輿や馬が用意しており、門内にはたくさんの従者が手持ちぶさたそ
うに座っている。

18) 籤上寫得有籤訣四句。(醒卷7)

神籤には、四句のお告げが書いてあります。

20世紀初めに宣教師が作った《西蜀方言》⁴⁰にも、“V得有”の例が見られる。これらの4例では、“的有”を使ったり、“得有”を使ったりしているが、用法から見れば、現代成都方言の“得有”と同じものだと考えることができる。⁴¹

19) 他 使 的有 埋伏(西・P14)

彼 使う DE I CU 畏

Ta¹ si³ de² iou³ mai² fu²。

彼は畏を仕掛けている

20) 還 剩 得有 好多 錢(西・P51)

まだ 残る DE I CU いくら お金

Hai² sen⁴ de² iou³ hao³ do¹ qien²

お金は後どのぐらい残っているか

21) 喂 的有 一 條 牛(西・P92)

飼う DE I CU 一 [量詞] 牛

Uei⁴ de² iou³ i² tiao² niou²

牛を飼っている

⁴⁰ 《西蜀方言》全般の紹介は千葉・熊・高橋(2005)を参考されたい。《西蜀方言》に使われている四川方言は成都方言と考えていいという見方を持つ千葉の議論も載せられており、ここでは、その議論を略する。

⁴¹ 江藍生(2000: 121)《近代汉语探源》で“得”を“的”と書くのは普通であると指摘している。同様に、“的有”も“得有”だと考えていい。

22) 沒有 存 的有。(西・P133)

[否定] 貯める DE IOU

Mei¹ iou¹ tsen² de² iou³

貯めていない

3.4 “有”で完成相を表すメカニズム

“有”は存在と領有の両方の意味をもっている。“我有一本書”の場合の“有”は“領有”で、“桌子上有兩本書”の“有”は“存在”と考えられる。この関連の形成に対して、二通りの考え方が可能である。

- a. 場所の擬人化によって、領有主となり、場所が物を領有することで、物の存在を表すに至る。(領有→存在)
- b. 人の場所化によって、人という場に物が存在することから、領有を表すに至る。(存在→領有)

すなわち、中国語においては、存在と領有は実質から言って、同じ概念である。論述するときの便宜のため、ここに存在と領有を一括して、存在と言う。以下、存在の認知意味を考えておく。

石毓智(2004)では、“有”が完成相を表すアスペクト標識に変わることは随意的な現象ではなく、認知基礎に基づいたことだと指摘しており、領有動詞と完成相標識の対応関係について、次のように考えている。

領有動詞：過去某一時刻擁有某種東西 + 具有現時實用性

↓

↓

完成相：過去某一時刻發生的動作 + 具有現時相關性

要するに、“有”と完成相を関係づける要素は二つある：過去で発生したこと、現時と相關性があること。当然、石毓智(2004)の論述は主に“領有+NP”と“領有+VP”構文の相關性に対する解釈である。⁴² そこからヒントを得て、私たちは“V有”、“V得有”が完成相になることの認知基礎を次のように考えておく。

過去、ある動作の実現によって、物の獲得(存在)がもたらされる

↓

過去における物の獲得(出現)は現時の領有(存在)と関わる

↓

過去における物の獲得(出現)は現時に影響を及ぼす

↓

過去、ある動作の実現が現時に影響を与える

↓

完成相

⁴² 石著では“V有”の例も挙げているが、領有動詞が完成相になる動機付けに対する解釈は“有V”構文だけに適すると思う。そもそも Langacker(1991)が論じるのは「物の領有」と「動作行為」の領有の関連で、つまり英語の I have an apple と I have bought a book の関連性であり、本論で取り上げている“V有”、“V得有”の直接的な解釈にならない。なお、石の解釈に当たる中国語例は閩方言や粵方言に見られる“有V”構文である。例えば、

- a. 我有收着汝个批。 (私はあなたからの手紙をもらった。) 閩方言海丰話
b. 我今天有去睇過渠。 (私は今日彼を訪ねた。) 粵方言

具体例を用いて説明すれば、例えば、

23) 我 買 得有 蔬菜。

私 買う DE I OU 野菜

Ngo³ mai³ de² iou³ su¹ tsai⁴

私は野菜を買っている。

過去において、動作“買”によって、現時点に“蔬菜”を占有することになる。すなわち、過去、“蔬菜”を買うことは現時に影響を与え、現時と相関性を持っている。「過去ある動作の実現が現時に影響を及ぼす」、それを反映する文法カテゴリーは完成相である。

3.5 “V 得有”の文法化

再分析は新しい文法手段を生み出す重要な手段である。述補構造の“V 得有(O)”がアスペクトを表す文法形式になることには、再分析が参与したことが考えられる。もともと、述補構造の“V 得有(O)”は“[V 得+[有*O]”のような構造をもっていたと考えられる。例えば、

24) 教伊説，亦説得有来由。(五燈會元)

彼に言わせても、由来を言える。

24) で、動詞“有”は後ろの目的語“来由”と述賓構造になって、“说得”の補語になり、“V 得”と“有O”の間に境界線がある。この時の“V 得有(O)”は“V 得C”の一種に過ぎない。しかし、《三遂平妖傳》の場合になると、“有”はすでに動詞性が薄れてしまい、目的語“O”への制約もゆるくなり、目的語が主題化して、文の前部に移動することができ

るようになる。例えば、

25) 劣弟前年在高麗國去帶得些皮紙，還剩得有。（第十四回）

私は去年高麗国から皮紙を持ってきて、まだ残っている

26) 便説靈芝、甘露、麒麟、鳳凰，見今世上都生得有，三日内也取不將來。（第十四回）

靈芝、甘露、麒麟、鳳凰はこの世にあっても、三日では取ってこられない。

“得”と“有”の間の境界線がなくなり、一体化される“得有”がVに附着し、もともと“V得”と“有O”の間にある境界線は“V得有”と“O”の間に転移し、“V得有O”の構造はすでに次のようになったのである：

[[V 得有]+O]

この過程は再分析の過程である。この過程において、“V得有(O)”文の内部構造が再認識される。また、V+ASP+Oのような形式(例えば、V+了+Oなど)の類推によって、“得有”は最終的にアスペクト標識になったのである。

3.6 まとめ

文法マーカーの形成は、無方向で恣意的な過程ではない。その裏に、認知的動機付けが働いている。“領有、存在”を表す“有”は完成相を表すのは中国語だけではなく、ほかに多く類縁性のない言語にも見られる文法化の傾向の一つである。動詞“有”は「過去に獲得した」と「現在、領有している」という「過去」と「現在」を繋げ、完成相の概念に近い。そのため、成都方言において、“得有⇒完成相マーカー”という文法化が実現したのである。

今後、多方言にわたり、存在・領有動詞の更なる考察を行い、存在・領有動詞の文法化の多様性と普遍性を明らかにしたいと思う。

第4節 “沒得”の機能拡張

4.1 “沒得”と“沒有”

成都方言の“沒得”、“沒有”はほとんど同じ意味機能を持つ同義語と見なされている。
次の例をみてみよう。

1) 放暑假, 學校 頭 沒得(沒有) 人。

夏休み中 学校 中 MEI DE(MEI IOU) 人。

Fang⁴ su³ jia⁴ , xio² xiao⁴ tou² mei¹ de² (mei¹ iou¹) zen² 。

夏休み中なので、学校には人がいない。

2) 有 沒得(沒有) 海椒 賣?

ある MEI DE(MEI IOU) 唐辛子 売る

Iou³ mei¹ de² (mei¹ iou¹) hai³ jiao¹ mao⁴ ?

唐辛子を売っていますか?

3) 昨天 的 聚會, 你 去 沒得(沒有)?

機能 の 集まり あなた 行く MEI DE(MEI IOU)

Dzo² tien¹ ni¹ ju⁴ huei⁴ , gni³ qie⁴ mei¹ de² (mei¹ iou¹) ?

昨日の集まり、あなたは行ったのか?

4) 廠頭 這個月 還 沒得 發錢。

工場 今月 まだ MEI DE 給料を出す

Tsang³ tou² dze⁴ go⁴ ue² hai² mei¹ de² fa² qien² 。

工場は今月の給料をまだ出していない。

本節では、百年前宣教師が作った四川方言の教科書《西蜀方言》のデータに基づき、“沒得”はもともと例4)のように動詞完成相の否定としての機能を持っていなかったが、“沒有”から類推され、機能拡張をしたと主張する。その動機付けはいわゆる“相因生義”という類推作用であり、以下で説明していく。

4.2 《西蜀方言》に見る“沒得”と“沒有”

“沒得”、“沒有”の例の一部をここに書いておき、百年前の成都方言における両者の違いを比較する。

4.2.1 沒得

5) 沒得 個 挨傍 (西・P26)

MEI DE [量詞] 頼り

Mei¹ de² go⁴ ngai¹ bang³

頼りになる人がない

6) 沒得 出路 (西・P43)

MEI DE 生きる道

Mei¹ de² tsu² nu⁴

途方に暮れる

7) 沒得 憑則 (西・ P49)

MEI DE 証拠

Mei¹ de² pin² tse²

証拠がない

8) 沒得 好 吃喝 (西・ P89)

MEI DE 良い 食べ物、飲み物

Mei¹ de² hao³ tsi² ho¹

いい食べ物、飲み物がない

9) 他 一輩子 做事 沒得 個 明堂 (西・ P106)

彼 一生涯 する 事 MEI DE [量詞] 結果

Ta¹ i² bei³ dzi³ dzu⁴ si⁴ mei¹ de² go⁴ min² tang³

彼の生涯において、これといったことは何もしなかった

10) 沒得 一定 的 地方 (西・ P137)

MEI DE 決まった の 場所

Mei¹ de² i² din⁴ ni¹ di⁴ fang¹

決まった場所がない

11) 沒得 一點 廉恥 的 人 (西・ P168)

MEI DE 少し 恥を知る心 の 人

Mei¹ de² i² dien³ nien² tsi³ ni¹ zen²

恥知らずな人

12) 還 有 解 沒得? (西・P476)

まだ ある 解決案 MEI DE

Hai² iou³ jien³ mei¹ de²?

何か方法はあるか

13) 山 裏頭 有 寶貝 沒得? (西・P490)

山奥 中 ある 宝物 MEI DE

San¹ ni³ tou² iou³ bao³ bei³ mei¹ de²?

山奥に宝物があるか

4.2.2 沒有

14) 還 沒有 入門 (西・P35)

まだ MEI IOU 入門する

Hai² mei¹ iou¹ zu² men²

まだ入門していない

15) 沒有 共 過 事 (西・P36)

MEI IOU 一緒に [経験] 仕事

Mei¹ iou¹ gong⁴ go³ si³

共に仕事したことがない

16) 時候 還 沒有 到 (西・P48)

時期 まだ MEI IOU 来る

Si² hou⁴ hai² mei¹ iou¹ dao⁴

まだ時期ではない

17) 前頭 來 過 沒有？ (西・ P49)

前 來る [經驗] MEI IOU

Qien² tou¹ nai² go⁴ mei¹ iou¹ ?

前に、来たことがあるか

18) 給 他 招呼 沒有？ (西・ P82)

あげる 彼 断る MEI IOU

Ge¹ ta¹ dzao¹ fu¹ mei¹ iou¹ ?

彼に断っておいたか

19) 你 的 姑娘 女 了 人 沒有？ (西・ P123)

あなた の 娘 結婚 [完了] 人 MEI IOU

Gni³ ni¹ gu¹ gniang² nu³ no² zen² mei¹ iou¹ ?

お嬢さんは結婚しているか

20) 沒有 遇見 過 (西・ P520)

MEI IOU 会う [經驗]

Mei¹ iou¹ ü⁴ jien⁴ go⁴

会ったことがない

21) 説話 沒有 底底 (西・ P167)

話す MEI IOU 根拠

So² hua⁴ mei¹ iou¹ di³ di¹

話に根拠がない

4.3 “相因生義”と“沒得”の機能拡張

4.3.1 相因生義

蔣紹愚(1994)では、語意の拡張経路の一つとして、“相因生義”の現象を指摘し、その概念を次のようにまとめている。

如果用概括的言詞來表達，那就是：A 詞原來只和 B 詞的一個義位 B1 相通。由於類推作用，A 詞又取得了 B 詞的另一個義位的意義 B2,甚至取得了 B 這個字的假借意義 B`2。這就叫詞的相因生義。

(もし概括的な言葉で表すなら、すなわち、語 A と語 B はもともと B1 という共通した意味を持っているが、類推を経て、A は B のほかの意味 B2 も獲得し、さらに B の仮借義 B`2 ももつようになる。これは語の「相因生義」である。)

さらに、現代中国語における“相因生義”の例として、蔣紹愚は次の例を挙げている。北京語では、“瞧”という語があつて、1943年の《国語辞書》によれば、二つの意味項目を持っている、すなわち、①觀看(見る)②偷看(こっそり覗く)というものである。“觀看”という意味に使われる場合、“看1”と同じであり、“看得見”は“瞧得見”と置き換えられる。しかし、“看”はほかの意味を持っている、例えば、“看2”は“探視”(訪ねる)の意味で使われる例として、“看朋友”があつて、“看3”は動詞や動詞性成分の後ろにくっついて、試すという意味を現す。“瞧”はもともと“看2”、“看3”のこれらの機能を備えていなかったが、“相因生義”作用の結果、“瞧”も“看2”の意味を獲得し、《現代漢語詞典》では、“瞧朋友”という項目を載せている。南方の人は無意識に“相因生義”の原則を使い、“試試看”を“試試瞧”と言い、北方の人に異様な感じを

与えることもある。

“相因生義”は語の意味の発展経路に説明する場合用いられた術語であり、その核心は意味の拡張に傾けているが、複合語の構造変化の説明にも使われている。蔣氏は“洗澡”はもともと“洗”と“澡”の二つ同義語だったが、のちに並列関係の複合語になった。しかし、“吃飯”、“嘆氣”のような表現と類推され、術語目的語構造に分析されるようになり、“洗一個澡”、“洗冷水澡”のような言い方が可能になる。“洗澡”から“洗一個澡”、“洗冷水澡”の変化も“相因生義”によるものだと考えられるのである。

4.3.2 “沒得”の機能拡張

“相因生義”の概念は“沒得”は“沒有”への機能拡張を説明するにも有効な概念だと考えられる。

4.2の例から分かるように、『西蜀方言』にみる“沒得”と“沒有”は次のように使われていた。

- a. “沒得”は動詞としての振る舞いをして、存在の否定、すなわち“有”の否定となり、後に名詞成分が来る。
- b. “沒有”は動詞性成分の否定、すなわち出来事の否定として使われることが多いが、例 21)のように、“有”の否定として動詞の振る舞いをする事もある。

百年前のデータと対照しつつ、現代成都方言の“沒得”と“沒有”の使い方を見ると、“沒得”の意味能機能が拡張されたことがわかる。《成都方言辞典》の説明をみてみよう。

《成都方言辞典》によれば、“沒得”は“有”の否定以外にも次の機能を持つことと指

摘している。

- ・ “已然”の否定。例えば、

22) 天 還 沒得 亮。

空 まだ MEI DE 明るい

Tien¹ hai² mei¹ de² niang⁴

夜はまだ明けていない

- ・ “曾經”の否定。例えば、

23) 廠頭 這個月 還 沒得 發錢。(=4)

工場 今月 まだ MEI DE 給料を出す

Tsang³ tou² dze⁴ go⁴ üe⁴ hai² mei¹ de² fa² qien² 。

工場は今月の給料をまだ出していない。

要するに、現代成都方言では、“沒得”は動詞性成分、すなわち出来事を否定することもできるようになり、すでに“沒有”と同様な機能を持つようになったということになる。

“沒得”から“沒有”への拡張は“相因生義”で説明できる。石毓智(2004)では、13世紀から15世紀まで、次の例のように、“沒有+NP”という用法が現れたと指摘している。

24) 如何沒有鮮魚？(《水滸傳》第24回)

どうして新鮮な魚がないのか？

“沒有”の機能は更に拡張され、VPを否定することができるようになっている。石

毓智（2004）の統計では、《紅樓夢》において、“沒有”の主要動詞としての用法（“沒有+NP”）は159例であり、動詞を否定する用法はそれより少ないが、58例もあった。

“沒得”も最初、動詞“有”を否定する機能を持っており、“沒得+NP”の形式で使われていた。次は《醒世姻緣傳》における“沒得+NP”の用法である。

25) 孩子死了，又沒得點東西，傍裏再有人挑挑，說甚麼他不告狀？

子供が亡くなって、何ももらわなかった。そばで人にそそのかされて、訴えないわけがないだろう。

26) 薛教授沒的事做。

薛教授は仕事がない。

27) 姜副使說：要是這等，再沒的話說了。

姜副使は「このようであれば、もう言うことがない」と言った

同じ作品において、“沒有+NP”の用法も確認できる。

28) 沒有了這頂轎，看咱去的成去不成！

このかごがなければ、私たちは行くことができるかどうかをしてみる！

29) 我沒有豆子養活你哩。

私は君を養う豆がない。

したがって、“沒有”と“沒得”は存在・領有の否定という面で、共通点を持っており、いわゆる“相因”の関係を持っている。

“沒有”の機能は“沒有+NP”から“沒有+VP”に拡張されることにつれ、“相因生

義”の原理で、“没得”の意味機能も“沒有+NP”から“沒有+VP”へと拡張された可能性は予想できる。すなわち、

a. “沒有+NP” ⇒ “沒有+VP”

b. “没得+NP” ⇒ ?

“?”のところに“没得+VP”はもっとも考えやすいのである。このようにして、現代成都方言において、“没得”の機能は“没得+NP”から“没得+VP”に拡張されたのである。この意味拡張の過程は“没得”が現実事態を否定する標記になる過程であり、“没得”の更なる文法化と言えよう。

終章

まえがき

第1章から第4章まで、成都方言文法を動詞連続、語気助詞、副詞、アスペクトに分け、文法現象を記述した上、その文法形式が確立したメカニズムを問いながら、分析を行ってきた。本「終章」では、次のいくつかの問題に絞って、各章の議論をまとめてみたいと思う。

序章以来中国語学研究においてなじみ深い概念としてしばしば「虚化」に言及した。王力や太田辰夫らの虚化と本論文が言っている文法化の関係を考え、“虚化”と“文法化”の相違を明らかにしたい。

再分析と類推は文法化のもっとも基本的で重要な手段としてよく取り上げられている。ここでは、各章で議論した再分析と類推の現象をまとめ、特に再分析に重点を置き、「地と図の反転」による文の内部構造の変化も再分析の一種だと指摘する。

新しい文法形式をもたらした原因の一つとして、言語接触もよく取り上げられているが、言語(方言)同士が類似の文法形式を持つことは必ずしも言語接触によるものではない。新しい文法形式が生まれた動機付けを言語(方言)内部から求めるか、それとも外部から求めるか、慎重に考察しなければならない。成都方言の実例から、この問題を考えたい。

音韻変化は文法化の過程において、よく見られる現象である。標準語では、語彙的内容を持つ語は文法化に伴い、音節の短縮化や声調の軽声化などの現象を起こすことがよく観察される。成都方言のような軽声を持たない方言では、文法化の過程において、音韻はどのどのような変化をするかを考えたい。

第1節 虚化と文法化

中国語学の研究領域では、“実詞虚化”という概念は馴染み深い。沈家煊(1994)は Harbsmeier(1979)を引用して、元の周伯琦の《六書正偽》では、すでに“大抵古人製字，皆從事物上起，今之虚字，皆古之実字”と述べ、“実”と“虚”の観念を持っていたと指摘している。現代言語学の概念で言えば、“実字”は語彙的内容を持っている語で、内容語に相当し、“虚字”は語彙的内容を持たずに文法的機能を果たす語で、機能語に相当する。

馬建中も“実”と“虚”の二類で中国語の語彙を分類して、“実字之類五，虚字之類四”と考え、“虚字”を更に“介字”、“連字”、“助字”、“嘆字”と分ける。

当然、“実詞虚化”と文法化は深く関連している二つの概念である。孫朝奮(1994)は Heine らの *Grammaticalization: A Conceptual Framework* を中国に紹介したとき、*grammaticalization* を虚化と訳している。しかし、共通点を持っていながら、“虚化”と“文法化”は同じ概念だと考えることができない。その相違点を次のいくつかの点にまとめる。

1.“文法化”は一般言語学の概念であり、新しい文法形式の確立とその動機付けを追究し、内容語から機能語に変化する際の文法機能の変化に着目するが、“実詞虚化”は訓詁學から借用した概念であり、基本的に“実→虚”の過程における意味の変化だけをとらえる。

2.“実詞虚化”は基本的に意味変化を通時的に把握する概念であるが、“文法化”は汎時的(panchronic)なプロセスであり、通時的にも共時的にも観察され、分析可能なプロセスである。すなわち、“実詞虚化”は“A→B”で語の変化を捉えているに対して、“文法化”は“A→A+B→B”と捉える。AからBに変化するプロセスにおいて、A+B

共存という重層があるため、共時的考察が可能である。

3.“実詞虚化”の研究範囲は“実詞→虚詞”に限られるが、“文法化”はもっと広い範囲で使われている。例えば、“之”はもともと文語の構造助詞であり、限定語と中心語をつなげる“虚詞”であった。成都方言において、“之”は語用論的推論を経て、“非常に、とても”という程度を表すようになり、副詞の意味機能を取得した。この過程は“実詞虚化”の概念では説明できないが、新しい文法機能を獲得したということで、“文法化”の一種としてとらえられる。また、“好”が“程度副詞”から“疑問”を表す標識に転化された場合も、“虚化”では説明しにくいですが、機能が変化し、元の程度副詞とは異なった機能を獲得したという意味で、文法化だと考えられる。

4.“実詞虚化”は意味の変化だけに着目するため、音韻的变化を対象外にする。文法化の研究は音韻的变化を文法化の一つ重要な記しとして、重要な項目の一つと考察する。

“在”は存在動詞から進行・持続マーカーに変わる際、統語的役割の変化に伴い、音韻上もいろいろ変化が表れている。また、動詞の後ろにある“到”は“動詞→介詞→動詞補語、動態助詞”という変化のプロセスにおいて、統語上の“虚化”に伴い、[tau⁴]→[tau⁴, tau³]→[tau³]という音韻の変化のラインを成している。動詞の特徴がまだ残っているが、機能語の範疇に入る介詞は音韻上も二通りの発音を持っている。

5.“実詞虚化”は文の短縮による機能語化を研究対象から外しているが、文法化はそれを考察の対象にしている。“該是哈”はもともと独立した文であったが、音韻の短縮によって、“嘎”に変化し、最後に、語気助詞に轉身した。このプロセスは“語→語”ではないが、新しい機能語が形成するプロセスであるため、文法化の過程と見なされる。

以上から分かるように、“文法化”を“実詞虚化”と同一視することはできない。簡

単に言えば、“文法化”はもっと広い研究範囲を持ち、“実詞虚化”の内容を含めている。そのため、本論では、“実詞虚化”を使わず、“文法化”という概念で成都方言の文法現象を考えてきたのである。

第2節 メカニズム——再分析と類推

再分析と類推は形態統語的变化にとって重要なものとして広く認められている。Hopper and Traugott(1993)、Hopper and Traugott(2003)、石毓智(2003)などでは、再分析と類推は文法化を引き起こし、導くもっとも大事なメカニズムとして取り上げられている。

再分析は表面上の形式が直接変化せず起る内部統語的構造の変化であり、表面上の曖昧性がある、あるいは多義的な分析が可能であるときに起るものとされている。Hopper and Traugott(2003)では、表面には現れない内部的な文や単語の区切りの変化を再分析と呼び、再分析の例として、ハンバーガー(hamburger)で説明している。もともと「(都市の)Hamburgから来た食べ物」という意味で、hamburgerという語が作られたが、理解性の中に不均衡が起き、「ハム(ham)+burger」と受け取られてしまった。後にハムの部分をチーズ(cheese)やビーフ(beef)に置き換え、チーズバーガー、ビーフバーガーというような語が使われるようになった。hamburgerが「ハム(ham)+burger」として分析されることは、元来の意味とは違った構造化であり、内部の切れ目の変化である。これが再分析である。

一方、類推とは、何らかの標準に基づいて、類似性があるとされる項目に、文法規則が拡大して適用されることである。類推も言語変化の大きな要因とされる。Hopper and Traugott(2003)では、類推は変化を実際に表面化させると述べている。例えば前述の

hamburger の例では、「チーズバーガー」、「ビーフバーガー」という言葉が生まれるところが類推に当たる。内部的に hamburger が「ハム(ham) + burger」と受け取られたということ(再分析)は、内的な変化である。この新たに生まれた構造に「チーズ(cheese)」や「ビーフ(beef)」という単語を当てはめることにより「チーズバーガー」、「ビーフバーガー」などの言葉が生まれる。このように、規則の拡大適用の例は類推である。類推が起る時点では、誤用であることが多いが、この誤用が正当化する過程こそ、言語変化の過程である。Hopper and Traugott(2003)では、再分析は意味や形態の「深層構造(underlying representations)を変化させ規則の変化をもたらし、類推は規則の言語体系への拡散を促し「表層構造(surface manifestations)を変化させると考え、文法化においては、第一に再分析、次に類推を重要なメカニズムとしてあげている。以下、特に再分析の例に絞って、成都方言に見る文法化の諸相を概観する。

再分析の現象の一つとして、境界の移動、創立、消滅はよく取り上げられている。

程度を表す副詞“好”は疑問文という環境において、後ろにある量を表す“多”や時間を表す“久”などの形容詞との間の境界線がなくなり、融合されたことによって、一つの語彙になった。この過程は語彙化であるが、元の是非疑問文が疑問詞を持って発問する特指疑問文に変わったということで、文法化でもある。

[好[多]] ⇒ [好多]

[好[久]] ⇒ [好久]

“動詞+得(補語マーカー)+有”という動補構造は“[[V得]有]”のような構造を持っていたが、再分析により、境界線の位置が変わり、“得”と“有”は一つの文法単位に融合された。

[[V得]有] ⇒ [V得有]

文語にある主述関係の独立性を取り消す“之”は“[NP+之+VP]_{NP}”から、“NP+[之+VP]”のように、再分析が行われ、“之”とVPの間に新しい境界線が作られ、副詞の意味機能

を獲得した。

これらの例から分かるように、境界線の創立、移動または消失によって、内部構造に変化をもたらし、新しい文法形式を作り出したのである。

「 図」と「 地」の反転(figure-ground reversal) による内部構造の変化も成都方言に観察される。

“ V倒(起)(+NP) +在” はもともと“ V倒(起)(+NP)” の形式で存在するという意味で、“ 他笑倒説” や“ 小狗搖倒尾巴跑過來” など、一般的な連動文と異なる。 “ V倒(起)(+NP)” は存在動詞“ 在” の存在様態(存在の背景) として、「 地」と捉えられる。つまり、

V倒(起)(+NP) + 在
地 図

しかし、“ V倒(起)(+NP)” の部分は常に具体的で明確な動作や出来事であり、コミュニケーションの中、新しい情報を提供する。“ 在” と比べて、より際立たせやすい性格を持っている。そのため、“ 在” と“ VI倒(起)(+NP1)” による図と地の配置が変わり、「 図と地の反転」が行われる。

VI倒(起)(+NP1) + 在
図 地

地になった“ 在” は連動文における主動詞の地位を失い、結局語気助詞になる。この過程において、「 図」と「 地」の配置が変わることは連動文の内部構造の変化をもたらし、一種の再分析として捉えられる。この種の再分析は実質はといえば、元の修飾成分は動詞を修飾するという役割から逸脱し、逆に、修飾される動詞は主動詞という統語的役割を失う過程であり、「 修飾—被修飾」という関係の破壊による統語的役割の再配置である。同じことは“ 時” から“ 嗒” への文法化の過程にも見られる。

元の“VP(限定語) + 時(中心語)”の構造は“VPという動作が発生する(状態が存在する)時”を表していたが、“VP”と“時”という“限定語—中心語”の関係が崩壊するにつれて、限定語であった“VP”が際立つようになり、“時”は付属する成分になった。この変化があってはじめて、時間副詞節から条件節への変化が可能になる。この過程は“在”構文の文法化と類似しており、共に文の内部構造の変化である。“限定語—中心語”の関係が崩れ、核心部分の再配置も構造変化をもたらすので、再分析として捉えられる。

第3節 言語接触の問題

其々の言語の使用者が同じ社会の中で棲み分ける場合と、異なった社会に暮らす異なる言語の使用者が接触し、交易などを通じて深い関係を結ぶ場合がある。どちらの場合でも接触する言語間ではお互いに語彙の借用が行われる。接触の度合いが進むにつれ、借用成分の流入は一時的、表面的なものから恒久的な言語そのものに関わる次元にまで達する。また時には文法の借用も行われる。

中国語における言語接触に関する研究として、余志鴻(1987)、余志鴻(2004)などがある。余志鴻(1987)は元代の中国語に見られるアスペクトの機能を果たす文末の“有”は言語接触によって、モンゴル語から借用されたと主張している。余志鴻(2003)は《蒙古秘史》に見られる特殊な文法現象——“回響”構造を取り上げ、“説……説了”、“説……麼道”、“是……有”などの文法形式は言語接触がもたらしたものだとして解釈している。

しかし、文法形式をもたらす原因を言語接触に帰結する場合、非常に慎重な考察をしなければならない。

使役と受動は異なった文法カテゴリーであり、中国語(標準語および多くの方言)

においては、兼用されている。これに対して、羅傑瑞(1982)⁴³は言語接触の観点で、北方中国語で使役と受動の兼用は満州語の影響を受けたと説明している。橋本萬太郎(1987)〈漢語被動式的歴史・區域發展〉、《中國語文》1987年第1期)では、中国語に見られる使役と受動の兼用はアルタイ諸語の影響を受けていると類似した主張をした。

江藍生(2000)は、太田辰夫(1958)を引用し、使役を表す“教”は唐の文献においてすでに受動の用法を持っていたと指摘し、使役と受動の兼用は言語接触がもたらしたわけではなく、中国語自身の発展によるものだと主張している。

江藍生(2000)はさらにこのように語っている。

在探索一種語言的某一語法現象的來源時，一般應先從這個語言自身去尋找原因，如果從該語言的内部找不到合理、圓滿的解釋時，就須從外部——語言接觸、語言滲透等因素去尋找答案。如上所述，漢語使役、被動的兼用完全能用漢語的歷史文獻，漢語的本質特徵作出合理的解釋，所以本文⁴⁴對阿爾泰語背景說持懷疑態和否定的態度。

(一つの言語におけるある言語現象の由来を探るとき、通常、この言語自身から原因を考えるべきである。この言語の内部から合理的で、円満な解釈が得られない場合、外部、つまり言語接触、言語浸透などの要素から考える必要もある。以上述べたように、中国語の使役・受動兼用の現象は中国語の歴史文献を利用して、中国語自身の特徴から合理的な解釈を得られるため、本文はアルタイ語説に対し、疑問を抱いている。)

成都方言の例から言えば、“拿給”は放任使役と受動に兼用されている。この兼用も

⁴³ 〈漢語和阿爾泰語互相影響的四項例證〉、《清華學報》新14

⁴⁴ 江藍生(2000)〈漢語使役與被動兼用探源〉

中国語の統語的特徴から合理的な解釈が得られる。受領者にもものをあげることは、受領者にある行為を実施する権力をあげるという意味であり、そこから放任使役の意味が生まれた。中国語では、動作対象が目的語から主語に転化され、受動読みされる例は古くからある。例えば、“狡兔死，走狗烹”の例では、“走狗烹”は“走狗被烹”に読み取られる。このように、“拿給”の動作対象が文頭に立ち、主語になることで、受動読みも可能になる。“拿給”は放任使役と受動に兼用されることは「動作対象は主語になることが可能」という内的原因から説明できるため、言語接触による結果とは考えられない。

成都方言における“説”の場合、地理的に近くて、「主語+SAY1+埋め込み文+SAY2」という補文構造を持っている涼山彝語からの影響を受けていると思われるかもしれない。しかし、両者の間で統語的借用があることは非常に考えられにくい。なぜなら、言語接触があって、言語間の中で借用がある場合、その借用はまず語彙領域で行われる。言語において、変化は常に語彙領域から起こり、「語彙→統語→形態」という方向へと進む。語彙領域において大量な借用現象が観察されないなら、統語的借用はなおさら考えられにくい。成都方言の場合、涼山彝語からの語彙の借用がほとんど観察されていないため、統語的借用も考えられない。したがって、“説”の機能語化の原因は方言内部から原因を探さなければならない。

中国語の場合、条件文の従属節では、一般に「条件節標識+前件」という構造を持っている。例えば、“如果”、“假設”、“要是”などが導く従属節は皆そうである。中国語と違って、アルタイ諸語では、一般に「前件+条件節標識」という形の条件文従属節を持っている。したがって、「前件+時」または「前件+嗒」のような条件文構造はアルタイ諸語から何だかの影響を受けていると考えがちである。しかし、よく考えれば分かるように、“時”及び“嗒”の成都方言にあるバリエーションである“嗒”は“如果”、“假設”、“要是”などと本質的な違いがある。“如果”、“假設”、“要是”などは動詞から由

来した条件文標識であるが、“時”(“ 噲”)は名詞から由来したのである。中国語は「動詞+目的語」という基本語順を持っており、動詞から由来した文法標識は常に前置される。したがって、“如果”、“假设”、“要是”が導く条件節は「条件節標識+前件」のような語順を持っている。一方、中国語は「限定語+名詞」という語順も持っているので、名詞から文法化された成分は常に後置される。したがって、「前件+時」、「前件+噲」という語順になっており、特にアルタイ語の影響を考えなくても、説明がつく。

言語接触など外に目を向ける前に、言語(方言)内の進化的変化を説明しようとするのが方法論的には堅実であろう。

第4節 音韻変化の問題

内容語は機能語になるとき、さまざまな音韻変化が起る。Heine(1993)では、文法化の過程では、少なくとも、脱意味化(desemanticization)、拡大(extension)、脱カテゴリー化(decategorialization)、侵食(erosion)という四つの相互的メカニズムが作用していると語っている。ここで言う“侵食”は音韻の弱化(phonetic reduction)である。

Bybee et al(1994: 6)も意味変化(統語的機能の変化)と音韻の変化は並行するものであると次のように強調している。

Paralled to semantic reduction, phonological reduction continues to take place through the life of a gram. With the loss of stress or independent tone that accompanies the loss of lexical status, the consonants and vowels of grams undergo reduction processes, which often result in the reduction or loss of segmental material and a reduction in the length of the gram.

中国語においても、内容語は文法化の道に進んだ場合、音韻の弱化が始まり、ゼロ形式まで進むことがよく報告されている。江藍生(1999)は方言間の比較研究を通じて、中古の“著”は文法化され、機能語になる過程は音韻弱化の過程でもあったと指摘し、“著”の音韻弱化と統語的機能の変化を次のようにまとめている。

動詞(著) → 介詞(着/的) → 接辞(ㄛ) 零形式(∅)

標準語において、“了”は「完了」を意味の動詞から、アスペクト助詞に変わるにつれ、音韻上、介音を失い、二重母音が単母音に変わり、liaoからleになる。成都方言の場合、「存在」を表す動詞“在”は語気助詞へと変化することによって、音韻上も二重母音の単母音化が進み、dzai > dai > deというクラインをなしている。

こういう文法化に伴った音韻の弱化の表れとして、音節の縮約もあげられる。“該是哈”から語気助詞“嘎”へと変化する過程において、音韻上、音節の短縮化のいくつかの段階が見られている。

[kai¹ sɿ⁴ xa³] ⇒ [kɛ³ s xa³] ⇒ [kɛ³ xa³] ⇒ [ka³]

中国語は声調言語であり、文法化による音韻変化は声調の変化にも反映している。標準語の場合、内容語が機能語に変化するとき(例えば、“了”、“着”は動詞からアスペクト助詞になったとき)の特徴の一つとして、軽声化がよく指摘されている。しかし、多くの方言の音韻体系において、軽声という現象さえないため、「軽声化」の存在はもちろんありえない。これらの方言では、軽声化ではなく声調の変化で、内容語と機能語を区別している。成都方言では、動詞“到”は文法化され、意味機能が変わるにつれ、声調の変化もある。その中、内容語から機能語へと変化するという連続体の中間形式として、介詞の段階では、二通りの声調を持っている。

[tau⁴] ⇒ [tau⁴, tau³] ⇒ [tau³]

動詞 介詞 動態助詞など

また、名詞“時”から条件節標識としての“啵”へ変わるときも、陽平から、上声あ

るいは去声に変わるといふ声調の変化が見られている。

声調言語では、異なる意味機能を示す手段として、声調変化がよく見られる。文法化の過程は語の意味機能が変わる過程でもあるので、声調変化という手段を使うのは不思議ではない。標準語では、軽声化の傾向が見られる。軽声がない方言では、声調の変化は恣意的なものであるのか、それとも何かの要素に制約され、一定の規則にしたがっているのか、今の段階ではまだよく分からず、更なる研究が必要だと思う。

「文法化」は絶えず変化する言語を動的に把握するための有効な概念として、欧米を中心にここ二十数年、多くの研究者が研究してきた。中国語研究の分野においても、この数年、文法化の研究が増えてきている。しかし、方言を対象とした体系的な文法研究は少なく、西南官話のデータもほとんど利用されていない。その空白をうめるため、本論文があったのである。ただ、成都方言に関する歴史的資料が少ないため、今の段階では、歴史的に遡ることができない語源が不明な文法形式が未だに多く存在しており、今回の論文で議論することができなかった。これらの文法形式に関する研究は今後の課題にしたいと思う。

参考文献

中国語文献

- 艾皓德. 1999 近代漢語以“時”煞尾的從句（《中國語文》1991年第6期）
- 鮑厚星等. 1999 《長沙方言研究》長沙：湖南教育出版社
- 陳康·巫達. 1998 《彝語語法》北京：中央民族大學出版社
- 儲澤祥. 2003 贛語岳西過程體與定格體的標記形式（戴昭銘主編《漢語方言語法研究和探索》哈爾濱：黑龍江人民出版社）
- 丁崇明·榮晶. 2003 昆明話“着”的語義語源探究（戴昭銘主編《漢語方言語法研究和探索》哈爾濱：黑龍江人民出版社）
- 古川裕. 2006 關於“要”類詞的認知解釋——論“要”由動詞到連詞的語法化途徑（《世界漢語教學》2006年第1期）
- 黃伯榮. 1996 《漢語方言語法類編》青島：青島出版社
- 蔣紹愚. 1994 論詞的“相因生義”（《蔣紹愚自選集》鄭州：河南教育出版社）
- . 2002 “給”字句、“教”字句表被動的來源（《語言學論叢》第26期）
- 江藍生. 1995 吳語助詞“來”、“得來”溯源（《中國語言學報》1995年第5期）
- . 1999 語法化程度的語音表現（《中國語言學的新拓展》香港：香港城市大學出版社）
- . 2000 漢語使役與被動兼用探源（《近代漢語探源》北京：商務出版社）
- . 2002 時間詞“時”和“後”的語法化（《中國語文》2002年第4期）
- . 2004 跨層非短語結構“的話”的詞彙化（《中國語文》2004年第5期）
- 柯理思. 1995 客話《新約聖書》以及《客家社會生活對話》兩書中所見的動詞後置成分“倒”（上聲）（曹逢甫、蔡美慧編《第一屆臺灣語言國際研討會論文選集》臺北：文鶴出版有限公司）

- 梁德曼. 1985 《四川方言與普通話》 成都：四川人民出版社
- 梁德曼·黃尚軍. 1998 《成都方言詞典》 南京：江蘇教育出版社
- 李晉霞. 2005 “好”的語法化與主觀化（《世界漢語教學》2005年第1期）
- 李藍. 1998 貴州大方話中的“到”和“起”（《中國語文》1998年第2期）
- 李臨定. 1990 《現在漢語動詞》 北京：中國社會科學出版社
- 李泰洙. 2003 《〈老乞大〉四種版本語言研究》 北京：語文出版社
- 林英津. 1993 客語上聲“到”的語法功能探源（臺北：《史語所集刊》第63本第4分冊）
- 羅傑瑞. 1982 漢語和阿爾泰語互相影響的四項例證（新竹：《清華學報》新14）
- 羅韻希. 1987 《成都話方言詞典》 成都：四川省社會科學出版社
- 劉丹青. 2001 語法化中的更新、強化與疊加（《語言研究》2001年第2期）
- . 2003 《語序類型學與介詞理論》 北京：商務印書館
- 劉堅·曹廣順·吳福祥. 1995 論誘發漢語詞彙語法化的若干因素（《中國語文》1995年第3期）
- 劉堅等. 1992 《近代漢語虛詞研究》（北京：語文出版社）
- 盧小群. 2004 《湘南土話代詞研究》 北京：中國社會科學出版社
- 呂叔湘. 1942 《中國語法要略》（北京：商務印書館）
- . 1955 釋景德傳燈錄中在、著二助詞（《漢語語法論文集》北京：科學出版社）
- . 1955 《漢語語法論文集》 北京：科學出版社
- . 1980 《現代漢語八百詞》 北京：商務印書館
- . 1985 《近代漢語指代詞》 上海：學林出版社
- 梅祖麟. 1955 漢語方言裏虛詞“著”字三種用法的來源（《中國語言學報》1988年第3期）
- . 1990 唐宋處置式的來源（《中國語文》1990年第2期）
- 木村英樹. 2005 北京話“給”字句擴展為被動句的語義動因（《漢語學報》2005年第2期）
- 橋本萬太郎. 1987 漢語被動式的歷史·區域發展（《中國語文》1987年第1期）

- 孫錫信. 1997 《漢語歷史語法叢稿》上海：漢語大詞典出版社
- 孫朝奮. 1994 〈《虛化論》評介〉（《國外語言學》1994年第4期）
- 石毓智·李訥. 2001 《漢語語法化的歷程：形態句法發展的動因和機制》北京：北京大學出版社
- 石毓智. 2004 《漢語研究的類型學視野》南昌：江西教育出版社
- 沈家煊. 1994 “語法化”研究綜觀（《外語教學與研究》1994年第4期）
- . 1998 實詞虛化的機制——《演化而來的語法》評介（《當代語言學》試刊）
- 余志鴻. 1987 《蒙古秘史》的特殊語法——論元代漢語的時體制『アジア・アフリカの計
数研究』東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
- . 2003 蒙古秘史動詞“回響”結構（『開篇』第23号 東京：好文出版社）
- 王力. 1958 《漢語史稿》（中）北京：北京科學出版社
- . 1989 《漢語語法史》北京：商務印書館
- 魏培泉. 2004 《漢魏六朝稱代詞研究》臺北：中央研究院語言學研究所
- 吳福祥. 2002a 漢語能性述補結構“V得/不C”的語法化（《中國語文》2002年第1期）
- . 2002b 南方方言裏虛詞“到（倒）”的用法及其來源（《中國語文研究》2002第
2期）
- 邢志群. 2004 漢語動詞語法化的機制（《語言學論叢》第28期）
- 許寶華·宮田一郎. 1999 《漢語方言大詞典》北京：中華書局
- 徐 慧. 2001 《益陽方言語法研究》長沙：湖南教育出版社
- 楊秀芳. 2002 論閩南語疑問代詞「當時」「著時」「底位」（《南北是非：漢語方言的差異
與變化》臺北：中央研究院語言學研究所）
- 趙元任. 1980 《漢語口語語法》丁邦新譯，臺北：臺灣學生書局
- 張慧英. 2000 《漢語方言代詞研究》北京：語文出版社
- 張清源. 1983 成都話中的語氣助詞“得（在，嘞）”（《漢語論叢》四川大學學報叢刊 第
22輯）

- . 1991 成都話的動態助詞“倒”和“起”（《中國語言學報》第4期）
- 張敏 . 1998 《認知語言學與漢語名詞短語》北京：中國社會科學出版社
- . 2003 從類型學看上古漢語定語標誌“之”語法化的來源（《語法化與語法研究》北京：商務印書館）
- 張誼生. 2000 論與漢語副詞有關的虛化機制（《中國語文》2000年第1期）
- 張一舟·張清源·鄧英樹. 2001 《成都方言語法研究》成都：巴蜀書社
- 張振興. 1983 《臺灣閩南方言記略》福州：福建人民出版社
- 朱德熙. 1982 《語法講義》（北京：商務印書館）
- . 1983 包含動詞“給”的複雜句式（《中國語文》1983年第3期）

日本語文献

- 秋元実治. 2003 『文法化とイディオム化』東京：ひつじ書房
- 荒木典子. 2003 「「実現・可能」の“V得”の成立」(『開篇』第22号 東京：好文出版)
- 稲田俊明. 2003 「補文標識と問い返し疑問文」(『言語学からの眺望 2003』福岡：九州大学出版社)
- 太田辰夫. 1958『中国語歴史文法』東京：江南出版
- 大堀壽夫. 2002 『認知言語学』東京：東京大学出版社
- 尾上圭介. 2001『文法と意味 I』東京：くろしお出版
- 王周明. 2005 『三言』における「V有 NP/V得有(NP)」(『開篇』第24号 東京：好文出版)
- 金水敏. 2006 『日本語存在表現の歴史』東京：ひつじ書房
- 黒滝真理子. 2005『Deontic から Epistemic への普遍性と相対性』東京：くろしお出版
- 小池生夫編. 2003『応用言語学事典』東京：研究社

- 小泉保. 2001『入門 語用論研究』東京：研究社印刷株式会社
- 小林賢. 2005「条件表現史にみる文法化の過程」(『日本語の研究』第1巻3号
東京：武蔵野書院)
- 佐々木勲人. 1998「中国語における使役と受動の曖昧性」(筑波大学現代言語学研究会
(編)『ヴォイスに関する比較言語学的研究』東京：三修社)
- 田中寛. 2004『日本語複文表現の研究』東京：白帝社
- 寺村秀夫. 1983「時間的限定の意味と文法的機能」(渡辺実(編)『副詞用語の研究』
東京：明治書院)
- 千葉謙悟・熊進・高橋慶太. 2005『百年前の四川方言——『華英聯珠分類集成』と『西蜀
方言』』東京：中国古籍文化研究所
- 辻幸夫. 2001『認知言語学キーワード事典』東京：研究社
- 東南アジア諸言語研究会(編). 2003『東南アジア大陸部諸言語の「行く・来る」』東
京：慶応義塾大学言語文化研究所
- 古屋昭弘. 1997 明代の“V倒”について (『開篇』第16号 東京：好文出版)
. 2004「梅花戒宝巻に見る清末の浙東呉語」(『梅花戒宝巻』東京：中国古籍文
化研究所)
- 益岡隆志. 1991『モダリティの文法』東京：くろしお出版
. 1993『日本語の条件表現』東京：くろしお出版
- 峰岸真琴. 2003 動詞連続の言語理論上の意義(中国語東アジア諸語研究会(青山学院
大学)学会発表)
- 仁田義雄等. 2000『モダリティ』東京：岩波書店
- 山田小枝訳. 1988『アスペクト』東京：むぎ書房
- 山梨正明. 1995『認知文法論』東京：ひつじ書房
. 2000『認知言語学原理』東京：くろしお出版
. 2004『ことばの認知空間』東京：開拓社

- 馬真等. 1986『西南官話教本 1』東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
- ．1986『西南官話教本 2』東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
- ．1986『西南官話基本文型の記述』東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
- 熊進. 2003「“V+上”、“V+下”について」(『外国語学誌』No.32 東京：大東文化大学外国語学会)
- ．2004「西昌方言の声調について」(『外国語学研究』第5号 東京：大東文化大学大学院外国語研究科)
- ．2005「四川方言における“得V”——“得V”と“V得”を中心に」(『中国文学研究』第31号 東京：早稲田大学中国文学会)
- ．2005「成都方言における「進行・状態」を表す“在”」(『日本中国語学第55回全国大会予稿集』東京：好文出版)
- ．2006「成都方言における機能語としての“説[so²]”」(『文学研究科紀要』第55輯 東京：早稲田大学大学院文学研究科)
- ．2006「成都方言における“之”の副詞化」(大澤邦由訳『中国古籍文化研究』第4号 東京：中国古籍文化研究所)
- 于康・張勤. 2000『テンスとアスペクト 1』東京：好文出版
- 張志公. 1955『中国文法基礎』(香坂順一訳) 東京：江南書院
- Christine Lamarre . 2001「中国語における文法化——方言文法のすすめ」(山中桂一・石田英敬編『シリーズ言語態 I：言語態の問い』東京：東京大学出版会)
- ．2002「助詞への道——漢語の“了”、“得”、“倒”の諸機能をめぐって」(大堀壽夫編『シリーズ言語科学 3 認知言語学 II：カテゴリー化』東京：東京大学出版会)
- ．2003「状態変化、構文、そして言語干渉：中国語の“V+在+場所”構文のケース」(『開篇』第22号 東京：好文出版)

英語文獻

- Bennett, P.A. 1981 The Evolution of Passive and Disposal Sentences, *Journal of Chinese Linguistics* Vol.9, 61-90
- Bernd Heine, Ulrike Claudi, and Friederike Hunnemeyer. 1991 *Grammaticalization : a Conceptual Framework* Chicago : University of Chicago Press
- Bernd Heine, Tania Kuteva . 2002 *World Lexicon of Grammaticalization* Cambridge: Cambridge University Press
- Chao Yuen Ren. 1968 *A Grammar of Spoken Chinese* Berkeley: University of California Press
- Comrie. 1976 *Aspect* Cambridge: Cambridge University
- Elizabeth Closs Traugott. 1982 From Proposition to Textual and Expressive Meanings:Some Semantic-pragmatic Aspects of Grammaticalization. *Perspectives on Historical Linguistics* ,ed. Winfred P.Lehman and Yacov Malkiel,245-271.Amsterdam:John Benjamins
- . 1985 Conditional Markers . *Iconicity in Syntax: Proceedings of a symposium on iconicity in syntax*, John Haiman ed. Amsterdam ,Philadelphia : J. Benjamins
- . 1995 Subjunctification in grammaticalization. In *Subjectivity and Subjectivisation* , ed. Dieter Stein and Susan Wright , 31-54. Cambridge : Cambridge University Press
- Sweetser. 1990 *From etymology to pragmatics* Cambridge : Cambridge University Press
- George Lacoff, Mark Johnson. 1980 *Metaphors we live by* Chicago: University of Chicago Press
- Harris, Alice C.and Lyle Campbell. 1995 *Historical Syntax in Cross-linguistic Perspective*. Cambridge: Cambridge University
- Joan Bybee,Revere Perkins,William Pagliuca. 1994 *The Evolution of Grammar: Tense,*

- Aspect ,and Modality in the Languages of the World* Chicago: The University of Chicago Press
- Joan Bybee. 2003 Cognitive Processes in Grammaticalization. In M.Thomacello ed. *The New Psychology of Language*, Vol.2, New Jersey : Lawrence Erlbaum Associates Inc.
- Paul J. Hopper, Elizabeth Closs Traugott. 1993 (2003) *Grammaticalization* Cambridge: Cambridge University
- Peyraube Alain. 1988 Syntactic Change in Chinese: on Grammaticalization *The Bulletin of the Institute of History and Philology* LLX-III
- Langacker, Ronald W. 1977 Syntactic Reanalysis. In Charles N. Li (ed.), *Mechanism of Syntactic Change* , 59-139. Austin: University of Texas Press
- Li, Charles N, and Sandra A. Thompson. 1981 *Mandarin Chinese: A Functional Reference Grammar*. Berkeley: University of California Press
- Talmy. 1988 Force Dynamics in Language and Cognition. *Cognitive Science* 2
- Thepkajana, Kingkarn. 1986 *Serial Verb Constructions in Thai*, Ph.D. Diss., Michigan : University of Michigan.
- Zygmunt Frajzyngier. 1996 *Grammaticalization of The Complex Sentence –A case study in Chadia* Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Company

付 録

付録 1 成都方言の拼音と IPA の対照表

本論文に使われる成都方言の拼音《成都方言词典》(梁德曼、黄尚軍(1998))および『西南官話教本 1』、『西南官話教本 2』(馬真、橋本萬太郎、太田齋等(1986))を参考に作ったものであり、IPAとの対照は次の表になっている。なお、4つの単字調調値(梁德曼、黄尚軍(1998)による)は1.陰平(55) 2.陽平(21) 3.上聲(53) 4.去聲(213)である。

韻母

-i	er	a	o	e	ai	ei	ao	ou	an	en	ang	ong
[ɨ]	[əɾ]	[a]	[o]	[ɛ]	[ai]	[ei]	[au]	[əu]	[an]	[ən]	[aŋ]	[oŋ]
i		ia	io	ie	iai		iao	iou	ien	in	iang	
[i]		[ia]	[io]	[ie]	[iai]		[iau]	[iəu]	[ien]	[in]	[iaŋ]	
u		ua		ue	uai	uei			uan	un	uang	
[u]		[ua]		[ue]	[uai]	[uei]			[uan]	[uən]	[uaŋ]	
ü				üe					üan	ün		iong
[y]				[yɛ]					[yan]	[yn]		[yoŋ]

声母

b [p]	p [p ^h]	m [m]		
			f [f]	
d [t]	t [t ^h]	n [n]		
dz [ts]	ts [ts ^h]		s [s]	z [z]
j [tɕ]	q [tɕ ^h]	ɲ [ɲ]	x [ɕ]	
g [k]	k [k ^h]	ŋ [ŋ]		
			h [x]	

付録 2 《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》における一部の用例

付録 3 現代成都生活会話

付録 4 《華英聯珠分類集成》(第一課～第十九課)

付録 2 《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》における一部の用例

以下四つの表は《西蜀方言》と《華英聯珠分類集成》における“V倒”、“V得倒(不倒)”、“V起”、“V得起(不起)”の全用例のまとめである。()の中の“西”は『西蜀方言』を指し、“華”は『華英聯珠分類集成』を指す。例えば、(西・11)の場合、該当例文は『西蜀方言』の11ページ目にあること、(華・1・2)の場合、該当例文は『華英聯珠分類集成』の第1課の2行目にあることを意味する。方言字の場合、□で表し、その横にローマ字拼音を原文のままに付ける。

表1 V倒

番号	例 文	該当箇所	英 訳
001	莫遮倒亮	(西・11)	Don't intercept the light
002	仆倒在地	(西・12)	To fall face downward on the ground
003	把那個盥仆倒	(西・12)	Turn that basin mouth downward
004	仆倒睡	(西・12)	To sleep face downward
005	伸手接倒	(西・17)	Put out your hand and take it
006	當時把我促倒了	(西・21)	It took me by surprise at that time
007	坐倒歇涼	(西・41)	Let us sit down and cool ourselves
008	捉倒过□p'ien ⁴	(西・51)	To seize and behead a robber
009	勻倒起	(西・59)	To divide equally; to equalize
010	跟倒车子印印走	(西・65)	Follow the wheel-barrow track
011	扼倒印把子	(西・65)	To take over the management or the authority
012	收倒幾封信	(西・69)	I have received a few letters
013	我聞倒你的口臭	(西・73)	Your mouth smells offensively
016	雞公叫雞公叫個人尋到個人要	(西・73)	The cock crows and the gander cackles
014	向倒天看	(西・76)	Look toward heaven
015	你同倒我去	(西・78)	Go with me
017	我吩咐你的話要好生記倒	(西・81)	You must carefully remember what I command you

018	跟倒人家打和聲	(西· 82)	To agree with everything said; to repeat idle tales
019	嗆倒了	(西· 93)	Choking and coughing up food into the nostrils
020	把人嚇倒了	(西· 96)	It frightens, or scares one
021	坑倒人家	(西· 102)	To wrong people
022	埋倒腦殼	(西· 105)	To bow the head; to stoop
023	壓倒	(西· 113)	Press it down
024	□ong ¹ 倒腦殼睡	(西· 113)	To sleep with the head covered up by the bed cloth
025	失腳跌倒了	(西· 120)	He slipped and fell ,he lost his footing
026	失手打倒人	(西· 120)	To strike another accidentally
027	他守倒我哭	(西· 136)	He wept and importuned me
028	莫背倒人翻少話	(西· 148)	Don't talk slander behind one's back
029	要把大局面顧倒	(西· 151)	We must keep u p the reputation of the undertaking
030	巴倒牆邊	(西· 159)	Near by the side of the wall
031	恰倒點用	(西· 184)	Use it economically
032	那個把你惹倒	(西· 190)	Who provoked you
033	看戳倒眼睛	(西· 200)	Take care and stick it into your eyes
034	把他扭倒	(西· 206)	Seize him
035	他們□t'en ⁴ 倒做	(西· 208)	They vigorously hurried the work through
036	把東西拿倒	(西· 211)	Take hold of the thing
037	把門抵倒	(西· 212)	Prop the door from within
038	事情抵倒了	(西· 212)	The affair is imminent; the day has arrived
039	押倒他做	(西· 214)	Compel him to do it
040	踢倒腳指拇	(西· 214)	I have kick my toes against a stone
041	試倒試倒的拗	(西· 214)	Lever it up carefully
042	挽倒他	(西· 218)	Hold on to him; retain him as a

			good friend
043	探倒那股病氣	(西·222)	When I came in contact that contagion
044	碰倒我連二骨	(西·225)	It knocked me on the shin-bone
045	在那裏揹倒的	(西·226)	Where was he hiding?
046	看搗倒	(西·228)	Beware of smothering it, as a baby
047	拿繩子摟倒	(西·230)	Tie it up with a string, as something which is likely to fall
048	陰倒摸起跑了	(西·231)	To go off stealthily; to abscond
049	撐倒房子	(西·232)	To prop up a leaning house
050	把手給我□ t'en ³ 倒了	(西·232)	It made my hand tingle
051	街上撞倒他	(西·232)	I met him on the street
052	撞倒有	(西·232)	Occasionally there are (or is) some
053	把腦殼□ k'uan ³ 倒了	(西·233)	His head stuck in it
054	撈倒一個死屍	(西·233)	They dragged a corpse out of the water
055	□ p'ie ⁵ 倒腳骨	(西·236)	To fracture one's leg
056	手頸頸擰倒了	(西·237)	I have sprained my wrist
057	我擦身過都沒有看倒他	(西·238)	I rubbed shoulders with him, and yet I did not notice him
058	把他攙倒	(西·239)	Support him to his feet
059	把路攔倒	(西·239)	To stop up a by-path
060	把他擋倒	(西·240)	Intercept him
061	拿條子支倒	(西·241)	Prop it up with a pole
062	請個人替倒	(西·259)	Engage a substitute; get someone to take your place
063	他望倒塔子去了	(西·261)	He went towards the pagoda
064	栽倒我買	(西·272)	He forced me to buy it of him
065	拿個東西榨倒	(西·278)	Get something and press it down
066	學算盤要記倒橋數	(西·282)	In learning the abacus you must remember the number of the rows
067	把縫子滋倒	(西·312)	Calk the seam; stop up the crack

068	好生照管倒	(西· 323)	Look after the things carefully
069	把這個菜留倒	(西· 346)	Lay by this food for future use
070	長行把人痞倒	(西· 351)	He is constantly sponging on one
071	癆倒了	(西· 353)	To be poisoned
072	盖倒	(西· 359)	Cover it
073	暎倒放	(西· 364)	Lay it on its side
074	陰倒□so ²	(西· 364)	To secretly watch; to spy
075	好生□tin ² 倒	(西· 365)	Attend carefully! Look out ; look at it attentively
076	睡倒好幾天	(西· 365)	He has been lying down for a few days with sickness
077	好生瞅倒	(西· 367)	Watch carefully; be on the look out
078	這回把你瞅倒了	(西· 367)	I have seen(caught) you this time
079	短倒	(西· 368)	Intercept him!
080	看□ta ⁵ 倒	(西· 369)	Beware of falling
081	站倒	(西· 385)	Stand still
082	築倒腳	(西· 391)	To stub the foot against anything, to sprain the ankle
083	這個官司把我糾纏倒了	(西· 400)	This lawsuit embarrasses me
084	繩子絆倒腳	(西· 403)	The rope has tripped me up
085	好生經管倒	(西· 406)	Look after this business carefully
086	網倒了	(西· 409)	Caught in a net
087	把我纏繞倒	(西· 412)	It embarrasses me
088	還沒有把老房子找倒	(西· 420)	I have not yet managed to get a coffin
089	聞倒一股香氣	(西· 424)	To smell a fragrance
090	□k'u ² 倒	(西· 431)	To crouch down; to squat
091	把毛鞭子薙倒	(西· 454)	Seize him by the queue
092	試倒試倒的	(西· 481)	Experimenting; feeling one's way; to test and see
093	諳倒使	(西· 485)	Use it carefully, i.e., reckoning how long it should last
094	遇倒販子手	(西· 491)	To meet one's match at knavery
095	□ku ¹ 倒起	(西· 501)	squat down

096	跪倒起	(西· 502)	Kneel down
097	看跌倒	(西· 502)	Beware of falling
098	跟倒轎子走	(西· 502)	Follow the chair
099	跟倒我讀	(西· 502)	Read it after me
100	跟倒這個樣子做	(西· 502)	Do it according to this pattern
101	跟倒做	(西· 502)	Do it immediately
102	跟倒幾天的雨	(西· 502)	Rain for a few days together
103	看跔倒	(西· 505)	Beware of falling down
104	連倒幾天的雨	(西· 515)	Rain for several days together
105	莫遮倒亮	(西· 522)	Don't stand in the light
106	烟醉倒了	(西· 527)	Sick from smoking tobacco or opium, as a beginner
107	閉倒眼睛	(西· 543)	Close your eyes
108	看闖倒	(西· 546)	Beware of getting knocked
109	除留倒	(西· 549)	To lay by part of anything
110	各人陰倒	(西· 550)	All keep it secret
111	陰倒做	(西· 550)	To do secretly
112	險些把我捉倒	(西· 552)	He nearly caught me
113	聽倒一個響聲	(西· 563)	I heard a noise
114	頂倒	(西· 564)	To oppose
115	頗倒力氣不上算	(西· 566)	Exert one's strength is of no consequence
116	錢要顧惜倒用	(西· 568)	You must use the money economically
117	聽倒一點風風	(西· 569)	I heard a rumor of it
118	□k'a ¹ (ch'ia ¹)倒人	(西· 600)	To oppress people; to force one
119	把水缸□k'ang ³ 倒	(西· 601)	Cover the water tank
120	拿盥□k'eu ² 倒	(西· 601)	Cover it with a basin
121	把火□pe ³ 倒	(西· 608)	Bank the fire
122	不要來□p'en ¹ 倒我	(西· 608)	Don't rely on , or toady on , me
123	把門□p'ie ⁵ 倒	(西· 609)	Bar the door
124	□pong ⁴ 倒山邊走	(西· 610)	Go along the side of the hill
125	□tai ³ (tai ²)倒人沒有	(西· 613)	Have you caught him or not
126	好生□tseo ⁴ 倒	(西· 615)	Cork it carefully
127	先生在書房裏坐倒	(華· 1· 1)	The teacher is sitting in his

			studying
128	聽倒有人敲門	(華• 1• 2)	He hears someone knocking at the door
129	把油桶子擱倒	(華• 3• 14)	Takes the oil tin and tips it up
130	把油鑊子敞子拿倒	(華• 3• 20)	Takes up the oil can and funnel
131	把門扯倒	(華• 6• 14)	Pulls the door shut
132	把鎖鎖倒	(華• 6• 17)	Locks the door
133	打雜的把身子□倒	(華• 9• 7)	The coolie stoops down
134	把水瓢擱倒	(華• 10• 8)	Puts down the dipper (or ladle)
135	把茶葉盒蓋倒	(華• 12• 14)	Puts on the lid of the tea canister
136	就把白糖碗擱倒	(華• 17• 7)	Then place down the sugar
137	就把牛奶鑊子擱倒	(華• 17• 12)	Then place down the milk jug
138	用叉子叉倒一塊	(華• 19• 20)	Sticks the fork on the egg
139	又叉倒一塊火腿	(華• 19• 21)	Also fork a piece of ham
140	大家把刀子叉子放倒	(華• 19• 27)	They all put down the knives and forks
141	把腰桿拱倒	(華• 22• 14)	Stoops his back
142	把千斤拿倒	(華• 22• 15)	Take hold of the carrying pole
143	二把子把杵皮子拿倒	(華• 22• 20)	The second man takes hold of the rest prop
144	二孤輅和挑子也跟倒走	(華• 23• 10)	The two-man chair and the loads all go on the gate
145	那二孤輅和挑子們都跟倒走	(華• 24• 1)	The two-man chair and carriers all go on together
146	抬轎子的說提倒	(華• 24• 13)	The chairmen say “place down”
147	把鎖鎖倒	(華• 26• 22)	Locks it. lit. “locks the lock ”
148	禮房的值日先生把稿接倒	(華• 31• 10)	The man on duty for the day at the Office Rites receives the draft
149	差人承票就把姓張的找倒	(華• 31• 17)	The yamen runners on receiving the warrant, then find the plaintiff CHANC
150	差人拿着票就去找倒姓王的被告	(華• 32• 1)	The yamen runners take the warrant and find Wang, the defendant
151	跟倒又到門房去繳票銷差	(華• 32• 4)	And forthwith go to the chief

			gategman's office, return the warrant and get their discharge
152	都到衙門內禮房裏候倒	(華• 33• 4)	They both come inside the yamen and wait in the Rites
153	原差就去找倒原告要鋪堂錢	(華• 34• 4)	The runners then go and find the plaintiff and demand the money for "Furnishing the Court"
154	就把原被兩告找倒要站堂錢	(華• 34• 15)	Then find the plaintiff and defendant and demand the "Standing in the Court" cash
155	就吩咐他們在店內候倒	(華• 34• 19)	And order them to wait in the inn. i.e. for the calling of their case
156	各自穿戴衣帽同在差房子內候倒	(華• 35• 9)	Each one in proper dress waits in the runner's room
157	中門一開官就公服出來坐倒	(華• 35• 16)	As soon as the middle door is opened, the Magistrate comes out in his official robes and sits down
158	原差就把原告喊上來跪倒	(華• 35• 22)	The runners then call the plaintiff to come up and kneel down
159	原差又把他們喊上來一起跪倒	(華• 35• 26)	The runners call them to come up and kneel down together
160	原差就把原告喊上來跪倒	(華• 36• 8)	The runners then call the defendant to come up and kneel down
161	官又吩咐原差把他押倒	(華• 36• 14)	The magistrate again orders the runners to keep him in custody

表 2 V 得倒、V 不倒

番号	例 文	該当箇所	英 訳
001	再猜不倒	(西・38)	You could never guess it
002	出不倒氣	(西・43)	I cannot breathe freely
003	一根樹剝得倒幾層皮	(西・50)	How many layers of bark can you peel off one tree
004	找得倒個財喜不	(西・89)	Can we find any money in the business?
005	今天圓不倒工	(西・99)	I cannot finish the work today
006	罈子封得倒，人口封不倒	(西・145)	A jar's mouth may be stopped up, but a man's mouth cannot
007	過得倒夾尺	(西・151)	Can you stand test? lit. can you pass the gauge?
008	富貴在天，強求不倒的	(西・173)	Riches and honour depend on Heaven; the cannot be obtained by force
009	彌縫不倒	(西・173)	You cannot conceal your villainy
010	後頸窩的頭髮 摸得倒看不倒	(西・176)	You can feel the hair at the back of your neck ,but you cannot see it; met., you may guess the future, but you cannot know it
011	得不倒	(西・177)	I cannot get it
012	做得倒	(西・177)	I am able to do it
	聽得倒	(西・177)	I can hear.
013	復不倒原	(西・178)	It is impossible to restore the original
014	鑰匙□k'uan ³ 不倒鑄	(西・233)	The key does not grip the wards of the lock
015	脫不倒擔子	(西・236)	You cannot get rid of the responsibility
016	將敷得倒穿喫	(西・246)	Just sufficient to keep one in food and clothing
017	遮蓋不倒	(西・359)	You cannot conceal the matter

018	把他管不倒	(西· 391)	I cannot control him
019	摸不倒頭緒	(西· 410)	I cannot find the clew; I cannot make head or tail of it
020	我趕不倒你	(西· 499)	I cannot equal you
021	今年趕不倒往年	(西· 499)	This year is not equal to former years
022	歸不倒隊	(西· 551)	Unable to rejoin the ranks; to lose capital
023	摸不倒頭腦	(西· 567)	I cannot get into the way of it
024	得□k'ang ³ 不 k'ang ³ 得倒	(西· 601)	Who knows if it will entrap anything or not
025	你□ma ² 不倒我	(西· 604)	You cannot hoodwink me

表 3 V 起

番 号	例 文	該当箇所	英 訳
001	把鋪門上起	(西· 3)	Shut up the shop front; to put up the shutter
002	仆起的	(西· 12)	Hollow side downward; inverted
003	仄起身子過	(西· 12)	To sidle past, or through
004	仰起的	(西· 15)	Hollow side upward; face upward
005	把腰桿伸起	(西· 17)	Straighten up your back
006	偏起的	(西· 25)	Oblique; inclined to one side
007	側起耳朵聽	(西· 26)	Incline your ear and hear
008	催起馬走	(西· 28)	Quicken your horse's pace
009	嘴上的油都□fu ⁴ 起了	(西· 40)	The fat has congealed about the child's mouth
010	放在水頭冰起	(西· 40)	Put in the water to cool
011	猪油凝起了	(西· 42)	The lard has congealed
012	還剩得有好多錢	(西· 51)	How much cash is there over
013	把剩的布留起	(西· 51)	Leave the surplus cloth

014	勻倒起	(西· 59)	To divide equally; to equalize
015	他两个反起的	(西· 69)	They are opposed or at variance
016	拿來吊起	(西· 78)	Take it and hang it up
017	他在後頭吊起	(西· 78)	He loitered behind
018	噓起多少高	(西· 93)	To squirt up very high, as water from a syringe
019	堆起的雪	(西· 107)	Piled up snow
020	墊起腳	(西· 111)	To tiptoe
021	尖起耳朵聽	(西· 149)	To prick one's ears and ears and listen
022	狗夾起尾巴	(西· 152)	The dog has run off with its tail between its legs
023	弓起的	(西· 171)	Arched; bulging; raised in the middle
024	把紐子扣起	(西· 204)	Button the button
025	把衣裳紮起	(西· 204)	Tuck up your gown
026	一天抄起一雙手	(西· 205)	You sit with your hands in your sleeves all day long
027	兩個人在那裏□t'en ⁴ 起了	(西· 208)	They are obstructing each other's progress
028	□la ² 起走了	(西· 210)	He has taken it away
029	抬起腦殼看	(西· 212)	Lift your head and look
030	把那頭抬起	(西· 212)	Lift up that end
031	套褲帶拖起了	(西· 213)	Your legging strings are trailing down
032	拖起兩個娃娃	(西· 213)	Embarrassed with tow babies
033	查街的把他押起	(西· 213)	The policeman arrested or detained him
034	我們兩個是拗起的	(西· 214)	Our opinions differ; we are working at cross-purpose
035	把三腳□ch'a ³ 起	(西· 214)	Set up the tripod
036	拱起的	(西· 215)	Convex; arched
037	把袖子挽起	(西· 218)	Turn up your sleeves
038	掙起一個癆病	(西· 219)	To exert one's self overmuch and cause a serious illness

039	把門簾子卷起	(西· 220)	Roll up the door screen
040	把索子接起	(西· 222)	Splice the rope
041	剩下的要揀起	(西· 225)	Gather up the remnants
042	他提起腦殼耍	(西· 225)	He carries his head in his hand; as an outlaw
043	搶起搶起喫	(西· 229)	To gobble one's food
044	把錢摸起	(西· 230)	Fork out your money
045	陰倒摸起跑了	(西· 231)	To go off stealthily; to abscond
046	把他的手掬起	(西· 231)	Handcuff him
047	兜起衣兜	(西· 231)	Lift up your skirt to make a lap
048	把東西悄悄的撤起走了	(西· 232)	He has removed his goods to another place secretly (as a bankrupt does)
049	事情□k'uan ³ 起了	(西· 233)	The affair is obstructed; things have come to a dead-lock
050	把衣服撩起	(西· 233)	Hold up your dress
051	撮起	(西· 235)	To gather into a dustpan
052	扯起攔天網儘說	(西· 239)	He draws a net that sweeps the heavens —always talking!
053	把手板攤起	(西· 239)	Stretch open the palm of your hand
054	把船放起走	(西· 242)	Unloose the boat from its moorings and go
055	斜起的	(西· 248)	Slanting
056	望起腦殼	(西· 261)	To lift up the head
057	把他枷起	(西· 269)	Put the cangue on him; cangue him
058	立起架子	(西· 269)	To put up the frame-work of a house
059	把架子架起	(西· 269)	Hang the chair up on the rafter
060	莫架起架起的說	(西· 269)	Don't invent lies in that fashion
061	橫起的	(西· 281)	Transverse; crosswise; at right angles
062	這個板子是橋起的	(西· 282)	This board is warped
063	欸起了	(西· 286)	Detained; arrested; hindered

064	歪起的	(西· 288)	Awry; askew; crooked
065	淌起淌起的來	(西· 305)	Gushing down, like a torrent after rain
066	漚起霉霉了	(西· 313)	It has gone mouldy
067	摸起澀手	(西· 316)	It is rough to touch
068	拿來炕起	(西· 320)	Hang it over the fire to dry
069	在炕上薰起	(西· 320)	Hang it up over the kitchen fire to be smoked
070	菜放在裏頭煨起	(西· 322)	Put the food back into the pot and warm it up a bit
071	我把你輝煌起	(西· 323)	I will trim you up and make you look respectable
072	把口袋牽起	(西· 333)	Hold open the sack
073	吐血猖起猖起的來	(西· 335)	To spit blood copiously
074	又來理起說	(西· 339)	He came and brought the matter again
075	当不起	(西· 347)	I am unworthy
076	把桅子眠起	(西· 363)	Unstep the mast and lay it alongside
077	摸起硬手	(西· 371)	Hard to the touch
078	桌子是空起的	(西· 382)	The table is not in use
079	把錢穿起	(西· 382)	String the cash
080	立起的	(西· 385)	Standing upright
081	肚子結起了	(西· 404)	Bowels constipated
082	盡是編起的	(西· 409)	The stories are pure inventions
083	把袖子縳起	(西· 409)	Tuck up your sleeves
084	皺起的	(西· 410)	Wrinkled
085	自己纂起說的	(西· 413)	They concocted the stories themselves
086	翻轉穿起	(西· 420)	Turn it outside in and wear it
087	我这几天耍起在	(西· 421)	I am idle these days; out of work
088	那个把他肘起	(西· 426)	Who is backing , or supporting him?
089	背起手	(西· 428)	To place the hands behind the back

090	拿膠來膠起	(西· 434)	Glue it with glue
091	拍起膛子說	(西· 435)	To slap one's chest when referring to one's self; to be surety
092	他厚起臉儘說	(西· 436)	He hardens his face and put on a moustache; to disguise
093	屋頭的東西亂舞起	(西· 440)	The things in the house are all higgledy-piggledy
094	給他一歇舞起	(西· 440)	Do it in a rough and ready fashion
095	把對子拿來裹起	(西· 471)	Roll up the scroll
096	穿起	(西· 499)	Put it on; wear it (present time)
097	□ku ¹ 倒起	(西· 501)	Squat down
098	在地下□tsi ¹ 起走	(西· 501)	To walk with a shuffle
099	跪倒起	(西· 502)	Kneel down
100	莫把腳蹺起	(西· 504)	Don't sit with your legs crossed
101	蹺起腳走	(西· 504)	To walk on the heels as women with bound feet do.
102	他們說蹺起了	(西· 505)	They have come to wrangling
103	擲起袖子	(西· 507)	To let the gown sleeves dangle down
104	事情還是擲起的	(西· 507)	The affair is still in suspense
105	酒把他逛起了	(西· 515)	He is beside himself with drink; drunk
106	遍地都撒起	(西· 519)	It is scattered on the ground everywhere
107	運起走	(西· 520)	To carry two loads alternately; alternately lifting the ends of a heavy weight
108	醒起的	(西· 528)	Awake
109	拿釘子釘起	(西· 531)	Nail it with nails
110	鋪起一層灰	(西· 535)	Covered with dust
111	把他鎖起	(西· 538)	Put him in iron
112	□ma ³ 起一堆柴	(西· 551)	Pile up a heap of firewood
113	兩弟兄是隔起的	(西· 552)	The brothers are at variance

114	他兩個頂起的	(西· 564)	They are at variance
115	黑起臉像鐘馗	(西· 574)	As black in the face as Chong-kue (an idol)
116	□lia ³ 起的	(西· 604)	Slanting; sloping; askew
117	□sie ¹ 起口哭	(西· 612)	Crying there with your mouth open
118	把手伸起	(華· 1· 8)	Stretches out his hand
119	把頭抬起	(華· 2· 5)	Lifts up his head
120	把鞋穿起	(華· 2· 14)	Puts on his socks
121	把身子立起	(華· 2· 15)	Stands up
122	把油鑊子拿起	(華· 3· 7)	Takes up the oil can
123	把燈拿起	(華· 4· 2)	Takes up the lamp
124	把油甬子拿起	(華· 4· 11)	Takes up the oil funnel
125	把鑊子拿起	(華· 4· 13)	Takes up the oil can
126	把油鑊子側起	(華· 4· 15)	Tips upwards the oil can
127	把螺絲轉拿起	(華· 4· 23)	Takes up the screw cap
128	把舊帕子拿起	(華· 5· 9)	Takes up an old cloth
129	把幹帕子拿起	(華· 5· 12)	Takes up a clean cloth
130	把鎖拿起	(華· 6· 15)	Takes up the lock
131	把釰子扣起	(華· 6· 16)	Places on the door hasp
132	打柴的把柴刀拿起	(華· 7· 2)	The coolie takes up the hatchet
133	把一塊柴拿起	(華· 7· 5)	He takes up a stick of wood
134	把柴刀□nao ³ 起	(華· 7· 7)	Raises the hatchet
135	把柴刀和柴□nao ³ 起	(華· 7· 11)	He raises the hatchet and wood
136	打雜的把撮箕拿起	(華· 9· 1)	The coolie takes up the dust pan
137	把零柴刨花爛紙拿起	(華· 9· 2)	Takes up kindling wood, shavings, and soiled paper
138	把火鉤拿起	(華· 9· 11)	Takes up the poker
139	把刨花爛紙拿起	(華· 9· 13)	Takes up the shavings and paper
140	把柴拿起	(華· 9· 15)	Takes up the wood
141	把火搭起	(華· 10· 3)	Lights the fire
142	把鑊子拿起	(華· 10· 5)	He takes up the saucepan
143	把菜刀拿起割一塊	(華· 11· 2)	Takes up the vegetable knife and cuts off a piece of ham
144	把火腿掛起	(華· 11· 4)	Hangs up the ham

145	大家把手反起	(華• 15• 11)	All place their hands behind them
146	大家把頭抬起	(華• 15• 18)	All lift up their heads
147	把稀飯鑊子提起	(華• 16• 7)	Lifts up the porridge pot
148	把兩盤稀飯端起	(華• 16• 12)	Takes up two plates of porridge
149	大家把調羹拿起	(華• 17• 13)	Carries the two plates of porridge into dining room
150	父親把調羹叉子拿起	(華• 18• 7)	The father takes up a spoon and fork
151	把蛋和火腿舀起	(華• 18• 8)	Takes up eggs and ham
152	擺台的把盤子端起	(華• 18• 10)	The table boy takes up the plate
153	父親又把蛋和火腿舀起	(華• 18• 12)	The father again takes up eggs and ham
154	擺台的又把盤子端起	(華• 18• 14)	The table boy again takes up the plate
155	把芥末調羹拿起	(華• 19• 2)	Then takes up the mustard spoon
156	把一點芥末撮起	(華• 19• 3)	Takes up a little mustard
157	把胡椒瓶子拿起	(華• 19• 6)	Takes up the pepper bottle
158	把鹽調羹拿起	(華• 19• 10)	He takes up the salt spoon
159	把一點鹽撮起	(華• 19• 11)	Scrapes up a little salt
160	把刀子叉子拿起	(華• 19• 17)	Then takes up knife and fork
161	二掌櫃拿起錢就回去了	(華• 20• 21)	The manager takes up the cash and return (to his shop)
162	用繩子把東西捆起	(華• 21• 4)	Ties the things in good order
163	夫子們拿錢串子把錢穿起	(華• 21• 23)	They take cash strings and string their cash
164	抬轎子的把腳簾掛起	(華• 22• 12)	The chairman hooks on the lower curtain
165	就抬起走	(華• 23• 16)	Then lift up and go
166	歇一下氣又抬起走	(華• 24• 19)	(After) resting a little (they)again lift up and go
167	把燈上起	(華• 25• 19)	Fills up the lamp
168	把燈點起	(華• 25• 20)	Lights the lamp

表 4 V 得起、V 不起

番 号	例 文	該当箇所	英 訳
001	轎竿子乘不起	(西・ 7)	The chair poles will not bear the weight
002	來得起兩吊錢	(西・ 19)	I can contribute two thousand cash
003	成不起勢	(西・ 57)	They did not gain the ascendancy
004	照得起人影子	(西・ 175)	It is bright enough to reflect the image of a person
005	承擔不起	(西・ 205)	I am incapable of undertaking the trust
006	□ la ² 不起那麼多	(西・ 210)	I am not able to carry all that
007	莫說拗不起的話	(西・ 214)	Don't say that you are not able to do it
008	当不起	(西・ 347)	I am unworthy!
009	出不起血	(西・ 465)	He has no money to give
010	買不起	(西・ 499)	I cannot afford to buy it
011	鑲不起	(西・ 541)	It cannot be pieced together (as a broken basin)
012	这两年我都雄不起了	(西・ 553)	These two years I have been unable to make a show; (too poor)
013	被告推辭說給不起	(華・ 35・ 28)	The defendant excuses himself saying "I can't pay"

付錄 3 現代成都生活会話

第 1 課 早起早睡

A: 鬧鐘□ ngang¹了幾道了, 起來得了。

Nao⁴ dzong¹ ngang¹ no² ji³ dao⁴ no², qi³ nai² de² no²。

B: 媽, 今天星期六得嘛。

Ma¹, jin¹ tien¹ xin¹ qi¹ niou² de² ma²。

A: 你不是說今天學校補課啊?

Gni³ bu² si⁴ so² jin¹ tien¹ xio² xiao⁴ bu³ ko⁴ a¹。

B: 等我再□ pen¹ 十分鐘。

Den³ ngo³ dzai⁴ pen¹ si² fen¹ dzong¹

A: 你還是馬上起來, 一哈兒又□ ngan⁴了。

Gni³ hai² si⁴ ma² sang⁴ qi² nai², i² her¹ iou⁴ ngan⁴ no²。

B: 瞌睡不夠, 上課要啄夢腳的。

ko² sui³ bu² gou⁴, sang⁴ ko⁴ iao⁴ dzua² mong⁴ jio² ni¹。

A: 昨晚黑磨到¹² 十二點還不睡……

Dzo² uan³ he² mo² dao³ si² er⁴ dien³ hai² bu² sui⁴……

B: 好嘛, 今晚黑早點歇, 把瞌睡補起。

Hao³ ma², jin¹ uan³ he² dzao³ dien² xie², ba² ko² sui⁴ bu³ qi³。

詞彙· 語法

1. □ ngang¹

1) 響: 鬧鐘一~我就醒了。(鬧鐘一響, 我就醒了。)

2) 響亮: 火砲兒太~了, 把我耳朵都震聾了。(鞭炮太響了, 把我耳朵都震聾了。)

2. ……得了

動詞後面加“……得了”, 表示“應該”、“必須”的意思, 用於規勸、提醒別人

“到……時候了，應該……了”。如：

不早了，走～。（不早了，該走了。）

耍遊戲耍了好久¹了，回家～。（玩遊戲玩了很久了，該回家了。）

3. 得嘛

用於陳述句末，表示確認事實，指明事理顯而易見，含有申辯、辯解，提起對方注意的意思。如：

他早就辭職了～，你還不曉得啊？（他早就辭職了呀，你還不知道嗎？）

我還說是哪個呢，是張二娃～。（我還以為是誰呢，是張二娃呀。）

4. □ pen¹

1) 靠：不要～倒椅子，坐好。（不要靠着椅，坐好。）

2) 靠着打盹或小睡。昨晚黑熬夜，～都沒有～一下。（昨晚熬夜，盹也沒打一下。）

5. □ ngan⁴

晚，遲的意思。如：

他來～了，人家都散會了。（他來晚了，人家都散會了。）

今天放假，～點起來都要得。（今天放假，可以晚點起來。）

6. 啄夢腳

精力不集中，走神，開小差。如：

開車才啄不得夢腳呢。（開車才不能開小差呢。）

老師在上面講，他在底下～。（老師在上面講，他在下面走神。）

7. 磨

做事效率不高，蹭時間。

他～了好幾個星期才把論文寫起。（他蹭了好幾個星期才把論文寫好。）

¹ 很久

磨了一早上，沒有干啥子事。(磨蹭了一早上，什麼事情也沒做。)

8. 好嘛

同意對方的意見，有一種妥協、無可奈何的口氣。

～，你們都去，我也挨倒你們去嘛。(好吧，你們都去，我也跟着去吧。)

～，我就等你去，你不要失悔哦。(好吧，我就讓你去，你可別後悔啊。)

第 2 課 太儻?

A: 好儻哦，這幾天淨是戳火事。

Hao³ mei² o², dze⁴ ji³ tien¹ jin⁴ si⁴ tso² ho³ si⁴ 。

B: 咋個了?

Dza² go⁴ no² ?

A: 昨天□pie³了根竹棒棒去□do²蜂窩。

Dzo² tien¹ pie³ no² gen¹ dzu² bang⁴ bang¹ qie⁴ do² fong¹ o¹,
拿給蜂子□ju¹了

Na² ge¹ fong¹ dzi³ ju¹ no² ,

起了一個大包包

Qi³ no² i² go⁴ da⁴ bao¹ bao¹ 。

今天翻牆，絆下來，

Jin¹ tien¹ fan¹ qiang², ban⁴ xia⁴ nai²,

克膝頭兒拿給石頭劃破了，

Ke² xi¹ ter² na² ge¹ si² tou¹ hua¹ po⁴ no² ,

腳也崦倒了。

Jio² ie³ uai³ dao³ no² 。

B: 趕快拴根紅帶帶兒，避邪

Gan² kuai⁴ suan¹ gen¹ hong² dai⁴ der¹ , bi⁴ xie² 。

A: 管用不?

Guan³ iong⁴ bo² ?

B: 管不倒用，就只說明一個問題：

Guan² bu⁴ dao³ iong⁴, jiou⁴ dzi³ so² min² i² go⁴ un⁴ ti²:

你不是太儻，是太□ fei⁴了。

Gni³ bu² si⁴ tai⁴ mei², si⁴ tai⁴ fei⁴ no²。

詞彙· 語法

1. 戳火

1) 把事情做好。如：

這件事整～了，要着討 (tao¹)。(這件事情做得真差勁，會被罵。)

盡做～事，是還是該換人了。(總是辦不好事，的確該換人了。)

2) 完結，了結。

還說啥子哦，我和她都～了。(還說什麼呢，我和她的關係都了結了。)

2. 咋個

1) 疑問詞，問原因，相當於普通話的“為什麼”，“怎麼”。

他兩個～還不來喃？(他們倆怎麼還不來呢？)

～屋頭濕鮮鮮 (dza³) 的喃？(為什麼屋裏這麼潮呢？)

2) 疑問詞，問方式，相當於普通話的“怎麼”，“怎樣”。

～做才做得巴適？(怎麼做才做得好？)

你是咋個來的喃？坐車哇？(你是怎麼來的呢？坐車嗎？)

3. □pie³

把硬的或脆的東西拆在折斷，掰開。

要愛護樹木，不要～樹枝枝。(要愛護樹木，不要折樹枝。)

～點餅乾給我吃。(掰點餅乾給我吃。)

4. □ju¹

動詞，刺，蜇。如：

那種草有刺，～人。（那種草有刺，蜇人。）

釘子把氣球～爆了。（釘子把氣球刺爆了。）

腳上打起泡了，拿針～一下。（腳上磨出泡了，拿針刺一下。）

5. 拿給

“拿給”可以做表被動的語法標記，相當於普通話的“讓”、“叫”。如：

手～刀刀兒劃破了。（手被刀子劃破了。）

洋芋～他煮來吃了。（土豆被他煮着吃了。）

衣服～雨□tsua²濕²了。（衣服被雨淋濕了。）

6. V 倒

動態助詞“倒”，可以表示動作或狀態的持續，相當於普通話的“着”。詳見論文部分。

1) 他在屋頭坐～。（他在屋裏坐着。）

2) 沒得工作，他只好天天耍～。（沒有工作，他只好天天閒着。）

3) 小狗搖～尾巴跑過來。（小狗搖着尾巴跑過來。）

7. ……不？

用於詢問或者確認，相當於普通話的“嗎”。一般發音為 bo²。

這種柿子綁嘴～？（這種柿子澀口嗎？）

這們大的冰箱，背³電～？（這麼大的冰箱，費電嗎？）

你穿得薄飛飛⁴的，冷～？（你穿得這麼薄，冷嗎？）

8. □ fei⁴

形容小孩頑皮。如：

那個娃兒～得很，媽老漢兒簡直莫得辦法。（那個孩子太頑皮了，父母一點辦法也沒有。）

他弟娃兒～慘了，經常着老師討。（他弟弟特別調皮，經常被老師批評。）

² □tsua² 濕，即淋濕。

³ 背，即費。如：背電，背水等。

⁴ 很單薄的樣子。

第3課 健體強身

A: 幾年不見，你長這們□ dzuai² 實！

Ji³ gnien² bu² jien⁴, gni³ dzang³ dze⁴ men¹ dzuai² si²!

是啥子把你催成壯漢的？

Si⁴ sa⁴ dzi³ ba³ gni³ tsui¹ tsen² dzuang⁴ han⁴ ni¹?

B: 我這幾年一直在健身得嘛。

Ngo³ dze⁴ ji³ nien² i² dzi² dzai⁴ jien⁴ sen¹ de² ma²

身體好了，病也少了。

Sen¹ ti³ hao³ no², bin⁴ ie³ sao³ no²。

A: 你原先是個葯罐罐，現在紅光滿面的。

Gni³ üan² xien¹ si⁴ go⁴ io² guan⁴ guan¹, xien⁴ dzai⁴ hong² guang¹ man³
mien⁴ ni¹。

看來是有效果哈。

Kan⁴ nai² si⁴ iou³ xiao⁴ go³ ha³。

在哪哈兒練喃？

Dzai⁴ na³ her¹ nien⁴ nan¹?

B: 我買了套健身機械，各人在屋頭練。

Ngo³ mai³ no² tao⁴ jien⁴ sen¹ qi⁴ jien⁴, go² zen² dzai⁴ u² tou¹ nien⁴。

A: 哦，我還默倒你是在健身房頭練呢。

O², ngo³ hai² me² dao³ gni³ si⁴ dzai⁴ jien⁴ sen¹ fang² tou² nien⁴ ne²。

B: 我上班早，下班□ngan⁴,

Ngo³ sang⁴ ban¹ dzao³, xia⁴ ban¹ ngan⁴,

屋頭有器械，隨在好久都可以。

U² tou¹ iou³ qi⁴ jien⁴, sui² dzai⁴ hao³ jiou³ dou¹ ko³ i³。

A: 不錯不錯，我也去買套來練。

Bu² tso⁴ bu² tso⁴, ngo³ ie³ qie⁴ mai³ tao⁴ nai² nien⁴。

詞彙· 語法

1. □ dzuai² 實

形容身體結實、強壯。也形容物品堅實。如：

我們家兩個兒娃子，大的那個多～的，二的個就□（nang¹）⁵多了。（我家兩個男孩兒，哥哥挺結實的，弟弟身體就單薄多了。）

你把牆砌得這們～，兩百年都倒不倒。（你把牆砌得這麼堅固，兩百年都倒不了。）

2. 原先

原來、以前的意思。

～他們兩個多熱火的，現在僵⁶慘了。（原來他們倆挺親熱的，現在關係不好。）

他～拿給蛇咬過，現在見到麻繩都害怕。（他原來被蛇咬過，現在見到麻繩都害怕。）

3. 葯罐罐

經常吃葯的人，形容身體不好，容易生病。

他是個～，身體□xer¹得很。（他經常生病，身體不好。）

4. 哈

語氣助詞，有以下幾種用法。

1) 徵求對方意見以確認，相當於“對吧”。

這個地方我們原先來過～？

你弟娃兒大學還沒有畢業～？

2) 提醒對方。

到時間了～，走得了。

水燒開了～，下得面了。

3) 表示請求。

給我耍一下～。

⁵ □nang¹，即身體瘦弱。。

⁶ 關係冷淡。

我去把東西取回來～。

5. 各人

相當於“自己”的意思。如：

～的東西各人保管好。（自己的東西自己保管好。）

他～在那兒耍，不鬧大人。（他自己在那兒玩，不吵大人。）

6. 名詞+頭

“名詞+頭”有表示方位的意思，相當於普通話的“名詞+裏”。

他腦殼～的點點⁷多得很。（他腦袋裏的主意多。）

壩壩～堆得有幾堆煤。（院子裏堆了幾堆煤。）

7. 默倒

以為，認為。

我～他不得去，結果他早就去了。（我以為他不會去，結果他早就去了。）

你～這個工作那們好干啊？（你以為這個工作這麼好做麼？）

8. 隨在

相當於普通話的“無論”，“不管”。

～哪個來，他都那們熱情。（無論誰來，他都那麼熱情。）

～啥子難題，他都答得起。（不管什麼難題，他都能回答。）

9. 好久

在疑問句裏，“好久”既可以表示“什麼時候”，也可以表示“多長時間”。在陳述句裏面，“好久……都”表示“無論什麼時候，都”的意思。

你們姐～才回來哦？（你姐姐什麼時候才回來？）

老張去日本去了～了？（老張到日本去，去了多久了？）

⁷ 點點，即主意，點子。

你有空就來嘛，～來都可以的。(你有空就來吧，什麼時候來都可以的。)

第4課 資格的川菜

A: 你做得來川菜不?

Gni³ dzu⁴ de² nai² tsuan¹ tsai⁴ bu²?

B: 開玩笑，我是資格的川菜師傅，當然做得來了。

Kai¹ uan² xiao⁴, ngo³ si⁴ zi¹ ge² ni¹ tsuan¹ tsai⁴ si¹ fu⁴, dang¹ zan²
dzu⁴ de² nai² no²。

A: 好久露一手嘛。

Hao³ jiou³ nu⁴ i² sou³ ma²。

B: 對嘛對嘛。你吃得辣的啊?

Dui⁴ ma² dui⁴ ma²。Gni³ tsi² de² na² ni¹ a¹?

A: 我是資格的成都人哦。

Gno³ si⁴ dzi¹ ge² ni¹ tsen² du¹ zen² o¹。

莫得哪個成都女娃子喊怕辣的。

Mo² de¹ na³ go⁴ tsen² du¹ nü³ wa² dzi³ han³ pa⁴ na² ni¹。

B: 那我就多放點兒海椒。

Na⁴ ngo³ jiou⁴ do¹ fang⁴ der³ hai³ jiao¹。

辣倒□ se³(se⁴), 你不要失悔哦。

Na² dao³ se³(se⁴), ni³ bu² iao⁴ si² hui³ o¹。

A: 越辣越好，我是不怕辣，怕不辣哦。

üe² na² üe² hao³, ngo³ si⁴ bu² pa⁴ na², pa⁴ bu² na² o²。

B: 對嘛，做個□ fei¹ 辣的麻婆豆腐。

Dui⁴ ma², dzu³ go³ fei¹ na² ni¹ ma² po² dou⁴ fu³。

不要把你嚇倒哦。

Bu² iao⁴ ba³ gni³ he² dao³ o¹。

詞彙· 語法

1. 資格

正宗的，正統的，真正的。如：

這塊料子是～的毛料。（這塊布料是真正的毛料。）

他是在成都長大的，媽老漢兒又都是成都人，他說的是～的成都話。（他是在成都長大的，父母又都是成都人，他說的是正宗的成都話。）

這塊表是的～進口貨，當然買得貴哦。（這塊表是真正的進口貨，當然買得貴了。）

2. V 得來

表示具有某种能力或可以做某事，相當於普通話的“會”、“能”。否定形式為“V 不來”。

他說～英語，說不來日語。（他會說英語，不會說日語。）

你吃～花椒不？（你能吃花椒嗎？）

他拉～二胡，喊他出個節目。（他會拉二胡，讓他出一個節目。）

3. 對嘛

表示應允對方的意見，同意做某事。如：

A: 我剛剛學開車，摸不倒火門，你教下我嘛。

（我剛剛學開車，什麼都不知道，你教教我吧。）

B: ～，你找個時間，我教你。

（行，你找個時間，我教你。）

A: 大家□ten⁴倒不去開會，還是你去開算了。

（大家都推脫不去開會，還是你去開算了。）

B: ～，我去。

（好的，我去。）

4. 莫得

存在的否定，相當於普通話的“沒有”。也說“沒得”。“莫得”的“得”讀為 de¹，“沒得”的“得”讀為 de²。

有～醪糟賣？（有沒有醪糟⁸賣？）

～哪個那們瓜，下雨天跑出去□tsua²雨。（沒有誰那麼傻，下雨天跑出去淋雨。）

假期頭～作業，他簡直耍伸抖⁹了。（假期裏沒有作業，他可真是玩舒服了。）

5. 女娃子

年輕或者年少的女子。如：

他家頭姊妹三個，二的個和三的個都是～。

～家家¹⁰的不學好，抽啥子煙嘛。（女孩子怎麼能不學好，抽什麼煙呢。）

6. □ se³(se⁴)

表假設，相當於普通話的“……的話”，“如果……”。

早點去～，就不得出這種事情了。（早點去的話，就不會出這樣的事情了。）

不注意交通～，要拿給車□ nga¹倒哦。（不注意交通的話，會被車壓着的。）

他還是不聽～，我就莫奈何了。（他要是還不聽，我就沒有辦法了。）

7. □ fei¹

和一部分形容詞搭配，表示程度深。

這個娃娃臉上～紅的，是不是發燒了。（這孩子臉上紅紅的，該不是發燒了吧。）

剛上的菜，～燙，等一哈兒再吃。（剛上的菜，燙着呢，等一會兒再吃。）

⁸ 糯米發酵做成的類似米酒的食品。

⁹ 讀為“tsen¹ tou³”，這裡意為“舒服，順暢”。

¹⁰ 具有某種共性的一類人。

第 5 課 危險的電腦

A: 都都, 舅舅決定給你買個電腦。

Du¹ du¹, jiou⁴ jiou¹ jue² din⁴ gei¹ gni³ mai³ go⁴ dien⁴ nao³。

B: 真的啊? 好安逸哦!

Dzen¹ ni¹ a¹? hao³ ngan¹ i⁴ o²!

A: 但是, 有幾點你要注意。

Dan³ si⁴, iou³ ji³ dien³ gni³ iao⁴ dzu⁴ i⁴。

不要天到黑打遊戲, 看影響學習和休息。

Bu² iao⁴ tien¹ dao⁴ he² da³ iou² xi⁴, kan⁴ in³ xiang³ xio² xi² ho²
xiou¹ xi²。

不要亂下載網上的東西, 看着病毒感染。

Bu² iao⁴ nuan⁴ xia⁴ dzai⁴ uang³ sang⁴ ni¹ dong¹ xi¹, kan⁴ dzao² bin⁴
du² gan³ zan³。

不要跟生人聊 QQ, 看.....

Bu² iao⁴ gen¹ sen¹ zen² niao² kou³ kou³, kan⁴.....

B: 算了, 不要買了, 這們不安全, 把我都嚇倒了。

Suan⁴ no², bu² iao⁴ mai³ no², dze⁴ men¹ bu² ngan¹ quan², ba³ ngo³
dou¹ he² dao³ no²。

A: 小娃兒不懂, 先打預防針, 買還是要買的。

Xiao² ua² er¹ bu² dong³, xien¹ da³ ü⁴ fang² dzen¹, mai³ hai² si⁴ iao⁴
mai³ ni¹。

B: 相因不?

Xiang¹ in¹ bo²?

A: 價格還可以。

Jia⁴ ge² hai² ko³ i³。

B: 把細點兒哈, 看着□uai³貨哦。

Ba³ xi⁴ der³ ha³, kan⁴ dzao² uai³ ho⁴。

詞彙· 語法

1. 安逸

1) 舒服，好。

新買的沙發軟軟的，好～哦。(新買的沙發軟軟的，好舒服啊。)

他不勞動，在裏頭吃抹合¹¹，才～呢。(他不勞動，在裏面白吃，才舒服呢。)(貶義)

2) 動詞，常和否定詞“不”搭配使用，相當於“不高興，有意見”

他平時不咋個注意影響，鄰居都不～他。(他平時不怎麼注意影響，鄰居都對他有意見。)

2. 天到黑

一天到晚。整天。

他天到黑都忙，沒得空。(他一整天都忙，沒有空。)

3. 看

表示提醒對方注意某事，以免陷入不好的事態中。

多穿點衣服，～着涼。(多穿點衣服，別着涼了。)

不要呆(gnai²)，～遲到了。(別拖遛，以免遲到。)

臨考都不看書，～及不倒格。(臨攷也不看書，別攷不及格。)

4. 着

被動標記，相當於普通話表被動的“被”、“給”等。

昨晚黑～雨□ tsua² 倒了，今天頭昏□ tso²□ tso²的。(昨天被雨淋濕了，今天頭昏沉沉的。)

小雞娃兒～傳染上雞瘟了。(小雞給傳染上雞瘟了。)

她□ niao¹衣服¹²，手都～□ ju¹ 出血了。(她縫補衣服，手也被刺出血了。)

5. 相因

價格便宜。如：

¹¹ 不付出，白吃。

¹² □ niao¹衣服，即手工縫補衣服。

買斤斤子～點兒，划得來。（一斤一斤地買便宜一些，划算。）

這起布～是～，洗幾水就爛□ ua¹□ ua¹的了。（這種布的確便宜，可是洗幾次就破破爛爛的了。）

～點嘛，我給你多買幾斤。（便宜點吧，我多買幾斤。）

6. 把細

仔細，細心。認真思考。如：

他做事情多～的，看准了才動手。（他做事情挺仔細的，看准了才動手。）

你要～點兒哦，這個爛攤子□ tang¹不得哈。（你要想好了，這個爛攤子可不能接手。）

7. □ uai³

騙人的，不可靠的。如：

這個公司好～哦，開業莫得幾天就黃¹³了。（這個公司不可靠，開業沒有幾天就破產了。）

這才是～貨呢，穿不倒幾天就爛洞洞了。（這可真是水貨，沒穿幾天就漏洞了。）

第 6 課 市場買菜

A: 你看，菜市場的菜好安逸。

Gni³ kan⁴, tsai⁴ si⁴ tsang² ni¹ tsai⁴ hao³ ngan¹ i⁴ 。

B: 白菜嫩齜齜的，青菜青乎乎的，南瓜黃□ sang³□ sang³的……

Be² tsai⁴ nen⁴ dong¹ dong¹ ni¹, qin¹ tsai⁴ qin¹ fu¹ fu¹ ni¹, nan² gua¹
huang² sang³ sang³ ni¹ ……

成都的蔬菜是還是巴適。

Tsen² du¹ ni¹ su¹ tsai⁴ si⁴ hai² si⁴ ba¹ si⁴ 。

A: 你又在那兒抒情了哈。還是搞快點兒，買了回家做飯。

Gni³ iou⁴ dzai⁴ ner¹ su¹ qin² no² ha³ 。

Hai² si³ gao³ kuai⁴ dier³, mai³ no² hui² jia¹ dzu⁴ fan⁴ 。

¹³ 黃，此處作動詞，指事情破敗或者公司破產。

肚子都餓□ bia³了。

Du⁴ dzi³ dou¹ o⁴ bia³ no²。

B:我過去買點芫荽，回家吃豆花兒。

Ngo³ go⁴ qie¹ mai³ dien³ üan² xu¹, hui² jia¹ tsi² dou⁴ huer¹。

A:要得，我包包頭有角角子，你拿去用。

Iao⁴ de², ngo³ bao¹ bao¹ tou² iou³ jio² jio¹ dzi³, gni³ na² qie⁴ iong⁴。

B:買好多喃？

Mai³ hao³ do¹ nan¹?

A:他要是賣把把子，你買一把就夠了。

Ta¹ iao⁴ si⁴ mai⁴ ba³ ba² dzi³, gni³ mai³ i² ba³ jiou⁴ gou⁴ no²。

B:曉得了，你在這邊等倒起，我馬上就回來哈。

Xiao³ de² no², gni³ dzai⁴ dze⁴ bien¹ den³ dao³ qi³, gno³ ma³ sang⁴
jiou⁴ hui² nai² ha⁴。

詞彙·語法

1. 好

形容詞前面的“好”用着程度副詞，相當於普通話的“很”、“多”。詳見論文部分。

那個女娃子長得～蘇氣哦。（那個女孩兒長得真漂亮。）

屋頭開了空調，～熱和（ze² ho¹）哦。（屋裏開了空調，多暖和啊。）

我等了～久，他才慢拖拖地過來了。（我等了很久，他才慢悠悠地過來了。）

2. 嫩嫰嫰

形容十分細嫩的樣子。常用於蔬菜。

蘿蔔（no² bu⁴）剛上市，～的，多好吃的。（蘿蔔剛上市，嫩嫩的，挺好吃的。）

3. 黃□ sang³□ sang³

金黃，視覺上給人舒服的感覺的黃色。

收割的季節，田頭一遍(pien⁴) ～的，好漂亮哦。(收割的季節，田裏一遍金黃，好美啊。)
新出來的包穀，～的，好逗人愛哦。(新出來的玉米，金黃金黃的，好讓人喜歡啊。)

4. 巴適

基本的意思是“好”，在不同的語言環境下稍有變異。

1) 合適

他長得伸抖(tsen¹ tou³)，穿這件衣服絕對～。(他長得好，穿這件衣服一定合適。)

2) 妥帖

她把工作安排～了才回家。(她把工作安排好了才回家。)

3) 舒服

這床蓆夢思睡起來才～。 (這床蓆夢思睡起來才舒服。)

5. □ bia³

即“扁”。如：

盤盤掉下去，摔～了。(盤子掉下去，摔扁了。)

饅頭沒有發起來，～踏踏的。(饅頭沒有發起來，扁扁的。)

皮球破了個洞，～下去了。(皮球破了個洞，癟了。)

6. 要得

表示對對方的意見贊同。

～，我聽你的。(好的，我聽你的。)

～，我們跟倒你走。(好的，我跟你走。)

7. 角角子

即以角為單位的錢。

我沒有帶塊塊子，只帶得有角角子和分分子。(我沒有帶元面額的，只帶了角和分面額的錢。)

帶點角角子好買車票。(帶些零錢好買車票。)

8. 好多

疑問詞，相當於普通話的“多少”。如：

～人去聽報告了嘛？（多少人去聽報告了呢？）

一天要上～小時的班才得行？（一天要上多少小時的班才可以？）

那回子給你的本本還剩得有～？（上次給你的本子還剩多少？）

銀行頭的利息上升了～喃？（銀行的利息上升了多少呢？）

9. 把把子

即以“把”為單位。類似這樣的說法還有“堆堆子”（以“堆”為單位），“斤斤子”（以“斤”為單位）等。如：

把韭菜割下來，捆成把把子。（把韭菜割下來，捆成一把一把的。）

那兒跟先¹⁴的洋芋賣堆堆子。（那邊的土豆是數堆賣的。）

攤攤上的蘋果是賣斤斤子，超市頭是賣個個子。（攤上的蘋果是稱斤賣，超市裏是論個賣。）

10. 曉得

知道、明白的意思。

那個娃娃天到黑伙倒¹⁵外先的人耍，不～學習。（那個孩子整天跟著外面的人一起玩，不知道學習。）

莫得人～他□ dzua⁴子¹⁶辭職了。（沒有人知道他為什麼辭職了。）

～的哦，你問我，我問哪個呢。（誰知道啊，你問我，我問誰啊。）

這個娃娃腦殼靈光¹⁷，啥子都～。（這個孩子腦子聰明，什麼都知道。）

11. V 倒起

與“V 倒”基本可以換用，相當於普通話的“V 着”。語氣比“V 倒”稍有加強，多用

¹⁴ 即那裏，那邊。

¹⁵ 伙同、與……一起。

¹⁶ “做啥子”連讀而成，即“為什麼”的意思。

¹⁷ 聰明，靈活。

於祈使句。

坐～，莫要□ niou⁴。（坐着，別亂動。）

把盆盆端～，我要往裏頭倒水。（把盆子端着，我要往裏面倒水。）

趴～，危險！（伏下來，危險！）

□ gu¹～，看拿給別個看到。（蹲着，別讓人看見。）

第7課 天氣預報

A: 這段時間雨兮兮的，外頭焦濕。

Dze⁴ duan⁴ si² jien¹ ü³ xi¹ xi¹ ni¹, uai⁴ tou¹ jiao¹ si² 。

洗的□ ba⁴單還□ nang⁴在屋頭，濕鮮鮮的，

Xi³ ni¹ ba⁴ dan¹ hai² nang⁴ dzai⁴ u² tou¹, si² dza³ dza³ ni¹ 。

再接倒下□ se³(se⁴)，就惱火了。

Dzai⁴ jie² dao³ xia⁴ se³(se⁴), jiou⁴ nao³ ho³ no³ 。

B: 我將將看了天氣預報

Ngo³ jiang¹ jiang¹ kan⁴ no² tien¹ qi⁴ ü⁴ bao⁴ 。

說是今天不得下了，雨轉晴。

So² si⁴ jin¹ tien¹ bu² de² xia⁴ no², ü³ dzuan³ qin² 。

明天是大太陽。

Min² tien¹ si⁴ da⁴ tai⁴ iang² 。

萬後天才得轉陰。

Uan⁴ hou⁴ tien¹ tsai² de² dzuan³ in¹ 。

A: 要洗的東西一抹多

Iao⁴ xi³ ni¹ dong¹ xi¹ i² mo³ do¹ 。

趕緊洗了，明天拿出去□ nang⁴起。

Gan³ jin³ xi³ no², min² tien¹ na² tsu² qie¹ nang⁴ qi³ 。

B: 天氣預報只是預報哈

Tien¹ qi⁴ ü⁴ bao⁴ dzi³ si⁴ ü⁴ bao⁴ ha³ 。

還是等明天真的晴了嘞。

Hai² si⁴ den³ min² tien¹ dzen¹ ni¹ qin² no² do¹

詞彙·語法

1. 雨兮兮

總是下雨，天不放晴，陰冷的樣子。

成都冬天雨水多，經常都是～的。

2. 焦

部分形容詞的前綴，表示程度高，相當於“十分”、“非常”。

吃煙吃得牙齒～黃。（抽煙吃得牙齒很黃。）

這種葯～苦。（這種葯非常苦。）

莫得水，餅餅又～乾，吞不下去。（沒有水，餅又很乾，吞不下去。）

3. □ ba⁴單

□ ba⁴單即床單。□ ba⁴用作作動詞時，相當於普通話的“鋪”。如：

在地板上□ ba⁴了一塊涼席睡覺。（在地板上鋪了一塊涼席睡覺。）

床上□ ba⁴了羊毛毯子，多熱和的。（床上鋪了羊毛毯子，挺暖和的。）

4. □ nang⁴

把衣服放到太陽下或者通風處，使其曬乾。

把盆盆頭的衣服拿出去～起。（把盆裏的衣服拿出去曬上。）

把毛巾～乾。（把毛巾曬乾。）

5. 惱火

麻煩，讓人頭疼。

條條款款這們多，記起來好～哦。（條款這麼多，記起來好頭疼啊。）

今年畢業生多，找工作肯定～。（今年畢業生多，找工作肯定挺難。）

6. 將將

剛才，剛剛。

這邊～煞角 (sa² go²)¹⁸，那邊也整巴適了。(這邊剛完事，那邊也做好了。)

他兩個角逆 (go² nie²)¹⁹，～才說了他們，這哈兒又吵起來了。(他們倆鬧矛盾，剛批評了他們，這會兒又吵起來了。)

7. 不得

相當於普通話的“不會”。

臘肉放冰箱頭就～□ (ha¹)²⁰。(臘肉放冰箱裏就不會變味。)

把細點兒就～出問題。(謹慎些就不會出問題。)

拿個鎖針別起，就～認拐。(拿顆別針別上，就不會認錯。)

這起料子～起毛。(這種布料不會起毛。)

8. 大太陽

大晴天。

今天～，洗的衣服一哈兒就乾了。(今天大晴天，洗的衣服一會兒就乾了。)

9. 萬後天

後天的次日。大後天。

今天星期一，～星期四。

10. 一抹多

形容數量多。

操場壩壩頭圍～人，干啥子哦？(操場上圍挺多人，在做什麼呢？)

問題～，咋個解決哦。(問題一大堆，怎麼解決阿。)

¹⁸ 事情完成、完了、結束。

¹⁹ 互相爭執，打架吵嘴，鬧矛盾。

²⁰ 油或含油食物放久變味。

11. 哆

語氣助詞，用於陳述句的句末，相當於普通話的“……再說”。

莫急，等我吃了飯～。（別着急，等我吃了飯再說。）

你先走，我把作業做完了～。（你先走，我把作業做完了再說。）

第 8 課 碼不實在

A: 剛才走過去的那個人□ qio³ 了你好幾眼。

Gang¹ tsai² dzou³ go⁴ qie¹ ni¹ na⁴ go⁴ zen² qio³ no² gni³ hao³ ji³
ien³ 。

是不是熟人？

Si⁴ bu² Si⁴ su² zen² ?

B: 哪哈兒？

Na³ her¹ ?

A: 街簷邊站倒的那個人。

Gai¹ ien² bien¹ dzan⁴ dao³ ni¹ na⁴ go⁴ zen² 。

你看，他車過來了。

Gni³ kan⁴, ta¹ tse¹ go⁴ nai² no² 。

手上還□ dia¹ 倒一個塑料袋袋。

Sou³ sang⁴ hai² dia¹ dao³ i² go⁴ su⁴ niao⁴ dai⁴ dai¹ 。

B: 哦，是眼熟，

O², si⁴ ien³ su²,

像是我們小學的同學。

Qiang⁴ si⁴ o³ men¹ xiao³ xio² ni¹ tong² xio² 。

A: 那你跟別個打個招呼嘛。

Na⁴ gni³ gen¹ bie² go⁴ da³ go⁴ dzao¹ fu¹ ma² 。

B: 道像不像的，碼不實在。

Dao⁴ qiang⁴ bu² qiang⁴ ni¹, ma³ bu² si² dzai⁴ 。

搞錯了不好意思。

Gao³ tso⁴ no² bu² hao³ i⁴ si¹。

A: 不存在，打個招呼無所謂嘛。

Bu² tsen² dzai⁴, da³ go⁴ dzao¹ fu¹ u² so³ uei⁴ ma²。

詞彙·語法

1. 碼不實在

心裏沒有數，不能確定。

這附近我不咋個來，有點～，打不倒方向。（這附近我不怎麼來，心裏沒數，找不倒方向。）

上課打廣子²¹了，這道題我還真的有點～。（上課沒認真聽，這道題我還真是心裏沒數。）

2. □ qio³

1) 看。

你幫我～倒攤攤，我去解個手²²。（你幫我看着，我去上廁所。）

你～倒他，有啥子新情況就給我說。（你看着他，有什麼新情況就告訴我。）

2) 偷看。

你巴倒門縫～啥子。（你貼着門縫偷看什麼呢？）

考試的時候，不要～別個的卷子。（考試的時候，不要偷看別人的卷子。）

3. 側（dze²）邊

旁邊的意思。

駕駛員位子在前頭，我坐駕駛員的～。（司機坐位在前頭，我坐司機的旁邊。）

樹～栽了個電線樁樁。（樹的旁邊立了根電線竿。）

注意倒包包，～有摸跟兒。（注意包，旁邊有小偷。）

²¹ 心不在焉，開小差

²² 解手，即上廁所。

4. □ tse¹

動詞，轉身的意思。常寫作“車”。

他～過來就跑了。（他轉身就跑了。）

他～過來，丟了個紙坨坨給我。（他轉過身來，扔了一個紙團給我。）

他～過去～過來的，老在那兒□ niou⁴。（他轉過來轉過去的，老在那兒亂動。）

5. □ dia¹

動詞，相當於普通話的“提”、“拎”。

太重了，我一個人～不起。

正月初二，我們～了好多東西去拜年。（正月初二，我們拎了好多東西去拜年。）

6. 別個

別人，人家。根據語境，可以指自己，也可以指他人。

才將將上班，就要喊別個請客啊？（剛剛才上班，就要我請客啊？）

你也要理解他，別個也有別個的困難。（你也要理解他，他也有他的困難。）

7. 道像不像

說像，又覺得不像；說不像，又覺得像。類似的說法還有“道熱不熱”、“道苦不苦”等。

這個天氣道熱不熱的，不好穿衣服。（這天氣說熱不熱，說冷不冷的，不好穿衣服。）

這種菜道苦不苦的，不曉得咋個吃。（這種菜說苦呢，不是很苦，說不苦呢，又有點苦，不知道怎麼吃。）

他說得道像不像的，不曉得是不是在扯把子。（他說得又像又不像，不知道是不是假的。）

8. 不存在

禮貌用語，相當於普通話的“沒關係”。

A: 謝了哈！把你忙安逸了。（謝謝了，把你忙坏了。）

B: ～，有事再聯係。（沒關係，有事再聯係。）

第9課 展言子

A: 你們成都人說的展言子是啥子喃?

Gni² men¹ tsen² du¹ zen² so² ni¹ dzan³ ien² dzi³ si⁴ sa⁴ dzi³ nan¹?

B: 展言子就是說話的時候講幾句歇後語

Dzan² ien² dzi³ jiou⁴ si⁴ so² hua⁴ ni¹ si² hou⁴ jiang³ ji³ ju⁴ xie²
hou⁴ ü³,

等你去猜去想,

Den³ gni³ qie⁴ tsai¹ qie⁴ xiang³。

心領神會, 獲得樂趣。

Xin¹ nin³ sen² hui⁴, ho² de² no² qu⁴。

比如說, 事情沒有落實,

Bi² zu² so², si⁴ qin² mei¹ iou¹ no² si²,

就說“癩格寶吃豇豆——懸吊吊的”,

Jiou⁴ so² “nai⁴ ge² bao³ tsi² jiang¹ dou⁴—xuan² diao⁴ diao⁴ ni¹”,

說話離譜, 就說“吃包穀面打呵欠——開黃腔”,

So² hua⁴ ni² pu³, jiou⁴ so² “tsi² bao¹ gu² mien⁴ da³ ha¹ qien⁴—kai¹
huang² qiang¹”

兩邊討好, 就說“菜刀打豆腐——兩面光生”

Niang³ bien¹ tao³ hao³, jiou⁴ so² “tsai⁴ dao¹ da³ dou⁴ fu³—niang³ mien⁴
guang¹ sen¹”。

A: 我也曉得幾個。

Ngo³ ie³ xiao³ de² ji³ go⁴。

場背後下雨——該(街)背時。

Tsang² bei⁴ hou¹ xia⁴ ü³—gai¹ (gai¹) bei⁴ si²。

燈草無油——枉費心(芯)。

Den¹ tsao³ u² iou² — uang³ fei⁴ xin¹ (xin¹)。

矮子過河——安(淹)了心。

Ngai³ dzi³ go⁴ ho²—ngan¹ (ngan¹) no² xin¹。

B:對對對。這樣子的說法,

Dui⁴ dui⁴ dui⁴ 。 dze⁴ iang⁴ dzi³ ni¹ so² fa²,

是“和尚敲木魚——多多多”。

Si⁴ “ho² sang⁴ kao¹ mu² ü²—do¹ do¹ do¹”。

詞彙·語法

1. 等

放任。

～他耍，反正還沒開學。(讓他玩，反正還沒開學。)

“說得輕巧，拿根燈草”，～他自己做來看。(“說得輕巧，拿根燈草”，讓他自己做來看。)

掇(zua²)了面²³ 過後放倒起，～它二次發酵。(揉了麵以後，放着，讓它二次發酵。)

2. 癩格竇

又叫癩蛤蟆，學名蟾蜍。

3. 懸吊吊

放心不下，很擔憂的樣子。

曉得畢得倒業不，心頭～的。(不知道能不能畢業，心裏忐忑不安。)

事情沒咋個辦好，～的。(事情沒怎麼辦好，挺擔心的。)

4. 開黃腔

胡說八道。

那個老幾²⁴ 說話淨是～。(那個傢伙淨是胡說八道。)

他才是～呢，說法國的首都是倫敦。(他才是胡說八道呢，說法國的首都是倫敦。)

²³ 掇面，即和麵，揉麵。

²⁴ 老幾，對人不尊敬的稱呼。

5. 光生

形容很乾淨的的樣子。

她在家把屋頭打整得多～的。（她在家把屋裏打掃得挺乾淨的。）

杯杯頭有茶□ gan⁴□ gan¹，你把它擦～哈。（杯子裏有茶垢，你把它擦乾淨。）

6. 背時

倒黴。“該背時”是罵語，即“活該”，“該倒黴”。

哪個都有背時的時候。（誰都有倒黴的時候。）

該背時，他就是這樣大而化之的，才會把鑰匙丟了。（該他倒黴，他總是這樣粗心大意，才會把鑰匙丟了。）

他□ tai¹了人家好多包袱²⁵哦，總有一天會背時的。（他收了人家好多包袱，總有一天會倒黴的。）

第 10 課 新款手機

A: 這個手機我摸了半天，硬是摸不倒火門兒。

Dze⁴ go¹ sou³ ji¹ ngo³ mo¹ no² ban⁴ tien¹, ngen⁴ si⁴ mo¹ bu² dao³
ho² men²。

B: 這款新的是帶相機的。

Dze⁴ kuan³ xin¹ ni¹ si⁴ dai⁴ xiang⁴ ji¹ ni¹。

拍得起照片，錄得起像，

Pe² de² qi³ dzao⁴ pien⁴, nu² de² qi³ xiang⁴,

還可以上網，聽 MP3。

Hai² ko³ i³ sang⁴ wang³, tin¹ e¹ mong² pi³ san¹。

A: 我就諳倒是多功能的。

Ngo³ jiou⁴ ngan² dao³ si⁴ do¹ gong¹ nen² ni¹。

²⁵ □tai¹包袱，即受取他人物品。

現在的手機，板眼兒是還是多。

Xien⁴ dzai⁴ ni¹ sou² ji¹, ban³ ier³ si⁴ hai² si⁴ do¹。

B: 現在就興多功能。

Xien⁴ dzai⁴ jiou⁴ xin¹ do¹ gong¹ nen²

A: 整我們老年人冤枉哦，

Dzen³ ngo³ men¹ nao² gnien² zen² üan¹ uang³ o² ,

我看以後用手機都要上培訓班了。

Ngo³ kan⁴ i³ hou⁴ iong⁴ sou² ji¹ dou¹ iao⁴ sang⁴ pei² xun⁴ ban¹
no² 。

B: 其實跟你的小靈通也差不多。

Qi² si² gen¹ gni³ ni¹ xiao² nin² tong¹ ie³ tsa¹ bu² do¹ 。

等哈兒我給你培訓一下哈。

Den³ her¹ ngo³ ge¹ gni³ pei² xun⁴ i² ha⁴ 。

詞彙· 語法

1. 硬是

1) 確實，的確。

“麻辣燙”²⁶~好吃。(“麻辣燙”確實好吃。)

這個娃娃，~乖。(這個孩子，真是可愛。)

2) 無論如何，也(不)……

請了好幾道了，他~不去。(請了好幾道了，他無論如何也不去。)

這個題，我~做不出來。(這個題，我無論如何也做不出來。)

2. V 得起

相當於普通話的“能”。

東西不多，我一個人也□dia¹~。(東西不多，我一個人也能提。)

²⁶ 一種四川火鍋名。

房價漲得快，現在不買，二天買～啥子。（房價漲得快，現在不買，以後能買麼。）
這陣腳杆不痛了，走～了。

3. 諳倒

猜想，估計。

～下午要下雨，他買了把傘回來。（估計下午要下雨，他買了把傘回來。）

～老師不考這課，結果按□biao¹了。（估計老師不考這課，結果壓題壓偏了。）

4. 板眼兒

花招，主意，名堂。

他～多，鬼得很。（他花樣多，挺鬼）

公司的～才多呢，交了這樣費，又交那樣費。（公司的名堂才多呢，交了這樣費，又交那樣費。）

5. 是還是

的確，確實。

別個幫倒買的衣服～大了，穿不得。（別人幫買的衣服的確大了，穿不了。）

他～不會學，考試又是咗鴨子²⁷。（他的確不會學，考試又排在最後。）

上了年紀身體～不比以前，天到黑都是萎□so¹□so¹的。（上了年紀身體的確不比以前，整天萎靡不振的。）

7. 整冤枉

故意讓別人失敗，蒙受損失。捉弄人。

這才是整我們冤枉呢，多遠來開會，結果人都莫得。（這真是捉弄弄人呢，老遠來開會，結果沒有人。）

喊病殼殼去干重活，這才是整人家冤枉哦。（讓身體不好的人去干重活，真是捉弄人。）

²⁷ 咗鴨子，即排名靠後。

8. 小靈通

僅限於市區內用，價錢較為低廉手機。

～是還是不方便，出了城就撥不通了。（小靈通是還是不方便，出了城就撥不通了。）

第 11 課 談 喝 茶

A: 成都人喜歡喝茶嘍？

Tsen² du¹ zen² xi³ huan¹ ho¹ tsa² ga³ ?

B: 是的，人家不是說成都“頭上晴天少，眼前茶館多”啊。

Si⁴ ni¹, zen² jia¹ bu² si⁴ so² tsen² du¹ “tou² sang⁴ qin² tien¹ sao³, ien³ qien² tsa² guan³ do¹” a¹。

還有句俗話：清早開門七件事，油鹽柴米醬醋茶。

Hai² iou³ ju⁴ su² hua⁴ : qin¹ dzao³ kai¹ men² qi² jien⁴ si⁴, iou² ien² tsai² mi³ jiang⁴ tsu⁴ tsa²。

你看，成都人只有那們喜歡喝茶了。

Gni³ kan⁴, tsen² du¹ zen² dzi³ iou³ na⁴ men¹ xi² huan¹ ho¹ tsa² no²。

A: 咋個那們喜歡喝茶喃？

Za² go⁴ na⁴ men¹ xi³ huan¹ ho¹ tsa² nan¹ ?

B: 四川人都喜歡吃花椒阿海椒這些刺激性的東西，

Si⁴ tsuan¹ zen² xi³ huan¹ tsi² hua¹ jiao¹ a¹ hai³ jiao¹ dze⁴ xi¹ tsi⁴ ji² xin⁴ ni¹ dong¹ xi¹,

茶可以緩減過渡刺激。

Tsa² ko³ i³ huan³ jien³ go⁴ du⁴ tsi⁴ ji²。

A: 那“談三花”又是啥子意思喃？

Na⁴ “tan² san¹ hua¹” iou⁴ si⁴ sa⁴ dzi³ i⁴ si¹ nan¹?

B: 早先成都流行一種三級花茶，

Dzao² xien¹ tsen² du¹ niou² xin² i² dzong³ san¹ ji¹ hua¹ tsa²,

相因又經泡，大家都喜歡。

Xiang¹ in¹ iou⁴ jin¹ pao⁴, da⁴ jia¹ dou¹ xi³ huan¹ 。

後頭就成了茶的代名詞了。

Hou⁴ tou¹ jiou⁴ tsen² no² tsa² ni¹ dai⁴ min² tsi² no² 。

“談三花”就是喝茶聊天的意思。

“Tan² san¹ hua¹”jiou⁴ si⁴ ho¹ tsa² niao² tien¹ ni¹ i⁴ si¹ 。

A: 說倒這兒，我也想喝茶了。

So² dao³ dzer¹, ngo³ ie³ xiang³ ho¹ tsa² no² 。

我去燒一點兒鮮開水，泡杯子釀茶哈。

Ngo³ qie⁴ sao¹ i² dier³ xuan¹ kai¹ sui³, pao⁴ bei¹ nien⁴ tsa² ha³ 。

詞彙·語法

1. 嘎

詳見論文部分說明。這裡是表示確認、徵求對方意見的語氣，相當於普通話的“是吧，對吧”。如：

這間(gan¹)屋子比那間亮□(sao⁴)²⁸~。(這間屋子比那間亮，對吧?)

分給你的活路²⁹做歸一³⁰了~。(分給你的工作做完了，是吧?)

你轉來的時候，他還在~。(你回家的時候，他還在，對吧?)

2. 只有那們……

表示程度很高，沒有比這個程度更高的了。

他~歪³¹了，哪個都不敢惹他。(沒有比他更兇狠、霸道的了，誰都不敢惹他。)

洞子口的牛肉乾~好吃了。(洞子口的牛肉乾太好吃了。)

²⁸ 明亮。

²⁹ 工作。

³⁰ 完了，結束。

³¹ 指人厲害，兇狠，霸道。

他正式場合還穿得花古矜當的，～瓜了。（他正式場合還穿得花裏胡哨的，太傻了。）

3. 早先

以前，原來。

～他在廠頭做活路的時候我們就認得倒了。（原來他在廠裏幹活的時候我們就認得了。）

～我摔（*dzuai*¹）倒過，克膝頭兒³²還留得有個疤疤。（以前我摔倒過，膝蓋還留有疤痕。）

4. 經泡

即耐泡。“經”還可以和其他一些動詞、形容詞搭配，如：

這雙鞋（*hai*²）子經穿，多久都不爛。（這雙鞋經穿，好久都不爛。）

這件衣服經髒。（這件衣服耐髒（不容易髒）。）

麵包不經餓。（吃麵包不耐餓。）

5. 鮮開水

沸騰的開水。

～泡茶最好。（高溫的開水泡茶最好。）

腳着～燙出泡兒了。（腳被熱開水燙出泡兒了。）

6. 醞

形容液體的濃度大。

喝了～咖啡，精神得很。（喝了濃咖啡，挺精神的。）

茶泡得好～哦，焦苦。（茶泡得太濃了，特苦。）

³² 膝蓋。

付録4 《華英聯珠分類集成》(第一課～第十九課)¹

第一課

開門

第一題 先生開門

1. 先生在書房裏坐倒(先生在書房頭 tou²坐倒)

Xien¹ sen¹ dzai⁴ su¹ fang² ni³ dzo⁴ dao³

2. 聽倒有人敲門

Tin¹ dao³ iou³ zen² kao¹ men²

3. 把身子站起來(站起身子來)

Ba³ sen¹ dzi³ dzan⁴ qi³ nai²

4. 走向門去(朝 tsao²門口走去)

Dzou³ xiang⁴ men² qie⁴

5. 挨攏門背後

Ngai¹ nong³ men² bei⁴ hou¹

6. 走攏門背後(朝門背後走去)

Dzou³ nong³ men² bei⁴ hou¹

7. 站在門背後(站倒門背後)

Dzan⁴ dzai⁴ men² bei⁴ hou¹

8. 把手伸起

Ba³ sou³ tsen¹ qi³

9. 把車轉拿着(把把手拿倒)

Ba³ tse¹ dzuan⁴ na² dzo²

10. 把車轉扭一下(把把手扭了 no²一下)

Ba³ tse¹ dzuan⁴ gniou³ i² ha⁴

¹ 括弧内の文は現代成都方言の言い方である。なお、注音は現代成都方言の発音によるものである。

11. 把門扯開

Ba³ men² tse³ kai¹

12. 門向裏頭轉

Men² xiang⁴ ni³ tou² dzuan³

13. 門靠着飾界轉 (門靠倒飾界轉)

Men² kao⁴ dzo² si⁴ jien⁴ dzuan³

14. 先生把手丟開

Xien¹ sen¹ ba³ sou³ diou¹ kai¹

開 門 大 吉

Kai¹ men² da⁴ ji²

第二課

早 晨

第一題 早晨起來

1. 先生將纔睡醒了

Xien¹ sen¹ jiang¹ tsai² suei⁴ xin³ no²

2. 吒開口打呵噎 (麥 dza¹ 開嘴 dzuei³ 巴 ba¹ 打呵噎)

Dza¹ kai¹ kou³ da³ ho¹ hai⁴

3. 把眼睛揉一下 (把眼睛揉了一下)

Ba³ ian³ jin¹ zou² i² ha⁴

4. 把身子翻過來

Ba³ sen¹ dzi³ fan¹ go⁴ nai²

5. 把頭抬起
Ba³ tou² tai² qi³
6. 看鍾走到六點了
Kan⁴ dzong¹ dzou³ dao³ nu²/niou² dien³ no²
7. 先生把身子坐起來（先生坐起身子來）
Xien¹ sen¹ ba³ sen¹ dzi³ dzo⁴ qi³ nai²
8. 把鋪蓋蕭開
Ba³ pu¹ gai⁴ xiao¹ kai¹
9. 把罩門拿着（把罩門拿倒）
Ba³ dzao⁴ men² na² dzo²
10. 把罩門分開
Ba³ dzao⁴ men² fen¹ kai¹
11. 把罩門掛在罩鈎上（把罩門掛倒罩鈎上）
Ba³ dzao⁴ men² gua⁴ dzai⁴ dzao⁴ gou¹ sang⁴
12. 把雙足伸下來（把兩只腳 jo² 伸下來）
Ba³ suang¹ dzu² tsen¹ xia⁴ nai²
13. 把雙足放下地（把兩只腳放倒地上）
Ba³ suang¹ dzu² fang⁴ xia⁴ di⁴
14. 把鞋穿起（把鞋子 dzi³ 穿起）
Ba³ hai² tsuan¹ qi³
15. 把身子立起（站起來）
Ba³ sen¹ dzi³ ni² qi³
16. 伸懶腰
Tsen¹ nan³ iao¹

早 起 三 朝 當 一 工

Tsao³ qi³ san¹ dzao¹ dang⁴ i² gong¹

第三課

上 油

第一題 打雜的上油在鑽子里

1. 燈檫子上有油鑽子
Den¹ dzo² dzi³ sang⁴ iou³ iou² guan⁴ dzi³
2. 壁頭上掛得有油敞子
Bi² tou¹ sang⁴ gua⁴ de² iou³ iou² tsang³ dzi³
3. 打雜的走到燈檫子去 (打雜的走倒燈檫子那 na⁴ 邊 bien¹ 去)
Da³ dza² ni¹ dzou³ dao³ den¹ dzo² dzi³ qie³
4. 取下壁頭上掛的敞子
Qu³ xia⁴ bi² tou¹ sang⁴ gua⁴ ni¹ tsang³ dzi³
5. 把油鑽的蓋子揭開
Ba³ iou² guan⁴ ni¹ gai⁴ dzi³ jie² kai¹
6. 把敞子插在油鑽內 (把敞子插倒油鑽鑽裏 ni³ 頭 tou²)
Ba³ tsang³ dzi³ tsa² dzai⁴ iou² guan⁴ nuei⁴
7. 把油鑽子拿起 (把油鑽鑽拿起)
Ba³ iou² guan⁴ dzi³ na² qi³
8. 把身子口 gou¹ 倒
Ba³ sen¹ dzi³ gou¹ dao³
9. 把油鑽子放在地上 (把油鑽鑽放倒地上)
Ba³ iou² guan⁴ dzi³ fang⁴ dzai⁴ di⁴ sang⁴
10. 檫子底下有一桶子油
Dzo² dzi³ di³ xia² iou³ i² tong³ dzi³ iou²
11. 打雜的用左手把油桶子環環拿着 (打雜的用左手把油桶 tong³ 桶 tong² 環 huan² 環 huan¹ 拿倒)
Da³ dza² ni¹ iong⁴ dzo³ sou³ ba³ iou² tong³ dzi³ huan² huan¹ na² dao²

12. 把油桶子提過來 (把油桶桶提過來)
Ba³ iou² tong³ dzi³ ti² go⁴ nai²
13. 把右手放在油桶子底下 (把右手放倒油桶桶底下)
Ba³ iou⁴ sou³ fang⁴ dzai⁴ iou² tong³ dzi³ di³ xia²
14. 把油桶子擱倒 (把油桶桶擱倒)
Ba³ iou² tong³ dzi³ tsou¹ dao³
15. 把油倒進敞子內 (把油倒進敞子頭)
Ba³ iou² dao⁴ jin⁴ tsang³ dzi³ nuei⁴
16. 把鑊子上滿油 (把鑊鑊上滿油)
Ba³ guan⁴ dzi³ sang⁴ man³ iou²
17. 把油桶子提端正 (把油桶桶提端正)
Ba³ iou² tong³ dzi³ ti² duan¹ dzen⁴
18. 把右手伸開
Ba³ iou⁴ sou³ tsen¹ kai¹
19. 把油桶子擱在檯子底下 (把油桶桶擱倒檯子底下)
Ba³ iou² tong³ dzi³ ko¹ dzai⁴ dzo² dzi³ di³ xia²
20. 把油鑊子敞子拿倒 (把油鑊鑊敞子拿倒)
Ba³ iou² tong³ dzi³ tsang³ dzi³ na² dao³
21. 把身子立伸 (站伸)
Ba³ sen¹ dzi³ ni² tsen¹
22. 把油鑊子敞子擱在檯子上 (把油鑊鑊敞子擱倒檯子上)
Ba³ iou² tong³ dzi³ tsang³ dzi³ ko¹ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴

春 雨 貴 如 油

Tsun¹ ü³ guei⁴ zu² iou²

第四課

上 油

第二題 把油上在燈裏頭

1. 打雜的走到客堂去

Da³ dza² ni¹ dzou³ dao³ ke² tang² qie⁴

2. 把燈拿起

Ba³ den¹ na² qi⁴

3. 把燈端到燈檯子去 (把燈端倒燈檯子那 na⁴ 邊 bien¹ 去)

Ba³ den¹ duan¹ dao³ den¹ dzo² dzi³ qie⁴

4. 把燈放在燈檯子上 (把燈放倒燈檯子上)

Ba³ den¹ fang⁴ dzai⁴ den¹ dzo² dzi³ sang⁴

5. 把燈罩子取下來

Ba³ den¹ dzao⁴ dzi³ qu³ xia⁴ nai²

6. 把罩子放在檯子上 (把罩子放倒檯子上)

Ba³ dzao⁴ dzi³ fang⁴ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴

7. 把玻璃筒筒取脫

Ba³ bo¹ ni² tong² tong¹ qu³ to²

8. 把筒筒擱在外罩內 (把筒筒擱倒外罩頭)

Ba³ tong² tong¹ ko¹ dzai³ uai⁴ dzao⁴ nuei⁴

9. 把螺絲轉車脫

Ba³ no² si¹ dzuan⁴ tse¹ to²

10. 把螺絲轉放在檯子上 (把螺絲轉放倒檯子上)

Ba³ no² si¹ dzuan⁴ fang⁴ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴

11. 把油敞子拿起

Ba³ iou² tsang³ dzi³ na² qi³

12. 把油敞子插在燈眼裏頭 (把油敞子插倒燈眼裏頭)

Ba³ iou² tsang³ dzi³ tsa² dzai⁴ den¹ ian³ ni³ tou²

13. 把鑊子拿起

- Ba³ guan⁴ dzi³ na² qi³
14. 把油鑊子嘴嘴擱在敞子邊邊 (把油鑊鑊嘴嘴擱倒敞子邊邊上)
Ba³ iou² guan⁴ dzi³ dzuei³ dzuei² ko¹ dzai⁴ tsang³ dzi³ bien¹ bien¹
15. 把油鑊子側起
Ba³ iou² guan⁴ dzi³ tse² qi³
16. 把油倒進敞子去
Ba³ iou² dao⁴ jin⁴ tsang³ dzi³ qie⁴
17. 把燈上滿油
Ba³ den¹ sang⁴ man³ iou²
18. 他把油鑊子放在檯子上 (他把油鑊鑊放倒檯子上)
Ta¹ ba³ iou² guan⁴ dzi³ fang⁴ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴
19. 把油敞子提出來
Ba³ iou² tsang³ dzi³ ti² tsu² nai²
20. 把敞口筒子放在燈眼上 (把敞口筒筒放倒燈眼上)
Ba³ tsang³ kou³ tong² dzi³ fang⁴ dzai⁴ den¹ ian³ sang⁴
21. 等油滴幹
Den³ iou² di² gan¹
22. 把油敞子掛在壁頭上 (把油敞子掛倒壁頭上)
Ba³ iou² tsang³ dzi³ gua⁴ dzai⁴ bi² tou¹ sang⁴
23. 把螺絲轉拿起
Ba³ no² si¹ dzuan⁴ na² qi³
24. 把螺絲轉安在燈眼上 (把螺絲轉安倒燈眼上)
Ba³ no² si¹ dzuan⁴ ngan¹ dzai⁴ den¹ ian³ sang⁴
25. 把螺絲轉車緊
Ba³ no² si¹ dzuan⁴ tse¹ jin³

滿 而 不 溢

Man³ er² bu² i⁴

第五課

上 油

第三題 打雜的剪心子擦燈

1. 打雜的把抽屜抽開
Da³ dza² ni¹ ba³ tsou¹ ti² tsou¹ kai¹
2. 把擦燈的家具拿出來 (把擦燈的工 gong¹ 具拿出來)
Ba³ tsa² den¹ ni¹ jia¹ ju⁴ na² tsu² nai²
3. 把家具放在檯子上 (把工具放倒檯子上)
Ba³ jia¹ ju⁴ fang⁴ tsai⁴ dzo² dzi³ sang⁴
4. 把燈的雞骨轉拿着 (把燈的雞骨轉拿倒)
Ba³ den¹ ni¹ ji¹ gu² dzuan⁴ na² dzo²
5. 把燈心子車上來
Ba³ den¹ xin¹ dzi³ tse¹ sang⁴ nai²
6. 把剪刀拿着 (把剪刀拿倒)
Ba³ jien³ dao¹ na² dzo²
7. 用剪刀把心子剪勻
Iong⁴ jien³ dao¹ ba³ xin¹ dzi³ jien³ ün²
8. 把剪刀放着 (把剪刀放倒)
Ba³ jien³ dao¹ fang⁴ dzo²
9. 把舊帕子拿起
Ba³ jiou⁴ pa⁴ dzi³ na² qi³
10. 把燈上的油膩擦脫
Ba³ den¹ sang⁴ ni¹ iou² gni³ tsa² to²
11. 把舊帕子放下 (把舊帕子放倒)
Ba³ jiou⁴ pa⁴ dzi³ fang⁴ xia⁴
12. 把幹帕子拿起
Ba³ gan¹ pa⁴ dzi³ na² qi³
13. 把燈擦光生

- Ba³ den¹ tsa² guang¹ sen¹
14. 把玻璃筒子拿過來 (把玻璃筒 tong²筒 tong¹拿過來)
Ba³ bo¹ ni² tong² dzi³ na² go⁴ nai²
15. 把帕子塞進口內去 (把帕子塞進嘴巴頭去)
Ba³ pa⁴ dzi³ se² jin⁴ kou³ nuei⁴ qie⁴
16. 把筷子拿着 (把筷子拿倒)
Ba³ kuai⁴ dzi³ na² dzo²
17. 用筷子把帕子頂着 (用筷子把帕子頂起)
Iong⁴ kuai⁴ dzi³ ba³ pa⁴ dzi³ din³ dzo²
18. 把筒子內邊擦乾淨 (把筒筒裏頭擦乾淨)
Ba³ tong² dzi³ nuei⁴ bien¹ tsa² gan¹ jin⁴
19. 把帕子筷子取出來
Ba³ pa⁴ dzi³ kuai⁴ dzi³ qu³ tsu² nai²
20. 把筒子外邊擦乾淨 (把筒筒外邊擦乾淨)
Ba³ tong² dzi³ uai⁴ bien¹ tsa² gan¹ jin⁴
21. 把筒子放下 (把筒筒放倒)
Ba³ tong² dzi³ fang⁴ xia⁴
22. 把外罩子拿過來
Ba³ uai⁴ dzao⁴ dzi³ na² go⁴ nai²
23. 把外罩子內外擦乾淨
Ba³ uai⁴ dzao⁴ dzi³ nuei⁴ uai⁴ tsa² gan¹ jin⁴
24. 把外罩子放下 (把外罩子放倒)
Ba³ uai⁴ dzao⁴ dzi³ fang⁴ xia⁴ ここに nai² がない
25. 把擦燈的家具放在抽屜內 (把擦燈的工具放倒抽屜頭)
Ba³ tsa² den¹ ni¹ jia¹ ju⁴ fang⁴ dzai⁴ tsou¹ ti² nuei⁴
26. 把抽屜關攏
Ba³ tsou¹ ti² guan¹ nong³

做得乾淨抹得光生

Dzu⁴ de² gan¹ jin⁴ ma² de² guang¹ sen¹

第六課

搭火

第一題 打雜的走到柴房去

1. 柴房鑰匙掛在廚房壁頭上（柴房鑰匙掛倒廚房壁頭上在）
Tsai² fang² io² si¹ gua⁴ dzai⁴ tsu² fang² bi² tou¹ sang⁴
2. 打雜的把鑰匙取下來
Da³ dza² ni¹ ba³ io² si¹ qu³ xia⁴ nai²
3. 走出廚房去
Dzou³ tsu² tsu² fang² qie⁴
4. 走攞柴房門
Dzou³ nong³ tsai² fang² men²
5. 把鑰匙插在鎖內（把鑰匙插倒鎖裏頭）
Ba³ io² si¹ tsa² dzai⁴ so³ nuei⁴
6. 把鎖鬚頂鬆了
Ba³ so³ xu¹ din³ song¹ no²
7. 把鎖打開
Ba³ so³ da³ kai¹
8. 把釘子扯脫
Ba³ kou⁴ dzi³ tse³ to²
9. 把門掀開
Ba³ men² xuan¹ kai¹
10. 把鎖掛在釘子上（把鎖掛倒釘子上）
Ba³ so³ gua⁴ dzai⁴ kou⁴ dzi³ sang⁴
11. 走進柴房去（走倒柴房頭去）

- Dzou³ jin⁴ tsai² fang² qie⁴
12. 把一捆柴抱下來
Ba³ i² kun³ tsai² bao¹ xia⁴ nai²
13. 把柴抱出門外
Ba³ tsai² bao¹ tsu² men² uai⁴
14. 把門扯倒
Ba³ men² tse³ dao³
15. 把鎖拿起
Ba³ so³ na² qi³
16. 把釘子扣起
Ba³ kou⁴ dzi³ kou⁴ qi³
17. 把鎖鎖倒
Ba³ so³ so³ dao³
18. 把鑰匙抽出來
Ba³ io² si¹ tsou¹ tsu² nai²
19. 把鑰匙拴在腰帶上
Ba³ io² si¹ suan¹ dzai⁴ iao¹ dai⁴ sang⁴
20. 打雜的把柴抱到柴礮去（打雜的把柴抱倒柴礮那 na⁴ 邊 bien¹ 去）
Da³ dza² ni¹ ba³ tsai² bao¹ dao³ tsai² den¹ qie⁴
21. 把柴丟在礮側邊（把柴丟倒礮側邊）
Ba³ tsai² diou¹ dzai⁴ den¹ dze² bien¹
22. 把燒火凳拿過來
Ba³ sao¹ ho³ den⁴ na² go⁴ nai²
23. 坐在燒火凳上
dzo⁴ dzai⁴ sao¹ ho³ den⁴ sang⁴

朋 柴 火 燄 輕

Pong² tsai² ho³ ian⁴ qin¹

第七課

搭火

第二題 打雜的劃柴

1. 礮側邊有柴刀

Den¹ dze² bien¹ iou³ tsai² dao¹

2. 打柴的把柴刀拿起

Ba³ tsai² ni¹ ba³ tsai² dao¹ na² qi³

3. 把捆子箍箍宰斷

Ba³ kun³ dzi³ ku¹ ku¹ dzai³ duan⁴

4. 柴散在地上 (柴散倒地上)

Tsai² san³ dzai³ di⁴ sang⁴

5. 把一塊柴拿起

Ba³ i² kuai³ tsai² na² qi³

6. 把柴立在礮上

Ba³ tsai² ni² dzai⁴ den¹ sang⁴

7. 把柴刀□起

Ba³ tsai² dao¹ nao³ qi³

8. 把柴刀砍下來

Ba³ tsai² dao¹ kan³ xia² nai²

9. 柴刀搭在柴上

Tsai² dao¹ da² dzai⁴ tsai² sang⁴

10. 柴刀把柴劃開口

Tsai² dao¹ ba³ tsai² hua¹ kai¹ kou³

11. 把柴刀和柴□起

Ba³ tsai² dao¹ ho² tsai² nao³ qi³

12. 把柴在礮上築一下

Ba³ tsai² dzai⁴ den¹ sang⁴ dzu² i² ha⁴

13. 把柴攷成兩半

Ba³ tsai² ban¹ tsen² niang³ ban⁴

14. 把一半拿起來

Ba³ i² ban⁴ na² qi³ nai²

15. 把這一半劃開

Ba³ dze⁴ i² ban⁴ hua¹ kai¹

16. 把二一半劃開

Ba³ er⁴ i² ban⁴ hua¹ kai¹

17. 把柴一塊一塊劃開

Ba³ tsai² i² kuai³ i² kuai³ hua¹ kai¹

18. 把柴劃完了

Ba³ tsai² hua¹ uan² no²

19. 把柴放在礮側邊

Ba³ tsai² fang⁴ dzai⁴ den¹ dze² bien¹

大 柴 小 用

Da⁴ tsai² xiao³ iong⁴

第八課

搭 火

第三題 打雜的把柴抱到廚房去

1. 打雜的把劃開的柴拿起來

Da³ dza² ni¹ ba³ hua¹ kai¹ ni¹ tsai² na² qi³ nai²

2. 把柴放在手彎子上 (把柴放倒手彎彎上)

Ba³ tsai² fang⁴ dzai⁴ sou³ uan¹ dzi³ sang⁴

3. 又拿幾塊堆在手彎上

Iou⁴ na² ji³ kuai³ duei¹ dzai⁴ sou³ uan¹ sang⁴

4. 把手彎堆滿
Ba³ sou³ uan¹ duei¹ man³
5. 把身子立伸 (把身子站伸)
Ba³ sen¹ dzi³ ni² tsen¹
6. 走到廚房去
Dzou³ dao³ tsu² fang² qie⁴
7. 走到廚房的柴箱子去 (走倒廚房的柴箱子那 na⁴ 邊 bien¹ 去)
Dzou³ dao³ tsu² fang² ni¹ tsai² xiang¹ dzi³ qie⁴
8. 把柴倒在柴箱子內 (把柴倒倒柴箱子頭)
Ba³ tsai² dao⁴ dzai³ xiang¹ dzi³ nuei⁴
9. 走回柴礮去 (走回倒柴礮那邊去)
Dzou³ hui² tsai² den¹ qie⁴
10. 把零柴撿乾淨
Ba³ nin² tsai² jien³ gan¹ jin⁴
11. 把零柴堆在手彎上 (把零柴堆倒手彎上)
Ba³ nin² tsai² duei¹ tsai⁴ sou³ uan¹ sang⁴
12. 抱到廚房去
Bao¹ dao³ tsu² fang² qie⁴
13. 倒在柴箱子內 (倒倒柴箱子頭)
Dao⁴ dzai⁴ xiang¹ dzi³ nuei⁴
14. 把腰帶上的鑰匙解開
Ba³ iao¹ dai⁴ sang⁴ ni¹ io² si¹ gai³ kai¹
15. 掛在壁頭釘釘上 (掛倒壁頭釘釘上)
Gua⁴ dzai⁴ bi² tou¹ din¹ din¹ sang⁴

有 米 無 柴 不 成 飯

Iou³ mi³ u² tsai² bu² tsen² fan⁴

第九課

搭火

第四題 打雜的預備搭火

1. 打雜的把撮箕拿起
Da³ dza² ni¹ ba³ tso² ji¹ na² qi³
2. 把零柴刨花爛紙拿起
Ba³ nin² tsai² bao⁴ hua¹ nan⁴ dzi³ na² qi³
3. 把零柴刨花爛紙裝在撮箕內 (把零柴刨花爛紙裝倒撮箕頭 tou²)
Ba³ nin² tsai² bao⁴ hua¹ nan⁴ dzi³ dzuang¹ dzai⁴ tso² ji¹ nuei⁴
4. 走進客房去 (走倒客房頭去)
Tsou³ jin⁴ ke² fang² qie⁴
5. 到爐子跟前
Dao⁴ nu² dzi³ gen¹ qien²
6. 把撮箕放在爐子側邊 (把撮箕放倒爐子側邊)
Ba³ tso² ji¹ fang⁴ dzai⁴ nu² dzi³ dze² bien¹
7. 打雜的把身子立倒 この字は立ではない。上の点がない。
Da³ dza² ni¹ ba³ sen¹ dzi² gou¹ dao³
8. 把爐門打開
Ba³ nu² men² da³ kai¹
9. 把二炭拈出來
Ba³ er⁴ tan⁴ gnien¹ tsu² nai²
10. 把二炭擱在一邊 (把二炭擱倒一邊)
Ba³ er⁴ tan⁴ ko¹ dzai⁴ i² bien¹
11. 把火鈎拿起
Ba³ ho³ gou¹ na² qi³
12. 把炭灰透出來
Ba³ tan⁴ huei¹ tou⁴ tsu² nai²

13. 把刨花爛紙拿起
Ba³ bao⁴ hua¹ nan⁴ dzi³ na² qi³
14. 把刨花爛紙放在爐子裏頭（把刨花爛紙放倒爐子裏頭）
Ba³ bao⁴ hua¹ nan⁴ dzi³ fang⁴ dzai⁴ nu² dzi³ ni³ tou²
15. 把柴拿起
Ba³ tsai² na² qi³
16. 把柴架在刨花上（把柴架倒刨花上頭 tou²）
Ba³ tsai² jia⁴ dzai⁴ bao⁴ hua¹ sang⁴
17. 把炭箱子打開
Ba³ tan⁴ xiang¹ dzi³ da³ kai¹
18. 把炭拿幾塊出來
Ba³ tan⁴ na² ji³ kuai³ tsu² nai²
19. 擱在柴上（擱倒柴上頭）
ko¹ dzai³ tsai² sang⁴
20. 把身子立伸（站伸）
Ba³ sen¹ dzi³ ni² sen¹
21. 拿一匣火草來（拿一盒 ho² 火柴 tsai² 來）
Na² i¹ xia² ho³ tsao³ nai²
22. 在匣內取出一根火草來（從盒 ho² 盒 ho¹ 頭取出一根火柴來）
Dzai⁴ xia² nuei⁴ qu³ tsu² i² gen¹ ho³ tsao³ nai²
23. 把火草擦燃（把火柴擦燃）
Ba³ ho³ tsao³ tsa² zan²
24. 拿擦燃的火草擱在刨花爛紙內（拿擦燃的火柴擱倒刨花爛紙頭）
Na² tsa² zan² ni¹ ho³ tsao³ ko¹ dzai⁴ bao⁴ hua¹ nan⁴ dzi³ nuei⁴
25. 火就起了（火就生 sen¹ 起來了）
Ho³ jiou⁴ qi³ no²

乾 柴 見 火 豈 不 燃

Gan¹ tsai² jien⁴ ho³ qi³ bu² zan²

第十課

早 飯

第一題 火房做油麥泔飯

1. 火房走進灶房去

Ho³ fang² dzou³ jin⁴ dzao⁴ fang² qie⁴

2. 預備搭火 (準 dzun³ 備發 fa² 火)

ü⁴ bi⁴ da² ho³

3. 把火搭起 (把火發起)

Ba³ ho³ da² qi³

4. 灶火燃大

Dzao⁴ ho³ zan² da⁴

5. 把鑊子拿起 (把鑊 guan⁴ 鑊 guan¹ 拿起)

Ba³ guan⁴ dzi³ na² qi³

6. 走到水缸去 (走倒水缸那 na⁴ 邊 bien¹ 去)

Dzou³ dao³ suei³ gang¹ qie⁴

7. 把水滲在鑊子頭 (把水摻 tsan¹ 倒鑊鑊頭)

Ba³ suei³ tsan¹ dzai⁴ guan⁴ dzi² tou²

8. 把水瓢攔倒

Ba³ suei³ piao² ko¹ dao³

9. 走到灶跟前

Tsou³ dao³ dzao⁴ gen¹ qien²

10. 把鑊子放在灶的火眼上 (把鑊鑊放倒灶的火眼上)

Ba³ guan⁴ dzi³ fang⁴ dzai⁴ dzao⁴ ni¹ ho³ ian³ sang⁴

11. 等水開了

Den³ suei³ kai¹ no²

12. 把鑊子提在側邊 (把鑊鑊提倒側邊)

Ba³ guan⁴ dzi³ ti² dzai⁴ dze² bien¹

13. 把油麥子拿來

Ba³ iou² me² dzi³ na² nai²

14. 把油麥子抓一把出來

Ba³ iou² me² dzi³ dzua¹ i² ba³ tsu² nai²

15. 把油麥子少少的漏進鑊子去 (把油麥子少少的漏倒鑊鑊頭去)

Ba³ iou² me² dzi³ sao³ sao³ ni¹ nou⁴ jin⁴ guan⁴ dzi³ qie⁴

16. 用調羹攪勻

Iong⁴ tiao² gen¹ jiao³ ün²

17. 把油麥放夠

Ba³ iou² me² fang⁴ gou⁴

18. 把一點鹽加在油麥內 (把一點鹽加倒油麥頭)

Ba³ i² dien³ ian² jia¹ dzai⁴ iou² me² nuei⁴

19. 把鑊子挨攏火邊 (把鑊 guan4 鑊 guan1 挨攏火邊)

Ba³ guan⁴ dzi³ ngai¹ nong³ ho³ bien¹

20. 儘油麥慢慢煮

Jin³ iou² me² man⁴ man¹ dzu³

21. 隨時攪一下

Suei² si² jiao³ i² ha⁴

22. 把油麥煮熟

Ba³ iou² me² dzu³ su²

23. 把鑊子提開 (把鑊鑊提開)

Ba³ guan⁴ dzi³ ti² kai¹

24. 攔在灶側邊 (攔倒灶側邊)

Ko¹ dzai⁴ dzao⁴ dze² bien¹

一 年 之 計 在 於 春

ĩ² nien² dzi¹ ji⁴ dzai⁴ ü² tsun¹

一 日 之 計 在 於 寅

ĩ² zi² dzi¹ ji⁴ dzai⁴ ü² in¹

一 家 之 計 在 於 和

ĩ² jia¹ dzi¹ ji⁴ dzai⁴ ü² ho²

一 生 之 計 在 於 勤

ĩ² sen¹ dzi¹ ji⁴ dzai⁴ ü² qin²

第十一課

早 飯

第二題 火房煎火腿和雞蛋

1. 火房把火腿取下來

Ho³ fang² ba³ ho³ tui³ qu³ xia⁴ nai²

2. 把菜刀拿起割一塊

Ba³ tsai⁴ dao¹ na² qi³ go² i² kuai³

3. 把火腿切下幾片（把火腿切下幾片來 nai²）

Ba³ ho³ tui³ qie² xia⁴ ji³ pien³

4. 把火腿掛起

Ba³ ho³ tui³ gua⁴ qi³

5. 把平鍋取下來
Ba³ pin² go¹ qu³ xia⁴ nai²
6. 用帕子把平鍋抹乾淨
Iong⁴ pa⁴ dzi³ ba³ pin² go¹ ma² gan¹ jin⁴
7. 把平鍋放在灶的火眼上 (把平鍋放倒灶的火眼上)
Ba³ pin² go¹ fang⁴ dzai⁴ dzao⁴ ni¹ ho³ ian³ sang⁴
8. 把切過的火腿放在平鍋內 (把切過的火腿放倒平鍋頭)
Ba³ qie² go⁴ ni¹ ho³ tui³ fang⁴ dzai⁴ pin² go¹ nuei⁴
9. 火腿的肥油煎化了
Ho³ tui³ ni¹ fei² iou² jien¹ hua⁴ no²
10. 把鍋鏟取下
Ba³ go¹ tsuan³ qu³ xia⁴
11. 把火腿翻過來幾道
Ba³ ho³ tui³ fan¹ go⁴ nai² ji³ dao⁴
12. 等火腿煎好了
Den³ ho³ tui³ jien¹ hao³ no²
13. 把火腿鏟起來
Ba³ ho³ tui³ tsuan³ qi³ nai²
14. 把火腿放在磁盤上 (把火腿放倒瓷盤上)
Ba³ ho³ tui³ fang⁴ dzai⁴ tsi² pan² sang⁴
15. 拿幾個雞蛋來
Na² ji³ go⁴ ji¹ dan⁴ nai²
16. 把雞蛋都打在平鍋內 (把雞蛋都打倒平鍋頭)
Ba³ ji¹ dan⁴ dou¹ da³ dzai⁴ pin² go¹ nuei⁴
17. 把雞蛋壳壳丟開
Ba³ ji¹ dan⁴ ko² ko¹ diou¹ kai¹
18. 用鍋鏟鏟油淋雞蛋
Iong⁴ go¹ tsuan³ tsuan³ iou² nin² ji¹ dan⁴

19. 等雞蛋煎好

Den³ ji¹ dan⁴ jien¹ hao³

20. 把雞蛋鏟起來

Ba³ ji¹ dan⁴ tsuan³ qi³ nai²

21. 把雞蛋放在磁盤內的火腿上 (把雞蛋放倒磁盤頭的火腿上)

Ba³ ji¹ dan⁴ fang⁴ dzai⁴ tsi² pan² nuei⁴ ni¹ ho³ tui³ sang⁴

百 般 美 味 離 不 得 鹽

Be² ban¹ mei³ uei⁴ ni² bu² de² ien²

第十二課

早 飯

第三題 火房泡茶

1. 火房把一壺水燒開了

Ho³ fang² ba³ i² fu² suei³ sao¹ kai¹ no²

2. 走到碗櫃去 (走倒碗櫃那邊去)

Dzou³ dao³ uan³ guei⁴ qie⁴

3. 把茶壺拿出來

Ba³ tsa² fu² na² tsu² nai²

4. 走到灶跟前

Dzou³ dao³ dzao⁴ gen¹ qien²

5. 把茶壺蓋蓋揭開

Ba³ tsa² fu² gai⁴ gai¹ jie² kai¹

6. 把開水壺拿着 (把開水壺倒)

Ba³ kai¹ suei³ fu² na² dzo²

7. 倒一點水在茶壺內 (倒一點水在茶壺頭)
 Dao⁴ i² dien³ suei³ dzai⁴ tsa² fu² nuei⁴
8. 把茶壺涮一下
 Ba³ tsa² fu² suan⁴ i² ha⁴
9. 又走到碗櫃去 (又走倒碗櫃那邊去)
 Iou⁴ dzou³ dao³ uan³ guei⁴ qie⁴
10. 把茶葉盒子拿出來
 Ba³ tsa² ie² ho² dzi³ na² tsu² nai²
11. 把蓋蓋揭開
 Ba³ gai⁴ gai¹ jie² kai¹
12. 抓一點茶葉出來
 Dzua¹ i² dien³ tsa² ie² tsu² nai²
13. 把茶葉放在茶壺內 (把茶葉放倒茶壺頭)
 Ba³ tsa² ie² fang⁴ dzai⁴ tsa² fu² nuei⁴
14. 把茶葉盒蓋倒
 Ba³ tsa² ie² ho² gai⁴ dao³
15. 把茶葉盒放在碗櫃裏頭 (把茶葉盒放倒碗櫃裏頭)
 Ba³ tsa² ie² ho² fang⁴ dzai⁴ uan³ guei⁴ ni³ tou²
16. 又走到灶跟前
 Iou⁴ dzou³ dao³ dzao⁴ gen¹ qien² qie⁴
17. 把開水壺拿着 (把開水壺拿倒)
 Ba³ kai¹ suei³ fu² na² dzo²
18. 把開水沖在茶壺內 (把開水沖倒茶壺頭)
 Ba³ kai¹ suei³ tsong¹ dzai⁴ tsa² fu² nuei⁴
19. 把開水壺放下
 Ba³ kai¹ suei³ fu² fang⁴ xia⁴
20. 等茶葉泡一下
 Den³ tsa² ie² pao⁴ i² ha⁴

身 健 只 緣 餐 飯 少

Sen¹ jien⁴ dzi³ üan² tsan¹ fan⁴ sao³

詩 清 都 為 飲 茶 多

Si¹ qin¹ dou¹ uei⁴ in³ tsa² do¹

第十三課

早 飯

第四題 擺台的擺桌子

1. 擺台的走進餐房去

Ba³ tai² ni¹ dzou³ jin⁴ tsan¹ fang² qie⁴

2. 走到飯物櫃子去 (走倒飯物櫃子那 na⁴ 邊 bien¹ 去)

Dzou³ dao³ fan⁴ u² guei⁴ dzi³ qie⁴

3. 把裝台布抽屜抽開

Ba³ dzuang¹ tai² bu⁴ tsou¹ ti² tsou¹ kai¹

4. 把台布拿出來

Ba³ tai² bu⁴ na² tsu² nai²

5. 把台布抖伸

Ba³ tai² bu⁴ tou³ tsen¹

6. 把台布鋪在桌子上 (把台布鋪倒桌子上)

Ba³ tai² bu⁴ pu¹ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴

7. 把手巾拿出來

Ba³ sou³ jin¹ na² tsu² nai²

8. 把手巾擺在各人位上 (把手巾擺倒各人位子 dzi³ 上)

Ba³ sou³ jin¹ bai³ dzai⁴ go² zen² uei⁴ sang⁴

9. 把布墊拿出來

Ba³ bu⁴ dien⁴ na² tsu² nai²

10. 把布墊擺在上下位 (把布墊擺倒上下位)

Ba³ bu⁴ dien⁴ bai³ dzai⁴ sang⁴ xia⁴ uei⁴

11. 把抽屜關攏

Ba³ tsou¹ ti² guan¹ nong³

12. 把刀叉抽屜抽開

Ba³ dao¹ tsa¹ tsou¹ ti² tsou¹ kai¹

13. 把刀子拿出來

Ba³ dao¹ dzi³ na² tsu² nai²

14. 把刀子擺在各人右邊 (把刀子擺倒各人右邊)

Ba³ dao¹ dzi³ bai³ dzai⁴ go² zen² iou⁴ bien¹

15. 把叉子拿出來

Ba³ tsa¹ dzi³ na² tsu² nai²

16. 把叉子擺在各人左邊 (把叉子擺倒各人左邊)

Ba³ tsa¹ dzi³ bai³ dzai⁴ go² zen² dzo³ bien¹

17. 把二號調羹拿出來

Ba³ er⁴ hao⁴ tiao² gen¹ na² tsu² nai²

18. 把二號調羹擺在各人面前 (把二號調羹擺倒各人的面前)

Ba³ er⁴ hao⁴ tiao² gen¹ bai³ dzai⁴ go² zen² mien⁴ qien²

19. 把抽屜關攏

Ba³ tsou¹ ti² guan¹ nong³

天 下 惟 有 讀 書 好

Tien¹ xia⁴ uei² iou³ du² su¹ hao³

世 間 無 如 吃 飯 難

Si⁴ jien¹ u² zu² tsi² fan⁴ nan²

第十四課

早飯

第五題 擺台的擺桌子

1. 擺台的把飯物櫃門打開 (擺台的把碗 uan³ 櫃 guei⁴ 門打開)
Ba³ tai² ni¹ ba³ fan⁴ u² guei⁴ men² da³ kai¹
2. 把鹽杯鹽調羹拿出來
Ba³ ian² bei¹ ian² tia² gen¹ na² tsu² nai²
3. 把鹽杯鹽調羹擺在桌子上 (把鹽杯鹽調羹擺倒桌子上)
Ba³ ian² bei¹ ian² tia² gen¹ bai³ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴
4. 把白糖碗和白糖調羹拿出來
Ba³ be² tang² uan³ ho² be² tang² tia² gen¹ na² tsu² nai²
5. 把白糖碗和白糖調羹擺在桌子上 (把白糖碗和白糖調羹擺倒桌子上)
Ba³ bai² tang² uan³ ho² bai² tang² tia² gen¹ bai³ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴
6. 把香料架子拿出來
Ba³ xiang¹ niao⁴ jia⁴ dzi³ na² tsu² nai²
7. 把香料架子擺在桌子上 (把香料架子擺倒桌子上)
Ba³ xiang¹ niao⁴ jia⁴ dzi³ bai³ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴
8. 把小盤子拿過來
Ba³ xiao³ pan² dzi³ na² go⁴ nai²
9. 把小盤子擺在各人的左邊 (把小盤子擺倒各人的左邊)
Ba³ xiao³ pan² dzi³ bai³ dzai⁴ go² zen² ni¹ dzo³ bien¹
10. 把茶碗和茶船子拿出來
Ba³ tsa² uan³ ho² tsa² tsuan² dzi³ na² tsu² nai²
11. 把茶碗和茶船子擺在下位右邊 (把茶碗和茶船子擺倒下位右邊)
Ba³ tsa² uan³ ho² tsa² tsuan² dzi³ bai³ dzai⁴ xia⁴ uei⁴ iou⁴ bien¹

12. 把一鑽牛奶拿出來

Ba³ i² guan⁴ gniou² nai³ na² tsu² nai²

13. 把牛奶擺在檯子上 (把牛奶擺倒檯子上)

Ba³ gniou² nai³ bai³ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴

14. 把切過的麵糰拿出來

Ba³ qie² go⁴ ni¹ mien⁴ ba¹ na² tsu² nai²

15. 把麵糰擺在檯子上 (把麵糰擺倒檯子上)

Ba³ mien⁴ ba¹ bai³ dzai⁴ dzo² dzi³ sang⁴

16. 把搖鈴拿出來

Ba³ iao² nin² na² tsu² nai²

17. 把搖鈴擺在下位右邊 (把搖鈴擺倒下位右邊)

Ba³ iao² nin² bai³ dzai⁴ xia⁴ uei⁴ iou⁴ bien¹

18. 把飯物櫃門關攏 (把碗 uan³ 櫃 guei⁴ 門關攏)

Ba³ fan⁴ u² guei⁴ men² guan¹ nong³

惜 飯 有 飯 吃

Xi² fan⁴ iou³ fan⁴ tsi²

惜 衣 有 衣 穿

Xi² i¹ iou³ i¹ tsuan¹

第十五課

早飯

第六題 合家都來吃飯

1. 擺台的打頭一道鑊

Bai³ tai² ni¹ da³ tou² i² dao⁴ no²

2. 合家預備來吃飯 (全 quan²家準 dzun³備來吃飯)

Ho² jia¹ ü⁴ bi⁴ nai² tsi² fan⁴

3. 打第二道鑊

Da³ di⁴ er⁴ dao⁴ no²

4. 合家的人都走進餐房去 (全家的人都走進餐房去)

Ho² jia¹ ni¹ zen² dou¹ dzou³ jin⁴ tsan¹ fang² qie⁴

5. 各人走到各人位上 (各人走倒各人位子 dzi³上)

Go² zen² dzou³ dao³ go² zen² uei⁴ sang⁴

6. 父母走到上下位上

Fu⁴ mu³ dzou³ dao³ sang⁴ xia⁴ uei⁴ sang⁴

7. 都站在椅子背後 (都站倒椅子背後)

Dou¹ dzan⁴ dzai⁴ i³ dzi³ bei⁴ hou¹

8. 都把椅子拿着 (都把椅子拿倒)

Dou¹ ba³ i³ dzi³ na² dzo²

9. 大家把椅子提開

Da⁴ jia¹ ba³ i³ dzi³ ti² kai¹

10. 大家走到椅子面前

Da⁴ jia¹ dzou³ dao³ i³ dzi³ mien⁴ qien²

11. 大家把手反起

Da⁴ jia¹ ba³ sou³ fan³ qi³

12. 大家把椅子拖過來

Da⁴ jia¹ ba³ i³ dzi³ to¹ go³ nai²

13. 都坐在椅子上 (都坐倒椅子上)
 Dou¹ dzo⁴ dzai⁴ i³ dzi³ sang⁴
14. 父親把頭埋下
 Fu⁴ qin¹ ba³ tou² mai² xia⁴
15. 大家都把頭埋下
 Da⁴ jia¹ dou¹ ba³ tou² mai² xia⁴
16. 父親領合家祝謝主 (父親領全家祝謝主)
 Fu⁴ qin¹ nin³ ho² jia¹ dzu² xie⁴ dzu³
17. 祝謝畢了 (祝謝完了)
 Dzu² xie⁴ bi² no²
18. 大家把頭抬起
 Da⁴ jia¹ ba³ tou² tai² qi³

堂 屋 椅 子 輪 流 轉

Tang² u² i³ dzi³ nen² niu² dzuan⁴

媳 婦 也 有 做 婆 時

Xi² fu⁴ ie³ iou³ dzu⁴ po² si²

第十六課

早飯

第七題 擺台的把油麥稀飯擺起

1. 擺台的走回灶房去

Bai³ tai² ni¹ dzou³ huei² dzao⁴ fang² qie⁴

2. 走到碗櫃去 (走倒碗櫃那 na⁴邊 bien¹去)

Dzou³ dao³ uan³ guei⁴ qie⁴

3. 把稀飯盤子拿出來

Ba³ xi¹ fan⁴ pan² dzi³ na² tsu² nai²

4. 把稀飯盤子端到案板上

Ba³ xi¹ fan⁴ pan² dzi³ duan¹ dao³ nga⁴ ban³ sang⁴

5. 把稀飯盤子擺在案板上 (把稀飯盤子擺倒案板上)

Ba³ xi¹ fan⁴ pan² dzi³ bai³ dzai⁴ ngan⁴ ban³ sang⁴

6. 走到爐子面前

Dzou³ dao³ nu² dzi³ man⁴ qien²

7. 把稀飯鑊子提起 (把稀飯鑊 guan⁴鑊 guan¹提起)

Ba³ xi¹ fan⁴ guan⁴ dzi³ ti² qi⁴

8. 把稀飯鑊子提到案板上

Ba³ xi¹ fan⁴ guan⁴ dzi³ ti² dao³ ngan⁴ ban³ sang⁴

9. 把稀飯每個盤子內倒一點 (把稀飯往 uang³每個盤子頭倒一點)

Ba³ xi¹ fan⁴ mei³ go⁴ pan² dzi³ nuei⁴ dao⁴ i² dien³

10. 把稀飯倒完

Ba³ xi¹ fan⁴ dao⁴ uan²

11. 把稀飯鑊子擱在側邊 (把稀飯鑊鑊擱倒側邊)

Ba³ xi¹ fan⁴ guan⁴ dzi³ ko¹ dzai⁴ dze² bien¹

12. 把兩盤稀飯端起

Ba³ niang³ pan² xi¹ fan⁴ duan¹ qi³

13. 把兩盤稀飯端進餐房

Ba³ niang³ pan² xi¹ fan⁴ duan¹ jin⁴ tsan¹ fang²

14. 把稀飯擺在兩人面前 (把稀飯擺倒兩個人面前)

Ba³ xi¹ fan⁴ bai³ dzai⁴ niang³ zen² mien⁴ qien²

15. 又走回灶房去

Iou⁴ dzou³ huei² dzao⁴ fang² qie⁴

16. 又把兩盤稀飯端進餐房去

Iou⁴ ba³ niang³ pan² xi¹ fan⁴ duan¹ jin⁴ tsan¹ fang² qie⁴

17. 也擺在兩人面前 (也擺倒兩個人面前)

Ie³ bai³ dzai⁴ niang³ zen² mien⁴ qien²

18. 把稀飯端完

Ba³ xi¹ fan⁴ duan¹ uan²

19. 走回灶房去

Dzou³ huei² dzao⁴ fang² qie⁴

無 米 不 成 漿

U² mi³ bu² tsen² jiang¹

第十七課

早飯

第八題 合家的人吃稀飯

1. 有一位把白糖碗端過來

Iou³ i² uei⁴ ba³ be² tang² uan³ duan¹ go⁴ nai²

2. 把白糖調羹拿着 (把白糖調羹拿倒)

Ba³ be² tang² tiao² gen¹ na² dzo²

3. 把白糖挖一點出來

Ba³ be² tang² ua¹ i² dien³ tsu² nai²

4. 把白糖撒在飯上 (把白糖撒倒飯上)

Ba³ be² tang² sa³ dzai⁴ fan⁴ sang⁴

5. 把白糖遞給側近的人 (把白糖遞給側邊 bien¹ 的人)

Ba³ be² tang² di⁴ ge¹ dze² jin⁴ ni¹ zen²

6. 大家把白糖撒在飯上 (大家把白糖撒倒飯上)

Da⁴ jia¹ ba³ be² tang² sa³ dzai⁴ fan⁴ sang⁴

7. 就把白糖碗攔倒

Jiu⁴ ba³ be² tang² uan³ ko¹ dao³

8. 有一位把牛奶鑊子端過來 (有一位把牛奶鑊鑊端過來)

Iou³ i² uei⁴ ba³ gniou² nai³ guan⁴ dzi³ duan¹ go⁴ nai²

9. 把牛奶倒在稀飯上

Ba³ gniou² nai³ dao⁴ dzai⁴ xi¹ fan⁴ sang⁴

10. 把牛奶遞給側近的人 (把牛奶遞給側邊的人)

Ba³ gniou² nai³ di⁴ ge¹ dze² jin⁴ ni¹ zen²

11. 大家把牛奶倒在稀飯上

Da⁴ jia¹ ba³ gniou² nai³ dao³ dzai⁴ xi¹ fan⁴ sang⁴

12. 就把牛奶鑊子攔倒 (就把牛奶鑊鑊攔倒)

Jiu⁴ ba³ gniou² nai³ guan⁴ dzi³ ko¹ dao³

13. 大家把調羹拿起

Da⁴ jia¹ ba³ tiao² gen¹ na² qi³

14. 把一點稀飯舀起來

Ba³ i² dien³ xi¹ fan⁴ iao³ qi³ nai²

15. 把稀飯喝在口內 (把稀飯喝倒嘴巴頭)

Ba³ xi¹ fan⁴ ho¹ dzai⁴ kou³ nuei⁴

16. 把稀飯吞下去

Ba³ xi¹ fan⁴ ten¹ xia⁴ qie⁴

17. 把稀飯吃完

Ba³ xi¹ fan⁴ tsi² uan²

18. 都把調羹放下 (都把調羹放倒)

Dou¹ ba³ tiao² gen¹ fang⁴ xia⁴

19. 母親把鈴搖一下 (母親搖了一下鈴)

Mu⁴ qin¹ ba³ nin² iao² i² ha⁴

20. 擺台的聽見鈴响 (擺台的聽倒鈴响)

Bai³ tai² ni¹ tin¹ jien⁴ nin² xiang³

21. 就走進餐房去

Jiu⁴ dzou³ jin⁴ tsan¹ fang² qie⁴

22. 把稀飯盤子收回灶房去

Ba³ xi¹ fan⁴ pan² dzi³ sou¹ huei² dzao⁴ fang² qie⁴

良 田 萬 頃 日 食 一 升

Niang² tien² uan⁴ qun¹ zi² si² i² sen¹

大 廈 千 間 夜 眠 八 尺

Da⁴ sua³ qien¹ jien¹ ie⁴ mien² ba² tsi²

第十八課

早 飯

第九題 擺台的把火腿雞蛋擺起

1. 擺台的把火腿和雞蛋端進餐房
Bai³ tai² ni¹ ba³ ho³ tui³ ho² ji¹ dan⁴ duan¹ jin⁴ tsan¹ fang²
2. 走到上位跟前
Dzou³ dao³ sang⁴ uei⁴ gen¹ qien²
3. 把火腿和雞蛋擺在父親面前 (把火腿和雞蛋擺倒父親面前)
Ba³ ho³ tui³ ho² ji¹ dan⁴ bai³ dzai⁴ fu⁴ qin¹ mien⁴ qien²
4. 走到飯物櫃去 (走倒碗 uan³ 櫃 guei⁴ 那邊去)
Dzou³ dao³ fan⁴ u² guei⁴ qie⁴
5. 把盤子拿過來
Ba³ pan² dzi³ na² go⁴ nai²
6. 擺在父親面前 (擺倒父親面前)
Bai³ dzai⁴ fu⁴ qin¹ mien⁴ qien²
7. 父親把調羹叉子拿起
Fu⁴ qin¹ ba³ tiao² gen¹ tsa¹ dzi³ na² qi³
8. 把蛋和火腿舀起
Ba³ dan⁴ ho² ho³ tui³ iao³ qi³
9. 把蛋和火腿放在盤子上 (把蛋和火腿放倒盤子上)
Ba³ dan⁴ ho² ho³ tui³ fang⁴ dzai⁴ pan² dzi³ sang⁴
10. 擺台的把盤子端起
Bai³ tai² ni¹ ba³ pan² dzi³ duan¹ qi³
11. 擺在一位面前 (擺倒一位面前)
Bai³ dzai⁴ i² uei⁴ mien⁴ qien²
12. 父親又把蛋和火腿舀起
Fu⁴ qin¹ iou⁴ ba³ dan⁴ ho² ho³ tui³ iao³ qi³

13. 又把蛋和火腿放在盤子上 (又把蛋和火腿放倒盤子上)

Iou⁴ ba³ dan⁴ ho² ho³ tui³ fang⁴ dzai⁴ pan² dzi³ sang⁴

14. 擺台的又把盤子端起

Bai³ tai² ni¹ iou⁴ ba³ pan² dzi³ duan¹ qi³

15. 又擺在一位面前 (又擺倒一位面前)

Iou⁴ bai³ dzai⁴ i² uei⁴ mien⁴ qien²

16. 把蛋和火腿一位一位的擺完

Ba³ dan⁴ ho² ho³ tui³ i² uei⁴ i² uei⁴ ni¹ bai⁴ uan²

17. 擺台的走回灶房去

Bai³ tai² ni¹ dzou³ hui² dzao⁴ fang² qie⁴

粗 茶 淡 飯 吃 得 飽

Tsu¹ tsa² dan⁴ fan⁴ tsi² de² bao³

粗 布 棉 衣 穿 得 老

Tsu¹ bu⁴ mien² i¹ tsuan¹ de² nao³

第十九課

早 飯

第十題 合家吃火腿雞蛋

1. 有一位先把香料架子端過來

Iou³ i² uei⁴ xien¹ ba³ xiang¹ niao³ jia⁴ dzi³ duan¹ go⁴ nai²

2. 把芥末調羹拿起

Ba³ jiai⁴ mo⁴ tiao² gen¹ na² qi³

3. 把一點芥末撮起
Ba³ i² dien³ jiai⁴ mo⁴ tso² qi³
4. 把芥末放在盤子邊邊上 (把芥末放倒盤子邊邊上)
Ba³ jiai⁴ mo⁴ fang⁴ dzai⁴ pan² dzi³ bien¹ bien¹ sang⁴
5. 把芥末調羹插在瓶內 (把芥末調羹插倒瓶 pin² 瓶 pin¹ 頭)
Ba³ jiai⁴ mo⁴ tiao² gen¹ tsa² dzai⁴ pin² nuei⁴
6. 把胡椒瓶子拿起 (把胡椒瓶瓶拿起)
Ba³ fu² jiao¹ pin² dzi³ na² qi³
7. 把胡椒抖在蛋上 (把胡椒攔倒蛋上)
Ba³ fu² jiao¹ tou³ dzai⁴ dan⁴ sang⁴
8. 把胡椒瓶子放在架子上 (把胡椒瓶子放倒架子上)
Ba³ fu² jiao¹ pin² dzi⁴ fang⁴ dzai⁴ jia⁴ dzi³ sang⁴
9. 把香料架子端開
Ba³ xiang¹ niao⁴ jia⁴ dzi³ duan¹ kai¹
10. 把鹽調羹拿起
Ba³ ian² tiao² gen¹ na² qi⁴
11. 把一點鹽撮起
Ba³ i² dien³ ian² tso² qi³
12. 把鹽放在盤子邊邊上 (把鹽放倒盤子邊邊上)
Ba³ ian² fang⁴ dzai⁴ pan² dzi³ bien¹ bien¹ sang⁴
13. 把鹽調羹攔在鹽杯內 (把鹽調羹攔倒鹽杯頭)
Ba³ ian² tiao² gen¹ ko¹ dzai⁴ ian² bei¹ nuei⁴
14. 把一片麵糰拿起來
Ba³ i² pien³ mien⁴ ba¹ na² qi³ nai²
15. 把面糰放在盤子上 (把面糰放倒盤子上)
Ba³ mien⁴ ba¹ fang⁴ dzai⁴ pan² dzi³ sang⁴
16. 把面糰撕碎
Ba³ mien⁴ ba¹ si¹ tsuei⁴

17. 把刀子叉子拿起
Ba³ dao¹ dzi³ tsa¹ dzi³ na² qi³
18. 把叉子按着蛋 (用 iong⁴ 叉子把蛋按倒)
Ba³ tsa¹ dzi³ gnan⁴ dzo² dan⁴
19. 把蛋劃開幾塊 (把蛋劃成 tsen² 幾塊)
Ba³ dan⁴ hua¹ kai¹ ji³ kuai³
20. 用叉子叉倒一塊
Iong⁴ tsa¹ dzi³ tsa¹ dao³ i² kuai³
21. 又叉倒一塊火腿
Iou⁴ tsa¹ dao³ i² kuai³ ho³ tuei³
22. 把火腿蛋蘸芥末 (把火腿蛋拿 na² 來 nai² 蘸芥末)
Ba³ ho³ tuei³ dan⁴ dzan⁴ jiai⁴ mo⁴
23. 把火腿蛋放在口頭 (把火腿蛋放倒嘴 dzuei³ 巴 ba¹ 頭)
Ba³ ho³ tuei³ dan⁴ fang⁴ dzai⁴ kou³ tou²
24. 把火腿蛋慢慢吃 (慢慢吃火腿蛋)
Ba³ ho³ tuei³ dan⁴ man⁴ man¹ tsi²
25. 又吃麵糰又吃火腿蛋
Iou⁴ tsi² mien⁴ ba¹ iou⁴ tsi² ho³ tuei³ dan⁴
26. 把火腿蛋吃完
Ba³ ho³ tuei³ dan⁴ tsi² uan²
27. 大家把刀子叉子放倒
Da⁴ jia¹ ba³ dao¹ dzi³ fang⁴ dao³

飯 不 熟

Fan⁴ bu² su²

氣 不 勻

qi⁴ bu² iun²